

函南町古文書資料集(五)

桑原 中村家古文書







序

私たちの郷土函南町は、わが国でも有数の観光地である伊豆半島の玄関口に位置し、北には富士山を仰ぐ風光明媚な土地であります。

温暖な気候風土にも恵まれた自然環境とも相まって、昭和四十年代後半からは近郊市へのベッドタウン化による急激な人口の増加が始まり、社会生活の変化や多様化、それを取り巻く環境も急変、古くより伝わる風俗や慣習など我々の目前からいつしか姿を消していくものも少なくはありませんでした。

教育委員会では、こうした状況に対し貴重な資料の消滅や散逸を防ぎ、当町の近世の正しい歴史を記録保存するために、昭和六十年代から町内古文書調査事業を実施し今日に至っております。

今回ここにその調査成果の一環として『函南町古文書資料集(五)』桑原中村家古文書を刊行できることは誠に意義深いことと存じます。

本書作成のため、資料の解説や編集等にご尽力をいただきました調査員、調査補助員並びにボランティアの皆様方に対しまして厚く御礼を申し上げます。

本書が、当函南町及び周辺地域における近世史を研究する上での好資料として、広く活用されることを切望して刊行の序といたします。

終わりに、調査の趣旨にご理解を示され、快く資料をご提供くださった中村澄夫氏に対しまして、衷心より厚く御礼を申し上げます。

本書の刊行をもって、僅かではありますがそのご好意に対する責務の一端を果たしたものと存じます。

平成十七年三月

函南町教育委員会教育長

鈴木 忠

例 言

一 本書は、函南町教育委員会が昭和六十年度から継続実施している「町内古文書調査事業」の第四次調査成果を示す『函南町古文書資料集（五）』である。

二 本書に掲載する資料は、静岡県田方郡函南町大字桑原に所在する中村家が所有する古文書である。

三 掲載した資料は、中村家古文書二百九十三点のうち近代以降を除き、支配関係、土地関係、貢租関係、村制・戸口関係、諸産業、商業関係、交通・通信関係、水利・土木関係、宗教・習俗・身分関係に係る主要な二十八点である。

四 本書に係る調査は、平成十一年度から平成十六年度にかけて実施。古文書の解読及び読み下し文の原稿執筆は、教育委員会が委嘱した次の調査員と調査補助員が行い、一部ボランティアの協力を得て行ったものである。（敬称略、順不同）

笠松幸一 田中悟 山田幸次郎 高橋義治 田中茂子
（以上、調査員） 世古祐三 水上和子 油井博子
水品眞澄（以上、調査補助員） 村田洋子 内田昌利
高橋一美 落合万理子 山田美代子 若田部繿
余川佐紀子 加藤譲二（以上ボランティア）

五 本書の編集は調査員と調査補助員が行い、二段組みで構成、上段に原文の縮尺コピー、下段に読み下し文を配し、対比できるように構成している。

六 読み下し文については次の事項を統一している。

（一）前行にある「被」「可」のように、次行で読み下す場合、その文字の位置を示すため、前行で（ ）書きで示した。

（二）○〇衛門、○兵衛、候は活字体とした。

（三）虫喰、損傷などによる不明箇所は、字数を推算し□□とした。

（四）異体字、当て字、誤字は、可能な限り常用漢字とし、*お*は（より）とした。

七 本事業並びに本書刊行に係る事務局は、教育委員会社会教育課が担当し、未掲載分を含み資料（原本写し、読み下し文）を保管している。

目次

一 例言

支配關係

宝曆十年（一七六〇）

御用配符写帳

1

天明六年（一七八六）

小田原御家中御名前之覚

51

寛政七年（一七九五）

卯年御用配符写帳

60

文化三年（一八〇六）

御用配符写帳

70

二 土地關係

寛文四年（一六六四）

桑原村前々荒地書上帳

89

宝曆十三年（一七六三）

桑原村御高帳

97

三 貢租關係

延享四年（一七四七）

当卯之田方立毛内見帳

113

寛延元年（一七四八）

御公金質地帳

147

寛延二年（一七四九）

巳之御年貢米百姓小前勘定帳

152

寛政六年（一七九四）

両給諸役金懸り

165

寛政十二年（一八〇〇）

申之御年貢米納辻勘定帳

172

寛政十二年（一八〇〇）

小田原領御年貢役金勘定

181

四 村制・戸口關係

寛延四年（一七五一）

伊豆国田方郡桑原村宗門人別御改帳

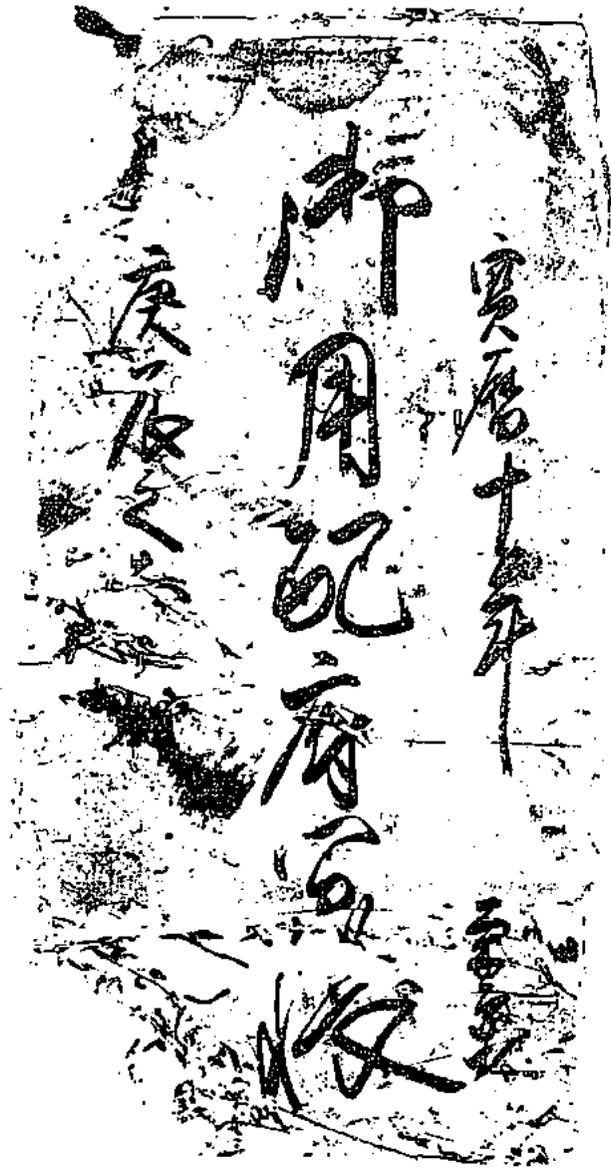
191

天明五年（一七八五）

小田原御領分諸色覚

226

	五	諸産業關係	
		宝曆三年(一七五三)	
		苜敷山生木潰帳	236
		慶応元年(一八六五)	
		山論一件扣	241
	六	商業關係	
		安永五年(一七七六)	
		無尽	254
		天明四年(一七八四)	
		辰年諸借用改帳(医者薬札勘定もあり)	261
	七	交通・通信關係	
		寛延元年(一七四八)	
		朝鮮人来朝帰国役金割帳	268
		寛延二年(一七四九)	
		去辰年朝鮮人人馬賄賃金宗対馬様より	
		被下候上割合帳	279
		寛延二年(一七四九)	
		去辰琉球人役金残割返シ帳	285
		安永六年(一七七七)	
		右門三歳祝	315
		安永五年(一七七六)	
		観音・薬師・子安開帳諸入用帳	308
	九	宗教・習俗・身分關係	
		寛延三年(一七五〇)	
		上野非九覚書	301
		文政五年(一八二二)	
		用水堰普請目論見帳	294
	八	水利・土木關係	
		寛政四年(一七五二)	
		阿弥陀堂ふきかへ	349
		不詳	
		薬種製法之覚	353



寶曆十年 桑原村

御用配府 写帳

庚辰之〇〇

年之御吉慶御同前
 目出度申納候然者
 尾州様当月廿日当駅
 御来宿ニ有之可候殊ニ
 御公家衆様御大勢廿一より
 廿二日之内当所御通行之
 様道中御奉行所様
 □□□而申候間右御日限
 以前村々役馬御指立可被成候
 尤渡し役之分早々御極ヲ可被成
 且又村々當時有高御濟渡
 役に合て上候と御くらべニ
 何分御出可被成候勿論
 □□総代中へも申
 (以下不明)

月九日
西ノ中刻年寄

多呂北沢 上沢 平井

大竹桑原 大土肥柏谷

畑毛北名古谷南名古谷原木

四ヶ町寺家中条南条

宗光寺守木右村々

當月廿日廿一日宿場

大賄有之何連茂 大

勢之御通ニ候依之相触候

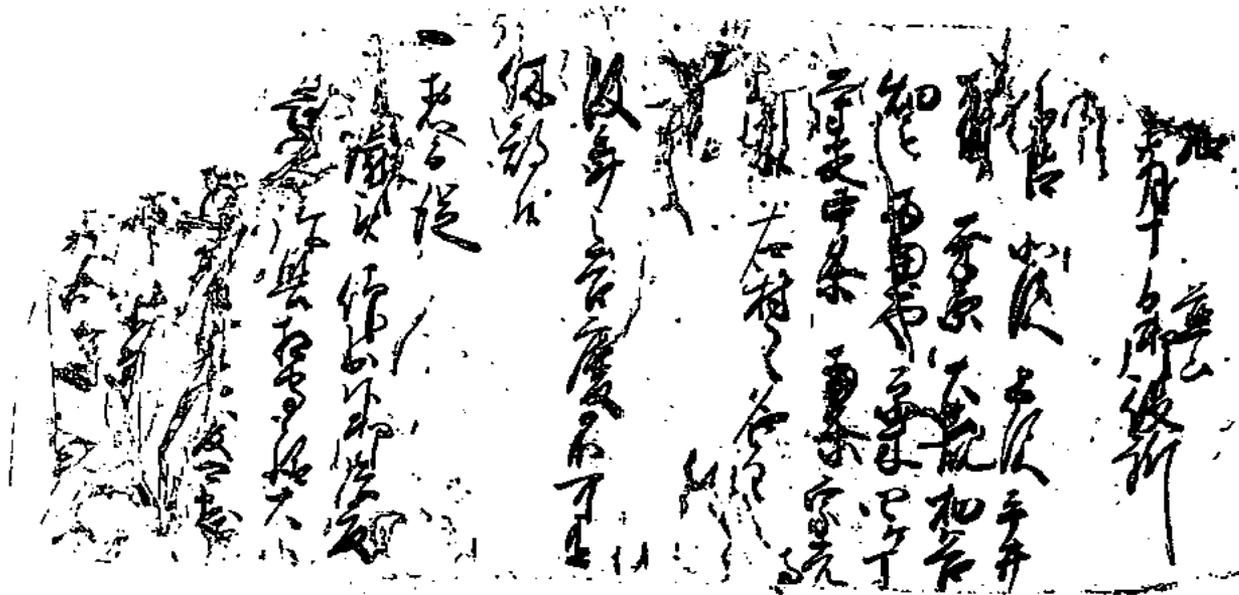
儀有之口来十三日

葦山へ可罷出候此廻状

村下ニ致印形不限昼

夜早々順達留より

相返可候以上



辰 葦山
一月十日御役所

多呂 北沢 上沢平井
大竹 桑原 大土肥柏谷
畑毛 兩名古谷原木四ヶ丁
寺家中条 南条宗光寺
□□ 右村々 名主中

改年之吉慶不可有
体賄候

一惣而 從
公儀被仰出候御法度
□□ 弥堅相守様大小

(以下不明)

一年中之農業陽春心
 專一候春之内出したり日
 夜秋之收納心ニ不□□
 万端無油断農業出精
 可當候商人職人は
 又家業之働随分可
 出精候
 一火之元御法に加きらす
 昼夜無油断様ニ末々ニ
 至迄大切ニ可相守候
 小作請作為致候ハハ
 和活作を致す

役等ニ而直衣時
 不依何事ニ可輕候
 □□食物等捌合ヲ□
 而れ主人下人等ニ至迄
 雜穀ヲ用ひ可申候
 一年中之農業陽春心
 專一候春之内出したり日
 夜秋之收納心ニ不□□
 万端無油断農業出精
 可當候商人職人は
 又家業之働随分可
 出精候
 一火之元御法に加きらす
 昼夜無油断様ニ末々ニ
 至迄大切ニ可相守候
 小作請作為致候ハハ

野人徒更於其所
 夫并他俗存取
 漢文五之可令相對
 出并作值無滯様ニ
 證文取之可令相對尤
 □之上村方作法も可有之
 之候間其趣ヲ以何連ニも
 滯ケ間鋪儀無□様可致候
 一 村々者百姓平日身持
 實体ニいたし親子兄
 弟諸親類ハ不及申村中
 □□互睦敷心掛
 加りそめにも出入ケ間敷
 儀取催不申万端正路ニ
 可致候
 一 農業渡世之當無之
 □民之類我俛もの碎
 □己れもの有之候ハハ
 (以下不明)

□□映遂吟味御
 出并作值無滯様ニ
 證文取之可令相對尤
 □之上村方作法も可有之
 之候間其趣ヲ以何連ニも
 滯ケ間鋪儀無□様可致候
 一 村々者百姓平日身持
 實体ニいたし親子兄
 弟諸親類ハ不及申村中
 □□互睦敷心掛
 加りそめにも出入ケ間敷
 儀取催不申万端正路ニ
 可致候

一 農業渡世之當無之
 □民之類我俛もの碎
 □己れもの有之候ハハ
 (以下不明)

一 并三笠附其外
 多少ニより次賭之諸勝負
 □□無用なるべく候
 一 御家中并末々ニ至迄
 慮外ケ間敷儀無之様ニ
 可致候且又他領之諸士
 □□村々ニ不法法仕間敷候
 往還并右同前之所者
 諸事御條目之趣
 急度相守御用向通
 昼夜少も無滞隋分
 □□入念し且武士荷者
 一 勿論商荷物たり共是
 又昼夜早速滞様ニ附
 送り可申候尤村役人
 本人且馬子共往来

隊士方へ無礼無之様ニ
 致し定之賃金之外
 小分たり共酒代等弥したり
 申義堅仕間敷候若相
 背不屈之沙法於有之ニ
 御吟味之上急度被
 仰付候尤有之右同時ニ候
 往還道橋等心附往
 還ニ差支無之様ニ致
 □□宗門人別帳面
 □一月下旬迄ニ相認可
 差出候
 公用者格別寺社方
 他領之致印形義ハ其□
 □□之役所へ訴出差圖請
 □ニ致候
 (以下不明)

家仰候ニ付御領中
 大随分身持
 実体ニ相慎他領之者
 取組其出入ハ勿論御
 外之内之者たり共
 出行ケ間敷義無之様ニ
 急度□相慎假出入口
 □よひ候然之事何分共
 村役人長百姓共成丈
 取拵不出入様ニ可致も
 御領中名主組頭等ニ
 □迄村下百姓ニ對シ
 偽事無甲乙依依怙最
 眞有体ニ善与惡ヲ糺シ
 少多之差引勘定出シ下
 配分無之様常々
 □□候邪無之上者

- 家仰候ニ付御領中
- □ 大随分身持
- 実体ニ相慎他領之者
- 取組其出入ハ勿論御
- 外之内之者たり共
- 出行ケ間敷義無之様ニ
- 急度□相慎假出入口
- よひ候然之事何分共
- 村役人長百姓共成丈
- 取拵不出入様ニ可致も
- 一 御領中名主組頭等ニ
- □ 迄村下百姓ニ對シ
- 偽事無甲乙依依怙最
- 眞有体ニ善与惡ヲ糺シ
- 少多之差引勘定出シ下
- 配分無之様常々
- □ 候邪無之上者

丙辰新開并起返見
 平日安心たるべく候
 勿論其外荒地等有之
 □々者委細遂吟味
 □訴出候少分たり共
 改之上当春□申候不
 急度□相慎假出入口
 吟味之次第後日ニ沙
 汰於有之ハ当人ハ勿論
 村役人共ニ急度御吟味
 □□仰付候間其者相心得
 違背無之儀追々書付ヲ□
 出候
 □□春外用水川除
 内之假拵見合□□
 □□取繕田畑荒不申様
 可心掛尤月普請有成
 □ハ先達而注進申出
 (以下不明)

右之趣大小之百姓
 共茂よく々申聞村下
 名主印形いたし順達
 留より相返者也
 正月十五日清水政蔵印

□□□□□□其外何
 □□□不依御役所申出候
 御用向者郷宿を以
 先達而我等方へ申出
 指圖を請御役所へ
 可罷出候暑寒其外
 時催之見廻ニ茂有合
 大□聊之青物たり共
 無用たるべしニ候
 惣而御用之外者不及
 面談候
 右之趣大小之百姓
 共茂よく々申聞村下
 名主印形いたし順達
 留より相返者也
 正月十五日清水政蔵印

御公家衆御賄之儀
 宿場遂吟味候處此度
 觸出人足之内在方正
 人足三百人明廿一日七つ時
 □□差出し而ハ不及候間
 右之分ハ百石老人之積
 ヲ以無間違可被差出候
 無罷出明七御賄差支ニ
 相成候間頭數刻後無達
 候而ハ及可被差出候此度
 □□仕大印之旨被仰度有
 □候儀三嶋相誥罷有
 □□□村下ニ印形ニ而
 (以下不明)

大竹桑原奈古谷
 □御門白山堂田京

右村々

名主
組頭

御申入候然者此間者
 皆様不得御遠慮
 いたし候左候へ者先頃
 御公家衆様御通行之節
 問屋觸当人足之内老
 人御公官君御賄之儀
 □□御□□可被成候万一引負
 組方御勘定可被成候□□
 □□御帳引可被成爲共
 知らせ如此代御座候早々
 上沢村 以上
 二月二日 半右衛門より
 平井大竹桑原上沢
 多呂北沢右村々御
 名主中

(不明)

御姫様御泊り
 三嶋宿御泊り
 御成所依之右宿
 問屋より人馬觸当
 次第出刻等遅滞
 無之様急度差出
 被申候此廻状村下
 印形いたし早々
 順達留り村より可被相返候
 以上

□□様御姫様明十三日
 三嶋宿御泊り而御通行
 御成□所依之右宿
 問屋より人馬觸当
 次第出刻等遅滞
 無之様急度差出
 被申候此廻状村下
 □印形いたし早々
 順達留り村より可被相返候
 以上
 江川太郎左衛門
 二月二日 三嶋 御役所
 多呂北沢上沢平井大竹
 桑原大土肥柏谷畑毛両
 奈古谷谷原木四ヶ町寺家
 □□宗光寺守木
 (以下不明)

御公儀所去年中
 御役所へ可罷出候其節
 御代米渡請取書付并
 一月九日以上
 平井
 三月十六日 役所
 大竹桑原奈古谷
 多呂御門白山堂田京
 右名主
 廻状ヲ以申入候然者此
 □を以皆々様不得□□
 敷奉存候左候へ共
 先頃姫君様御通行
 節助郷御役馬之義

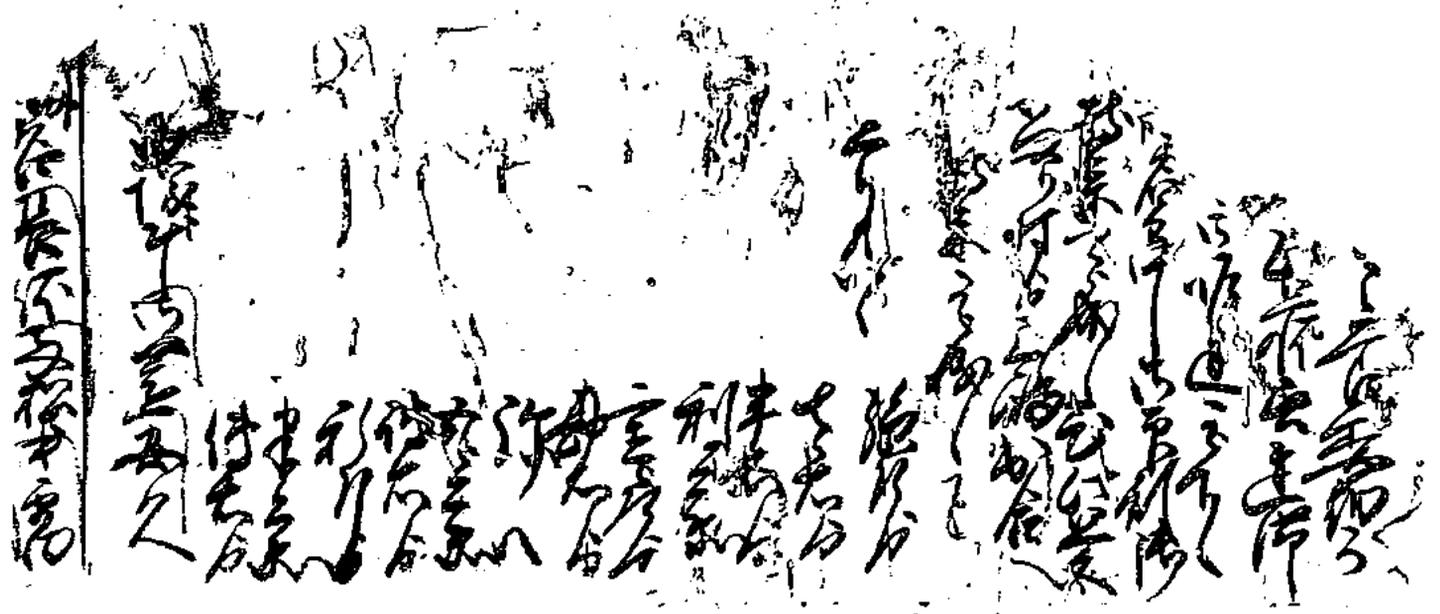
殿泊り加ふる事御義
 二而泊り錢相願尤之
 御座候ニ付相談之故
 馬老正ニ付錢三百文宛
 為持差遣し申候依之右之
 總三万石平均いたし
 馬老正ニ付錢百文宛ニ
 申候間今明日中ニ
 付て御届ケ被下候
 尤外組共先頃中□□
 申候持者義者
 □□外ニ相成勘定
 相濟不申候何□□
 □□て此方迄御届ケ
 □□以上
 □□上沢村
 半右衛門
 (以下不明)

- 様泊リニ相成馬士共難義
- 而泊り錢相願尤之
- 御座候ニ付相談之故
- 馬老正ニ付錢三百文宛
- 為持差遣し申候依之右之
- 總三万石平均いたし
- 馬老正ニ付錢百文宛ニ
- 申候間今明日中ニ
- 付て御届ケ被下候
- 尤外組共先頃中□□
- 申候持者義者
- 外ニ相成勘定
- 相濟不申候何□□
- て此方迄御届ケ
- 以上
- 上沢村
- 半右衛門
- (以下不明)

此の御出會可
 候申其以
 無御不參御出會可
 尤村々急懸ケ御廻シ
 可成候
 以申入候助郷人馬
 申方之義去々寅年
 御公儀様より委細被為
 仰渡則村々請判奉
 差上候処尤助郷より惣代
 者式三人宛問屋場江
 立会人馬遣方相改日メ
 帳印形調候様為仰渡候
 二付依之御相談之上去年
 中拙者共総代相勤問や
 御立合人馬遣方相改
 申候処大勢罷出候後者
 用入用等も多分ニ
 相懸り申候ニ付當年

惣助郷相談之上
 惣助郷二而老人南助郷二而
 二人惣代三人程相定候而
 其上拾式組より人馬当り
 番差出し札揚仕候様
 いたし候ハハ入用も減少
 仕助郷勝手ニ相成可申候与
 被□何之来ル三月十日三嶋
 田町宿江村々御名主中
 無間違御出会可被成候
 御相談之上惣代三人
 御頼被成可然与存奉候
 若入村々思召有之□□
 二而宜敷郷助も御座候ハハ
 □□へも聊相談次第二
 □□□且又拙者共先日
 三嶋
 御願ニ罷出候所
 □□□儀も有之候

惣助郷相談之上
 □助郷ニ而老人南助郷ニ而
 二人惣代三人程相定候而
 其上拾式組より人馬当り
 番差出し札揚仕候様
 いたし候ハハ入用も減少
 仕助郷勝手ニ相成可申候与
 被□何之来ル三月十日三嶋
 田町宿江村々御名主中
 無間違御出会可被成候
 御相談之上惣代三人
 御頼被成可然与存奉候
 若入村々思召有之□□
 二而宜敷郷助も御座候ハハ
 □□へも聊相談次第二
 □□□且又拙者共先日
 三嶋
 御願ニ罷出候所
 □□□儀も有之候



之節委細可

此状無遅滞

御順達可被下候

名主中 御印形御

持参可被成候尤此廻文

留り村より三嶋出合へ

持参可被成候以上

二月廿十八日 孫左衛門

七右衛門

半右衛門

利兵衛

重郎左衛門

勘右衛門

弥八

五郎兵衛

浅右衛門

新左工門

半兵衛

伝右衛門

肥田塚本御園安久

梅名長伏 兩松本平田
 八反畑 鶴喰青木新谷
 堀之内 玉川竹原兩土狩
 水窪久根 久文名茶畑
 表塚嶋田 佐野德倉
 土手原 須原矢田竹倉
 中村北沢 多呂中嶋
 大場間宮 上沢大竹桑原
 平井大土 肥柏谷畑毛
 兩奈古谷 仁田長崎多田
 山木内中村 江中口木
 四日町 原木守木中条
 南條宗光 寺天野古奈
 口口壩之上 兩江間

村々

御名主中

同村組

- □ 減少二成候得共
- □ 用 □ □ □

京賄^ニ為
 御名代松平讚岐守殿
 土井肥後守殿當七日
 沼津宿御泊^リニ而御
 京賄^ニ為
 御名代松平讚岐守殿
 土井肥後守殿當七日
 沼津宿御泊^リニ而御
 京賄^ニ為
 御名代松平讚岐守殿
 土井肥後守殿當七日
 沼津宿御泊^リニ而御

上者
 中より
 見廻り差出し
 宿場不案内之義
 村方難儀之口
 候其上共四人ツツ
 罷成雜用
 両日相つとめ可申候
 逆も組代中分老人
 出三人之者四人
 被成候而も 見廻候
 等万事組代中
 相願申度候以上

江川太郎左衛門
 辰之二月五日
 多呂北沢上沢平井
 桑原大土肥柏谷
 両奈古谷原木
 □□中条南条
 守木 問屋
 村々名主中
 年寄

三嶋宿人馬継之義
 大切之御返リニ而員数刻
 限問屋共申觸候通り無
 間違可差出候大切之
 御賄殊ニ兩日差續
 御通候間問違無之ため
 此段申達候条可被得
 其意候此廻状村下ニ
 至請印早々順達
 三嶋両所之内可相返候
 以上

江川太郎左衛門
 辰之二月五日 蕪山御役所
 多呂北沢上沢平井
 桑原大土肥柏谷
 両奈古谷原木
 □□中条南条
 守木 問屋
 村々名主中
 年寄

橋破損ニ付前々
 伊豆国賄中入用ヲ以
 勿請目論見吟味之上
 相領處以下相濟候其
 村々之儀者前格之通り
 人足相懸り候間高百石ニ
 付人足三人老分式厘三毛
 宛御料私料并御
 朱印除地ノ高共ニ可指出候
 尤人足勤方之儀ハ大場村
 五右衛門中島村源左衛門方
 承合人足指出候様可致候
 此廻状村下ニ致印形早々
 相廻し留り村より可相返候以上
 江川太郎左衛門
 二月六日 葦山御役所

□□□而者
 □□橋破損ニ付前々
 □□伊豆国賄中入用ヲ以
 □□勿請目論見吟味之上
 相領處御下知相濟候其
 村々之儀者前格之通り
 人足相懸り候間高百石ニ
 付人足三人老分式厘三毛
 □□宛御料私料并御
 朱印除地ノ高共ニ可指出候
 尤人足勤方之儀ハ大場村
 五右衛門中島村源左衛門方
 承合人足指出候様可致候
 此廻状村下ニ致印形早々
 相廻し留り村より可相返候以上
 江川太郎左衛門
 二月六日 葦山御役所

松平肥後守様

御座候事

□原徳倉伊豆佐野

川原谷谷田竹原中村

北沢多呂上沢大竹桑原

平井畑毛兩奈古谷

国清寺領村方多田長崎

仁田柏谷大土肥間宮大場

中島 右村々名主

御名代

松平肥後之守様明九日

御通行被相遊候ニ付先達而

相觸之通り老人老疋も不

□□無之御出ニ可成人馬

共成出及相立候大切之

賄ニ御座候□為念如斯ニ

候以上 三嶋

問屋

□□ 年寄

上沢北沢大竹
 桑原平井大土肥柏谷
 両奈古谷右村々
 御名主中
 □□廿日助郷□□□相談
 之儀御不参村方も御座候
 得者打寄候村々相談之上
 趣左ニ相記し申候
 一 去々年宿助郷□入己後
 人馬勤方之義十二組惣代
 ニて段々相改見申候当
 春□今ハ仕方等茂相知ル
 此上者人足當り之節出役
 二人ニて相勤申候間北助郷
 ニて老人南助郷ニて式人
 次合三人相定メ候積リニ
 □様仕候第一組之惣代

追而觸候 其村々

□□之儀 来ル四日内可

□□候 別紙村方ニ書付

相添可差出候 我等

五日ニ発足ニ付 如斯候

八月二日 平井役所

平井 大竹 桑原名主

尚々申上候

廻状を以申入候 此度御

奉行様より御差紙

到来仕候ニ付 急ニ御相談

□儀有之候間 明十四日

□□□□之儀無間違

□□□□□様御出

□□□□□之御儀御

□□□□□被成候てハ

□□日之間ニ合不申候間

無間違御出会可成候

追而觸候 其村々
□□之儀 来ル四日内可
□□候 別紙村方ニ書付
相添可差出候 我等
五日ニ発足ニ付 如斯候
八月二日 平井役所
平井 大竹 桑原名主
尚々申上候
廻状を以申入候 此度御
奉行様より御差紙
到来仕候ニ付 急ニ御相談
□儀有之候間 明十四日
□□□□之儀無間違
□□□□□様御出
□□□□□之御儀御
□□□□□被成候てハ
□□日之間ニ合不申候間
無間違御出会可成候

八月十三日夜 上沢半右衛門
 平井村 大竹村 桑原村 上沢村
 多呂村 北沢村 右村々御名主中
 追而名主御印形御持參可成候
 一江戸路用割 卷足二付
 永六十文ツ、無間違御持參
 可被成候 雨天ニ而も待入申候 以上
 尚々申上候

御役所様 御儀

御興勝御勤被成候は珍重ニ奉存候
 以手紙申入候 弥々各々様
 □□御帰陣之御先触
 □□応仕候 仍之御知らせ
 □□明後晦日ニ御機嫌窺
 □□可然奉存候 右申入
 □□御座候 以上

八月十八日 平井名主
 大竹 桑原 奈古谷 多田 御門
 白山堂 田京 右村々御名主中

下迄存候存候
 八月十八日 平井名主
 大竹 桑原 奈古谷 多田 御門
 白山堂 田京 右村々御名主中

故村は為給所は依之此方
 組代中茂追付御腰被下置
 婦村可被致候 御賄イ相濟候後
 罷出可申候 左候得ハ御用雜用
 割合等も又々可仕候 兼而相談ニ
 思召被下候 且又御公家衆様
 御下り人足八人七分触留申候
 定助、加助ニ而都合人足
 四千八百人程之儀ニ而夥敷
 □□ニ御座候ハ、拙者共罷出
 □□共御團圍相改
 □人足都合式千人斗
 □□申候 尤御賄之儀ハ
 □場役人中不殘開キ
 下働之衆中旁々より
 □触成御賄ニ御座候
 □□□之義は逸々無
 違相改申候処 問屋触書

- 之義は逸々無
- 違相改申候処 問屋触書
- 下働之衆中旁々より
- 触成御賄ニ御座候
- 之義は逸々無
- 違相改申候処 問屋触書
- 場役人中不殘開キ
- 申候 尤御賄之儀ハ
- 人足都合式千人斗
- 共御團圍相改
- ニ御座候ハ、拙者共罷出
- 四千八百人程之儀ニ而夥敷
- 定助、加助ニ而都合人足
- 御下り人足八人七分触留申候
- 思召被下候 且又御公家衆様
- 割合等も又々可仕候 兼而相談ニ
- 罷出可申候 左候得ハ御用雜用
- 婦村可被致候 御賄イ相濟候後
- 組代中茂追付御腰被下置
- 依之此方
- 故村は為給所は依之此方

上ノ是後相違申候間 此段
 一通問屋中へ申入 其上得心
 無之候ハ、江戸表迄茂
 罷下り 御訴訟仕候而ハ固圖
 可有之候哉 何連ニも近々
 組代より廻状差出し可申候
 其節村々無間違御出會
 御相談被成可被下候 此廻状
 村下ニ御印形被成 無遲滞
 御村々相回し 留村より堀之内孫左
 衛門方へ御返し可被下候 以上
 辰ノ八月廿七日 孫右衛門 印
 七郎右衛門 印
 仁右衛門 印
 新左衛門 印
 傳右衛門 印
 □□□□□□□繼 嶋田
 妻塚 茶畑 公文名 久根 佐野
 徳倉 幸原 河原谷 谷田 竹倉
 中村 北沢 多呂 上沢 大竹
 以上ノ是後相違申候間 此段
 一通問屋中へ申入 其上得心
 無之候ハ、江戸表迄茂
 罷下り 御訴訟仕候而ハ固圖
 可有之候哉 何連ニも近々
 組代より廻状差出し可申候
 其節村々無間違御出會
 御相談被成可被下候 此廻状
 村下ニ御印形被成 無遲滞
 御村々相回し 留村より堀之内孫左
 衛門方へ御返し可被下候 以上
 辰ノ八月廿七日 孫右衛門 印
 七郎右衛門 印
 仁右衛門 印
 新左衛門 印
 傳右衛門 印
 □□□□□□□繼 嶋田
 妻塚 茶畑 公文名 久根 佐野
 徳倉 幸原 河原谷 谷田 竹倉
 中村 北沢 多呂 上沢 大竹

多事不云此相告知也
再事不云此相告知也

御公家衆御登二付問屋ヨリ

相觸候人足今月八川支二付

差戻候 然処二今月之出

人足相改之処 不参之村方

有之候 此度御公家衆御

参向ハ甚大切之御賄二候処

如何相心得候哉 不埒二候 此

□□次第猶又問屋□□□

□□条得 七月之員數

□□も無相違 村々御願

□可差出候 尤委細は

御改若不参有之御座候ハ

□改遂吟味二而可被□□候

□□印形即刻順達相返候 以上

辰九月十二日 江川太郎左衛門手代

安井弥藤次

秋山右内

桑原 平井 大土肥 柏谷 畑毛
両奈古谷 右村々名主中

御公家衆御登二付問屋ヨリ
相觸候人足今月八川支二付
差戻候 然処二今月之出
人足相改之処 不参之村方
有之候 此度御公家衆御
参向ハ甚大切之御賄二候処
如何相心得候哉 不埒二候 此
□□次第猶又問屋□□□
□□条得 七月之員數
□□も無相違 村々御願
□可差出候 尤委細は
御改若不参有之御座候ハ
□改遂吟味二而可被□□候
□□印形即刻順達相返候 以上
辰九月十二日 江川太郎左衛門手代
安井弥藤次
秋山右内

多呂 北沢 上沢 平井
大竹 桑原右村々名主

去冬以来金銀吹替可

有之由江戸 京 大阪二而風説

はなはだし 金銀通用二も差

障候段別而大阪表二而者

□□風説申触候趣相聞

不届之至二候 当時金銀

□□儀□決而無之

ホメ口体 風説

□□もの於有之者

□召捕 其奉行所

□料ハ御代官 私領者

地頭へ可申出候 若隠置

不訴出おるてハ為曲事候

右之趣可被相触候

八月

前書之通今般從

公儀御觸候間 即御書付

之写相廻候 惣而百姓共江茂

讀聞セ順達留り村より

可相返者也

□月

平井役所
奈古谷 多田 御門
田京 大竹 桑原

右村々名主 組頭中

御巡見様御廻村

二付先格之通原木

村ヨリ三島宿迄人馬繼□

二付候ハ 先格人馬相立候

村々江申達候間 兼而左様

御心得可被成候 此廻状村下二

御印形被成 早々村順二

御廻可被成候 追而御巡見様

御先触参次第 人馬割

御先格人馬相立候

御心得可被成候

此廻状村下二

御印形被成

御廻可被成候

追而御巡見様

合仕 相廻し可申候間 右
 之通り御心得 不限昼夜
 早々順達 此廻状留り村ヨリ
 早々御返シ可被成候 以上
 辰 九月廿四日
 原木村 太左衛門
 名主 伴藏
 仁田 多呂 北沢 上沢 大竹
 長崎 御名主中

合仕 相廻し可申候間 右
 之通り御心得 不限昼夜
 早々順達 此廻状留り村ヨリ
 早々御返シ可被成候 以上
 辰 九月廿四日
 原木村 太左衛門
 名主 伴藏
 仁田 多呂 北沢 上沢 大竹
 長崎 御名主中
 □□□□ 出方悪敷
 □□ 而雨天二候得は出馬無之
 御賄差支罷成候 此節
 □□ 御番頭様上り下り
 御通行 其外国々御巡見様
 方彼是御込合有之候間
 馬士並諸役之もの共急度
 御申付 遅参 不参無之様
 可被成候 兼而御存知之通り
 駿府御番頭様ニハ御早立
 御急キ之儀ニ候間 遅参無

此方西馬
 御番頭様上り下り
 御通行 其外国々御巡見様
 方彼是御込合有之候間
 馬士並諸役之もの共急度
 御申付 遅参 不参無之様
 可被成候 兼而御存知之通り
 駿府御番頭様ニハ御早立
 御急キ之儀ニ候間 遅参無

此御巡見様方御申付可被成候
 此廻状村下印形被成 早々
 順達 留村ヨリ問屋場江御
 返シ可被成候 以上
 九月廿〇日 三島 問屋
 同所 ○寄
 多田 竹倉 中村 多呂 上沢
 平井 大竹 桑原
 右村々名主中

御巡見様方御申付可被成候
 此廻状村下印形被成 早々
 順達 留村ヨリ問屋場江御
 返シ可被成候 以上
 九月廿〇日 三島 問屋
 同所 ○寄
 多田 竹倉 中村 多呂 上沢
 平井 大竹 桑原
 右村々名主中

之様ニ急度御申付可被成候
 此廻状村下印形被成 早々
 順達 留村ヨリ問屋場江御
 返シ可被成候 以上
 九月廿〇日 三島 問屋
 同所 ○寄
 多田 竹倉 中村 多呂 上沢
 平井 大竹 桑原
 右村々名主中

□□御巡見様方御
 □□ニ付吉之丞領分
 □原木村ニ而人馬繼を先
 格之通御路致シ 前々
 相勤候村方ハ割合通
 人馬無滞原木村へ相
 詰可被申候 大切之御用之儀
 無間違様ニ可被致候 尤
 割合之儀原木村ヨリ
 相達可申候 以上

大内史記
 下久保吉之丞内
 浅田格左衛門
 長崎 仁田 大土肥 大竹
 桑原 平井 柏谷 畑毛
 両奈古谷 右村々名主中
 木村へ可被相返候 以上

御朱印人馬并御番方
 通行其外大名衆大賄二
 候間 三嶋宿觸出 人馬
 刻限等無遲滞 急度
 可差出候 何れニも大切之
 繼立候間 万一人馬出方
 有遲滞候は 遂吟味候間
 可得其意候 此廻状
 刻付を以早々相廻し 留り

九月廿八日

大久保吉之丞内

浅田格左衛門

長崎 仁田 大土肥 大竹

桑原 平井 柏谷 畑毛

両奈古谷 右村々名主中

木村へ可被相返候 以上

御朱印人馬并御番方

通行其外大名衆大賄二

候間 三嶋宿觸出 人馬

刻限等無遲滞 急度

可差出候 何れニも大切之

繼立候間 万一人馬出方

有遲滞候は 遂吟味候間

可得其意候 此廻状

刻付を以早々相廻し 留り

無之誤り

江川太郎左衛門御役所
北沢村 巳ノ下刻上沢
大竹村 未之上刻桑原村
申ノ上刻

大土肥村 柏谷村 畑毛村
奈古谷村右名主与頭

御巡見様人馬御賄之儀
原木村江寄世人馬三而 四ツ時
出賄被仰付候 仍之今明
六ツ時原木村相詰 御役
御勤可被成候 尤村下印形
被成 御廻し可被成候 以上

九月廿日
原木村 太左衛門
名主 半蔵

肥田 長崎 仁田 大土肥
大竹 桑原 右名主中

記

未作

大竹村

□□□ 蕪山役所へ可被相返候

江川太郎左衛門御役所

□ノ上刻□□北沢村 巳ノ下刻上沢

村 大竹村 未之上刻桑原村

申ノ上刻□□

□□村 大土肥村 柏谷村 畑毛村

□奈古谷村右名主与頭

□□相觸候

御巡見様人馬御賄之儀

原木村江寄世人馬三而 四ツ時

出賄被仰付候 仍之今明

六ツ時原木村相詰 御役

御勤可被成候 尤村下印形

被成 御廻し可被成候 以上

九月廿日

原木村 太左衛門

名主 半蔵

肥田 長崎 仁田 大土肥

大竹 桑原 右名主中

御座候間 明四日四ツ時原木村
 実来寺迄村々御名主中
 無御名代御出会可被下候
 委細御□面可申上候
 少々御指合御座候共
 無間違御出會御出候
 可被下候 以上
 十月三日 原木村名主太左衛門
 兩奈古谷 畑毛 柏谷 平井 桑原
 仁田 長崎 右之村々御名主中
 申入候外村々組代中へ右相廻申候
 以上
 □ヲ以申入候 然者此間□
 □□得 御□御遠敷

御機嫌能御揃
 承度奉存候
 左候
 へは先頃御公家衆様御
 上下相濟申候 是二付問屋
 中へ對シ人馬勤方之儀
 御相談申度儀有之 并
 江戸之儀御公家衆様
 御賄相濟申候へは 早速
 御座候筈ニ御座候 近日
 江戸へ出立茂可仕候間 是又
 御相談申度儀御座候間
 明後六日長伏村仙福寺
 まで御出会可被成候 尤
 昼喰代御持參可被成候
 弥々無間違御來駕待入候 以上
 十月四日 上沢村 半右衛門
 平井 大竹 桑原上沢 多呂
 御名主中

御巡見様御廻村

村々御名主中

□以申入候 此度

御巡見様御廻村

□先格之通 輕井沢ヨリ

□宿込人馬繼仕候 仍之

先格人馬相立候村々へ申

進候 兼而相談を御心得可被成候

勿論追而御先触参次第

人馬割仕 相廻シ可申候 此廻状

御村下御印形 不構昼夜二御

廻し 留り村々ヨリ早々御返シ

可被成候 以上

十一月八日 輕井沢村

名主 善兵衛

平井村

名主 半蔵

大竹 桑原 上沢 多呂 北沢

中嶋 大場 間宮 大土肥 仁田

柏谷 両奈古や 畑毛

村々御名主中

右村々御名主中

長伏村出會之節ハ皆々様

□□□參二御座候 其節御

相談之儀御差紙之儀

二付又々江戸出府仕候

依之路用割仕 馬寮正

二付永六拾文宛十日二御届ケ

可被下候 此度ハ中嶋村孫左衛門殿

茶畑村傳右衛門殿 谷田村忠右衛門

殿 右之衆中三人被參候筈二

相極メ置申候 弥々右之割合

十日迄二無間違御届ケ

可被下候 以上

□月八日 上沢村 半右衛門

平井 大竹 桑原 上沢

多呂 北沢

右村々御名主中

新

平井大竹 桑原 奈古谷

御門 白山堂 田京

右村々名主

御名代井伊掃部頭殿

明廿三日沼津御泊り二而

御下り二候間 三嶋宿賄人馬

問屋申触候通 員数 刻

限無相違 村々可差出候

無左候而ハ 御賄差支ニ

相成候間 可得其意候 此廻状

村下致 早々順達 留りヨリ

可相返候 以上

□月廿二日 江川太郎左衛門御役所

□□ 上沢 大竹 桑原 平井

大土肥 柏谷 畑毛 □南奈古谷

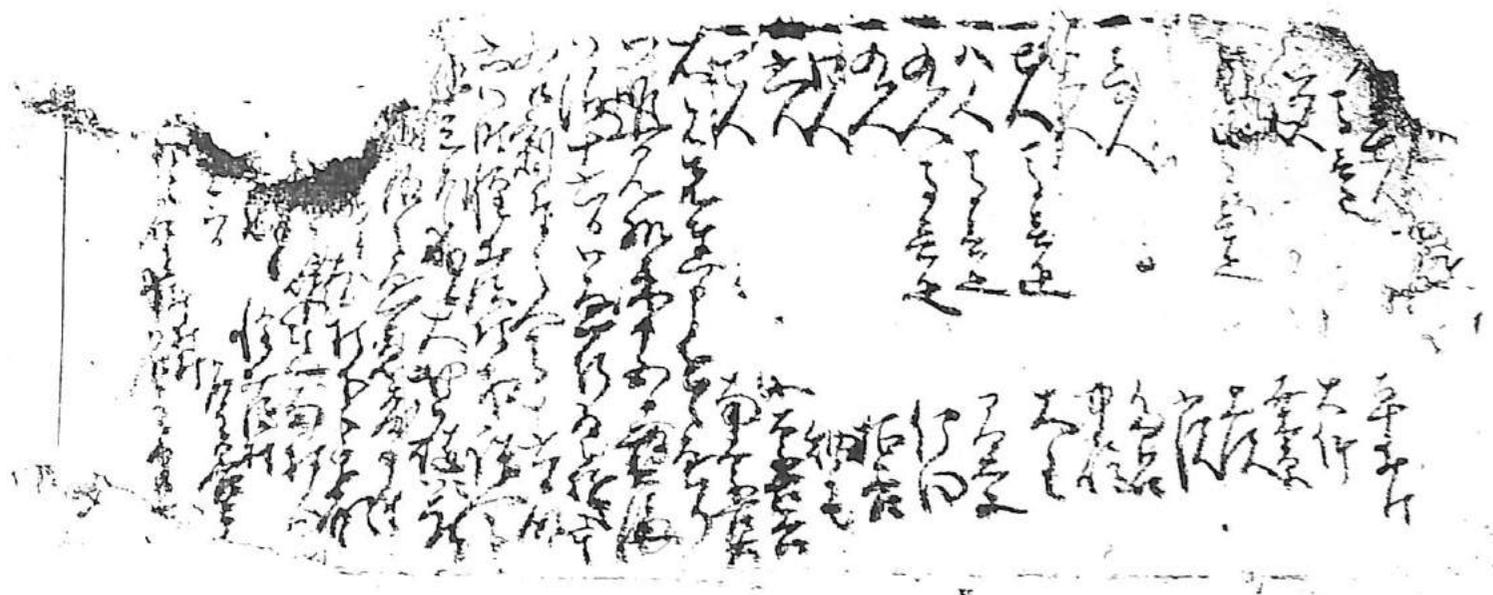
右村々名主中

南奈古谷

相達候

□□□相達候 然者
□□□收納米割合之通
□□□取立致 郷蔵詰
其時々員数書付
可差出事

一米永納方之儀は
霜月晦日迄可相納候
当年御廻米ハ無之候
御役所詰代 米渡等之
員数割合 追而可相
触候 俵入拵等弥々以
入念可申候
一火之元用心專要之事
二候条小百姓共へも申聞
□□□年之通り昼夜無
慎火之廻 并郷蔵番人申付
少も油断有間敷候 以上



一、七人 馬老疋 平井村
 一、□人 大竹

一、馬老疋 桑原
 上沢

一、老入 多呂
 北沢

一、□人 中嶋
 大は

一、七人 馬老疋 間宮
 仁田

一、八人 馬老疋 柏谷
 畑毛

一、九人 馬老疋 北奈古谷
 南奈古谷

一、六人 右は先達申進候通り
 御巡見様来十五日熱海

一、七人 御泊 十六日御通行為被遊候二付
 右割付之人馬 十六日朝

六ツ時輕井沢村二相詰 人馬
 繼立可被成候 大切之賄二御座候間

日限之通 急度申付候
 □□□ 尤村下へ印形
 □□□ 順達 留村ヨリ
 回御國 以上
 □□月三日 輕井沢
 名主 善兵衛
 平井村
 名主 □□

御所司代
 八ヶ村御名主
 十一月十九日
 平井村
 宿御泊り二而御通行
 御所司代河内守殿明二十五日
 八ヶ村御名主
 十一月十九日
 平井村
 宿御泊り二而御通行

□□□□勝手次第御出

□□□□□□□□

□□□□申入候 弥寒気相

□□□□ 各々様御平安二被成

御座候 珍重二奉存候 当地無

異議打過ぎ候 然は

御役所御新造様御事

一時十七日夜御安座被

遊候 右御祝儀旁々御出

可然と奉存候 此儀申入候

如斯二御座候 以上

十一月十九日 平井村

名主

八ヶ村御名主中

御所司代河内守殿明二十五日

□□宿御泊り二而御通行

此書三本在右宿
 寫馬觸次第無
 間違可差出候 右賄人
 〇〇〇間 出刻等無
 遲滯可指出候 此廻狀
 村下二致印形 刻付順達
 留りヨリ可相返候 以上
 辰十一月廿四日
 江川太郎左衛門 御役所
 多呂 北沢 上沢 平井
 大竹 桑原 右村々名主
 尚々申上候 無間違二十九日御出待
 入候 田中へは便り有之候間 別紙
 申上候 以上
 御〇紙申入候 弥各々様御
 〇〇被成御座候 珍重之
 奉存候 然は此間は
 團圓御祝儀明二十七日之積り
 之指合出来候二付 二十九日無間違

辰年助郷諸入用書割帳
 金ノ十四兩壹分
 永式百八文六分
 錢ノ四拾三貫三百六十七文
 此永拾貫八十五文四分
 □拾四貫五百五十三文八分
 □壹人貳分余り人足
 ヲリ請取申候

其泊り
 納日延も御願可申上候
 御印形御持参可仕奉存候
 申入度如此御座候 早々 以上

十一月廿六日 平井 名主
 大竹 桑原 奈古谷 多田 多田 右村々御名主中

永六貫七百四拾口

式百十六文ツ

五十七文六分

永六貫四百九拾六文式分

此割馬数式百十六疋半

老疋二付永三十六文懸り

右之通り当辰年益後

ヨリ之分 諸入用割合

如此二御座候 以上

寶歷十年辰十二月朔日

孫右衛門 利兵衛 安右衛門

仁右衛門 半衛門 傳右衛門

忠右衛門 五郎兵衛 五右衛門

七郎右衛門

利返之覚

錢九口口二文 平井村

百式十八文 大竹村

口口十四文 桑原村

上沢村

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a document or record, located in the upper right quadrant of the page.

追而當春 拙者方ニ而御出會
 御座候間 少々雜用有之候ニ付
 思召ニ而被懸可被下候 尤時分柄ニ
 御座候様 申進候 以上
 右之御村 上沢村
 無間違 右之通□□可被下候
 □□御公儀奉存候 弥々
 □□は早朝ヨリ御出待入
 □□證人等相調可申候

□□□□□□□□□□
 □□馬老疋ニ付永六拾文
 内□□三十文ヅゝ割返シ申候
 □□□三十文七月ヨリ十二月
 □□□入用 出入入用相懸リ
 申候ニ付 右之内指引 相足し
 申候間 御受取被成 村下ニ
 御印形ニ而御廻 上沢村迄
 御届可被下候 以上
 辰ノ十二月

天明六年

小田原御家中

午ノ正月

御名前之覚

天明六年

小田原御家中 御名前之覚

午ノ正月

御年寄

近藤庄右衛門
服部七郎兵衛
大久保弥平次

御用人

早川与左衛門
横井三郎左衛門
山本伊右衛門
石井平左衛門
石原伴右衛門

郡御奉行

堀部 糺
堀部 佐左衛門

御年寄

近藤庄右衛門
服部七郎兵衛
大久保弥平次

御用人

早川与左衛門
横井三郎左衛門
山本伊右衛門
石井平左衛門
石原伴右衛門

郡御奉行

堀部 糺
堀部 佐左衛門

葵利兵衛
関次

口本

松山又左衛門
大久保将監
松尾 佐久太

寺社奉行

松山又左

口本

大久保将監

松山又左
大久保将監

書役
松山又左

御作事奉行

山下与太夫

斎藤利兵衛

同手代

板倉利右衛門
関次左衛門

田中菊右衛門
宗左衛門

代

塚邊伊右衛門
須藤 弘助
松尾 佐久太

寺社奉行

松山又左衛門
大久保将監

代り

篠崎儀右衛門

同手代

村山 惠八
青木村右衛門

代

狐山勝左衛門
佐古和兵衛
佐藤宅右衛門

御作事奉行

山下与太夫
斎藤利兵衛

青木 穂田 彈藏
 井山 兵八
 井山 五平次
 山奉行 杉山 類右衛門
 小川 与五右衛門
 同代官 小垣 源左衛門
 大野 和藏
 同書役 佐野 繁左衛門
 平田 和助
 相州代官 小川 甚助
 露木 文左衛門
 同手代 小松 常右衛門

青木
 穂田 彈藏
 井山 兵八
 井山 五平次
 山奉行
 杉山 類右衛門
 小川 与五右衛門
 同代官
 小垣 源左衛門
 大野 和藏
 同書役
 佐野 繁左衛門
 平田 和助
 相州代官
 小川 甚助
 露木 文左衛門
 同手代
 小松 常右衛門

御代官

口代

御代官

口代

大金方

水方

豆州

御代官

寛政三亥四月より

亥三月より

大坂郡手代ニ代り 片岡五左衛門

駿州 亥年より 松尾関左衛門

御代官

小倉 久太夫
青柳定左衛門

同手代
富田与左衛門

大金方

中山七郎兵衛

筑間何右衛門

小島金右衛門
久保田磯八

水方

開發方

伊沢 栄助

日六役
 御貨物濱代官
 草場八十右衛門
 牧野五兵衛
 桑山郡兵衛
 矢崎徳左衛門
 坪田仁左衛門
 鈴木郡八
 富井五右衛門
 森本文兵衛
 佐藤和兵衛
 森田清兵衛
 草場八十右衛門
 左藤久五右衛門
 増田兵八
 開発方
 川口梳右衛門
 吉村加野右衛門
 瀬戸三太兵衛
 河崎源左衛門
 佐川應要助
 川方

御貨物濱代官
 同六役
 草場八十右衛門
 牧野五兵衛
 桑山郡兵衛
 矢崎徳左衛門
 坪田仁左衛門
 鈴木郡八
 富井五右衛門
 森本文兵衛
 佐藤和兵衛
 森田清兵衛
 草場八十右衛門
 左藤久五右衛門
 増田兵八
 開発方
 川口梳^{スキ}右衛門
 吉村加野右衛門
 瀬戸三太兵衛
 河崎源左衛門
 佐川應要助
 川方

御雜用

飯田富左衛門

三好峯右衛門

吉富彦助

松崎常右衛門

米見方

岡野泰助

吉岡幸左衛門

川添專助

濱藏方村廻衆

配嶋口政兵衛

松熊徳左衛門

御馬屋方

片山銀左衛門

清石伊左衛門

中間頭取

松浦茂右衛門

高橋栢右衛門

郡御組中

加茂鉄右衛門

塚邊仁右衛門

浦井郡太

村山沢左衛門

村山郡藏

瀬戸永左衛門

瀬戸喜三太

竹井半藏

松田常左衛門

塚部与七

森田源藏

井上甚左衛門

山本安藏

高橋恒藏

山本熊藏

矢野清八

小頭

加茂鉄右衛門

塚邊仁右衛門

浦井郡太

村山沢左衛門

村山郡藏

瀬戸永左衛門

瀬戸喜三太

竹井半藏

松田常左衛門

塚部与七

森田源藏

井上甚左衛門

山本安藏

高橋恒藏

山本熊藏

矢野清八

大野好藏
前田庄藏
沢田紋藏
奥津清左衛門
田坂惣藏
平田熊藏

大野好藏
前田庄藏
沢田紋藏
奥津清左衛門
田坂惣藏
平田熊藏

寛政七年
卯年御用配府写帳
正月

寛政七年
卯年御用配府写帳
正月

覚

大竹村傳馬給役割

一	米壹升壹合五勺	長三郎
一	米壹合	弥惣右衛門
一	六升六合	藤左衛門
一	壹升七合	弥兵衛
	九升四合	

一 米壹升壹合五勺
 一 米壹合
 一 六升六合
 一 壹升七合
 一 九升四合

葛飾郡御領山林ニ而養母并
 女房及殺害逃去ル与七罨
 養子字内人相書
 當卯年三拾四歳
 武州二郷半領彦成村
 百姓治郎左衛門実弟ニ而同村
 出生之者
 せい五尺三寸位 中肉
 丸顔 頬細く色黒き方
 髪并月代如此共□く
 月代之内左リ之方□□
 出来物在之
 髯濃き方
 眉毛濃く目尻下リ
 老重萬婦太
 鼻低き方
 口大(き)く×齒細小
 揃ひ、言舌少し鼻に懸り
 早言。

葛飾郡御領山林ニ而養母并

女房及殺害逃去ル与七罨

養子字内人相書

當卯年三拾四歳

武州二郷半領彦成村

百姓治郎左衛門実弟ニ而同村

出生之者

せい五尺三寸位 中肉

丸顔 頬細く色黒き方

髪并月代如此共□く

月代之内左リ之方□□

出来物在之

髯濃き方

眉毛濃く目尻下リ

老重萬婦太

鼻低き方

口大(き)く×齒細小

揃ひ、言舌少し鼻に懸り

早言。

耳常躰

一 其節之衣類表紺地茶色
 袴筋六尺 □ 堅嶋木綿 □ □
 而候色木綿入柿色木綿
 □ □ □ 浅黄かすり嶋木綿
 単物着し阿いびうど
 木綿帯いたし
 右之通之者於有之者其
 所ニ留置御料者御代官へ
 私領者領主地頭江申出夫より
 於江戸曲淵甲斐守所江
 可申出候若及見聞 □ □ □
 段も可申出候尤家来夫もの
 等込入念可懸吟味若隠
 置脇より相知レ候ハバ可為曲事候
 正月
 右之趣縦
 公儀 □ □ □ □ 四日旨可相心得候
 尤 □ □ 寺社江も可申通候以上

一耳常躰

一 其節之衣類表紺地茶色
 袴筋六尺 □ 堅嶋木綿 □ □
 而候色木綿入柿色木綿
 □ □ □ 浅黄かすり嶋木綿
 単物着し阿いびうど
 木綿帯いたし
 右之通之者於有之者其
 所ニ留置御料者御代官へ
 私領者領主地頭江申出夫より
 於江戸曲淵甲斐守所江
 可申出候若及見聞 □ □ □
 段も可申出候尤家来夫もの
 等込入念可懸吟味若隠
 置脇より相知レ候ハバ可為曲事候
 正月
 右之趣縦
 公儀 □ □ □ □ 四日旨可相心得候
 尤 □ □ 寺社江も可申通候以上

覺

一 八分五厘

一 五分

一 四分

一 三分

一 二分

一 一分

一 五分

一 四分

一 三分

一 二分

一 一分

一 五分

一 金壹分貳朱 桑原村

三百九十六文

一 壹分三百八拾七文大竹村

一 貳朱三百六拾九文上沢村

一 貳步四百五拾七文多田村

一 貳兩貳百四拾文 田京村

一 貳朱七百六拾文 大仁村

一 貳步百八拾六文 門野原村

一 壹兩貳分六百廿五文八木沢村

一 貳百五拾八文 足保村

一 壹步四百三拾九文古宇村

一 壹步六百七拾九文久連村

四百三文
 小海村
 右者春住夫中間二而
 來ル十七日取立候間四ツ時に
 罷出可相納被下
 九拾歳以上之者有之候ハバ
 是又取調可被申出候
 一 困穀印形不致村々
 七日名主印形無失念可
 被致持參被下
 二月八日河崎源左衛門印
 右村々名主中
 追而村下印形早々順
 達留り村より可致返却候

一 四百三文 小海村
 一 右者春住夫中間二而
 來ル十七日取立候間四ツ時に
 罷出可相納被下
 一 九拾歳以上之者有之候ハバ
 是又取調可被申出候
 一 困穀印形不致村々
 七日名主印形無失念可
 被致持參被下
 二月八日河崎源左衛門印
 右村々名主中
 追而村下印形早々順
 達留り村より可致返却候

為宗門改之儀去寅
 年之通宅改二付寄
 村々當卯年宗門
 帳面并去寅年下帳
 と持參相觸候日限之通
 無間違可被罷出候尤
 遠方村方者前日
 手前共宅江着届可
 被致候且下人認方之
 儀者當年より宗号
 寺号相除左之通相
 認候様被仰出候間其
 旨可被相心得候以上
 一 下人誰
 是ハ何村何寺且那何任
 □□且那寺より宗門手形
 取置申候

當宗門改之儀去寅
 年之通宅改二付寄
 村々當卯年宗門
 帳面并去寅年下帳
 と持參相觸候日限之通
 無間違可被罷出候尤
 遠方村方者前日
 手前共宅江着届可
 被致候且下人認方之
 儀者當年より宗号
 寺号相除左之通相
 認候様被仰出候間其
 旨可被相心得候以上
 一 下人誰
 是ハ何村何寺且那何任
 □□且那寺より宗門手形
 取置申候

二月九日 佐藤和兵衛
大庭班也

板橋村 風祭村 水野尾村

入生田村 後河原村 須雲川村

畑宿 箱根小田原町

右八ヶ村來ル三月十五日改

長伏村 安久村 梅名村

青木村 平田村 玉川村

上松本村 下松本村

右八ヶ村來三月十六日改

桑原村 大竹村 上沢村

多田村 田京村 大仁村

門野原村

右七ヶ村來三月十七日改

八木沢村 足保村 古宇村

久連村 小海村

右五ヶ村來三月十八日改

日守村 徳倉村 小諏訪村

二月九日

佐藤和兵衛

大庭□□

板橋村 風祭村 水野尾村

入生田村 後河原村 須雲川村

畑宿 箱根小田原町

右八ヶ村來ル三月十五日改

長伏村 安久村 梅名村

青木村 平田村 玉川村

上松本村 下松本村

右八ヶ村來三月十六日改

桑原村 大竹村 上沢村

多田村 田京村 大仁村

門野原村

右七ヶ村來三月十七日改

八木沢村 足保村 古宇村

久連村 小海村

右五ヶ村來三月十八日改

日守村 徳倉村 小諏訪村

東沢田村 沼田新田

右五ヶ村來三月十九日改

大野新田 檜新田 松岡村

五貫嶋村

右四ヶ村來三月廿日改

右村々名主組頭中

追而村下致印形先々江順達

廻り村より村繼返却可有之候

以上

其村々加助郷勤高

蕪山御役所へ□□□出候ハバ

写書を付御役方江早々

可被申出候以上

八月廿日 三木代右衛門印

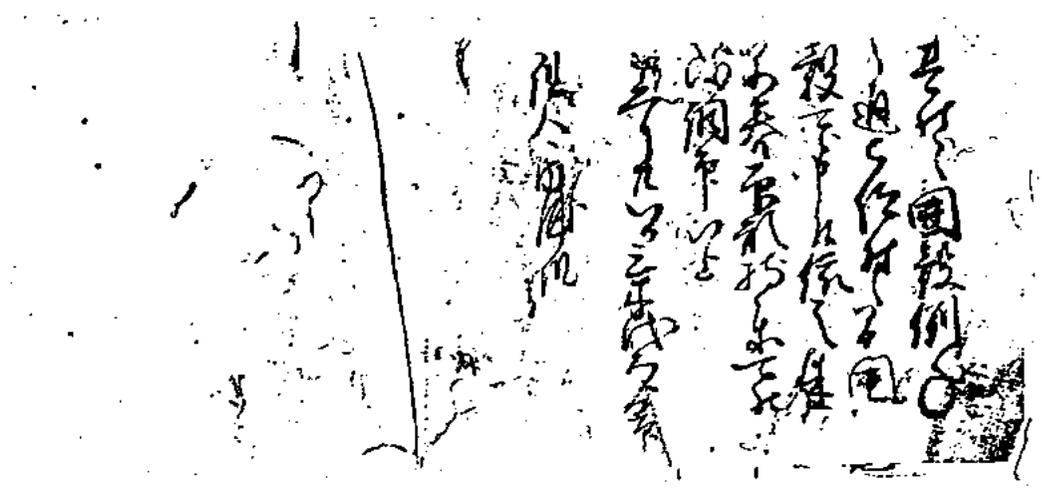
田方郡組合村々名主中

追而君沢郡二而も相勤候ハバ

近村より

原村辺 相勤不申候ハバ

繼送り候ニ不及候以上



其村々困穀例年

之通被仰付候間困

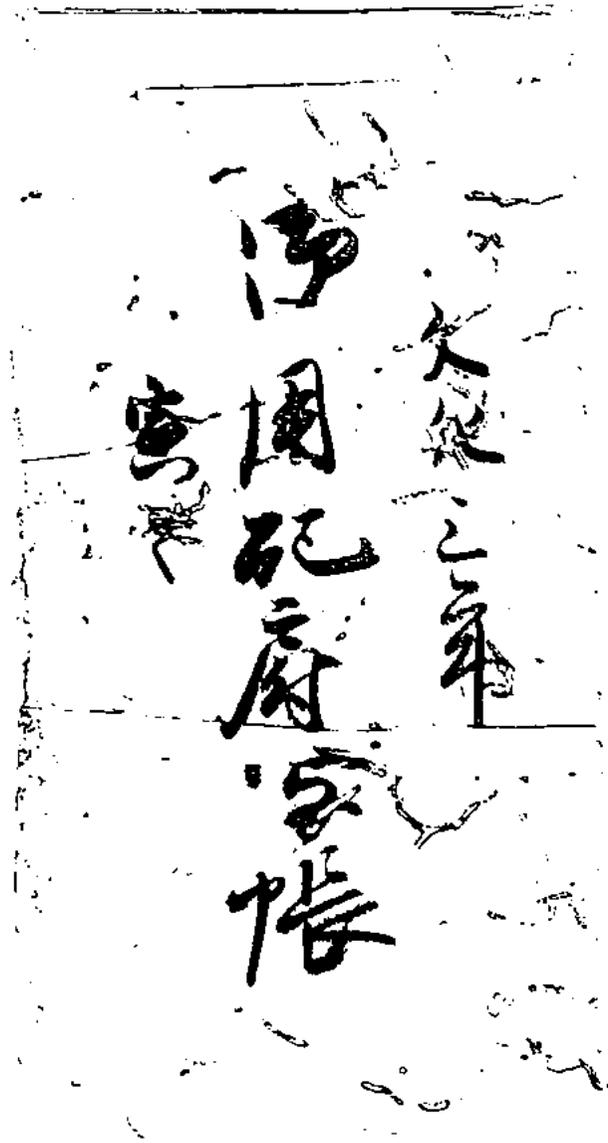
穀可被申候付依之來

早春印形持參可被

致調印以上

十二月廿八日 三木代右衛門印

組合内組方



文化三年

御
用
配
府
写
帳

寅之

大目付

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a document or ledger entry. The text is dense and difficult to read due to the cursive style.

大目付^江

松平陸奥守領分ニ限
 通用之鑄錢形チ取テ角
 文字之仙臺通宝被
 致候領内ニおゐて當
 辰より五ヶ年之間鑄錢有
 之候、右者陸奥守領分
 ニ限リ通用之筈ニ候処若心
 得違外々ニ而通用い
 たし候もの有之候ハバ
 御料者最寄御代官
 陣屋、私領之分ハ公事方
 御勘定奉行月番宅^江
 可訴出候、隱置外より於
 相知者吟味之上急度
 可申付候右之通天明四
 辰年相觸候処右鑄錢
 通用錢ニ取更取遣り

いたし候者も有之趣

相聞不届キニ候依之

追々改之者相廻シ右

鑄錢更リ有之分繕ニ

取扱候分其婚限又ハ

筵包等ニ取扱候分□□

叭其包一口限取上急度

可申付候。

右之趣御料者御代官

私領者領主、地頭より可被

相觸候。

四月
大目付江

奥州筋深山之内ニ

通用錢隠鑄錢候者

有之趣相聞不届之至

ニ候右躰所業之者於

有之者、御料者最奇
 御代官陣屋、私領之分ハ
 公事方御勘定奉行月
 番宅迄可訴出候若隱
 置外より相知者吟味
 之上急度可申付候。
 有之趣御料者御代官
 私領者領主地頭より
 可被相觸候。尤御代官
 并領主、地頭ニ而嚴蜜（密）
 遂吟味可被申候。外より
 於相頭者可為越度候。
 右之趣從
 公儀被仰出候間、其
 旨可相心得候。尤寺
 社迄もか申通候。已上
 寅
 四月廿七日地方御役所印

有之者、御料者最奇
 御代官陣屋、私領之分ハ
 公事方御勘定奉行月
 番宅迄可訴出候若隱
 置外より相知者吟味
 之上急度可申付候。
 有之趣御料者御代官
 私領者領主地頭より
 可被相觸候。尤御代官
 并領主、地頭ニ而嚴蜜（密）
 遂吟味可被申候。外より
 於相頭者可為越度候。
 四月
 右之趣從
 公儀被仰出候間、其
 旨可相心得候。尤寺
 社迄もか申通候。已上
 寅
 四月廿七日地方御役所印

甲子年組合村々
田方郡組合村々
順達留村より返却可致候。

是

戸田宋女正様

右去廿六日御卒去ニ付
廿八日迄鳴物御停止ニ候。
尤普請者御構無之候
右之趣従
公儀被仰出候間、其旨
可被相心得候。尤寺社江も
可申通候。以上

四月廿七日

地方御役所印

田方郡組合村々

田方郡組合村々

□而村下致印形。早々

順達留村より返却可致候。

覚

戸田宋女正様

右去廿六日御卒去ニ付

廿八日迄鳴物御停止ニ候。

尤普請者御構無之候

右之趣従

公儀被仰出候間、其旨

可被相心得候。尤寺社江も

可申通候。以上

寅

四月廿七日

地方御役所印

田方郡組合村々

豆州君沢郡長濱村

小文次儀樟腦割法

傳方相頼致依口上

年々御用樟腦被仰付候

依之君沢郡田方郡式郡

之内樟木買請之儀

相頼候處、當寅三月十三日

君沢田方式郡之分者

樟木賣買被仰付候右

式郡村々之者共樟木

賣拂之者共小文次江

相對之上賣拂可申候。尤

其時之相場外連（れ）下

直買請申間鋪候。小文次

江茂申渡置候。以上

豆州君沢郡長濱村
小文次儀樟腦割法
傳方相頼致依口上
年々御用樟腦被仰付候。
依之君沢郡田方郡式郡
之内樟木買請之儀
相頼候處、當寅三月十三日
君沢田方式郡之分者
樟木賣買被仰付候右
式郡村々之者共樟木
賣拂之者共小文次江
相對之上賣拂可申候。尤
其時之相場外連（れ）下
直買請申間鋪候。小文次
江茂申渡置候。以上

寅 四月

御葉園

御役所印

此書附申達候。然者
 別紙書附を以申渡候
 間、其旨心得違無
 之様得与承知之上
 順達可有之候。尤廻状
 留より小文次方返却
 可致候。以上

寅五月

山本忠蔵
 飯田源之助
 内田源蔵
 菰田栄次郎
 池田辰之助
 近藤金之助
 伊豆国
 君沢郡
 田方郡

以廻状申達候。然者
 別紙書附を以申渡候
 間、其旨心得違無
 之様得与承知之上
 順達可有之候。尤廻状
 留より小文次方返却
 可致候。以上

寅五月

山本忠蔵
 飯田源之助
 内田源蔵
 菰田栄次郎
 池田辰之助
 近藤金之助
 伊豆国
 君沢郡
 田方郡

御用樟腦割取方被仰
付候ニ付君沢郡田方郡
武郡樟木賣買被仰
付私買請仕度段御願
申上処此度願之通被仰
付則

御藥園

御用樟腦割取方被仰
付候ニ付君沢郡田方郡
武郡樟木賣買被仰
付私買請仕度段御願
申上処此度願之通被仰
付則

御藥園
被遊御渡候ニ付村順
相記相廻シ申候得共若
□□不順ニ候ハバ何連ニも
可然御取斗落村無之様

村々

名主

組頭

百姓代

右廻状表書

番町

御藥園

廻状

近藤金之助

池田辰之助

御用樟腦割取方被仰

付候ニ付君沢郡田方郡

武郡樟木賣買被仰

付私買請仕度段御願

申上処此度願之通被仰

付則

御藥園御役所御觸書

被遊御渡候ニ付村順

相記相廻シ申候得共若

□□不順ニ候ハバ何連ニも

可然御取斗落村無之様

山本村初メ百三十七ヶ村有
 組下横帳ニテ
 請印帳但し豎帳
 一、別紙御觸書之趣承知
 仕候ニ付請印仕候以上
 文化三寅
 五月廿七日
 田方郡
 滝山村
 山木村
 名主 左衛門印
 藤左衛門印
 百姓代佐次右衛門印
 〇〇十七日迄
 百廿二ヶ村順達ニ見ヘ

御継立御請印被成
 留りより私方迄御返可
 被下候以上

寅五月廿五日

長濱村

小文字印

村順帳前書如斯

山木村初メ百三十七ヶ村有

組下横帳ニテ

請印帳但し豎帳

一、別紙御觸書之趣承知

仕候ニ付請印仕候以上

文化三寅

五月廿七日

田方郡

滝山村

山木村

名主 左衛門印

藤左衛門印

百姓代佐次右衛門印

〇〇十七日迄

百廿二ヶ村順達ニ見ヘ

若くは九乃の病書
 母さゝ子女房□□
 手疵為負逝去候
 相州高座郡□□村
 百姓宗兵衛弟幼名春吉
 當時同郡小動村百姓
 三郎右衛門人相書
 一年齡式十七歳
 肉太柔和なる方
 目丸き方
 齒並揃ひこまかなる
 方ニ而三□□かなる方
 耳鼻口常躰
 丈ヶ低き方
 顔丸く頬骨高色
 黒き方
 月代并髪わ薄く
 鬢厚き方
 其節之衣類木綿紺
 染立嶋袴同柿染古
 単物を着し黒紬

當四月廿九日夜半に
 母さゝ子女房□□
 手疵為負逝去候
 相州高座郡□□村
 百姓宗兵衛弟幼名春吉
 當時同郡小動村百姓
 三郎右衛門人相書

一年齡式十七歳
 肉太柔和なる方
 目丸き方
 齒並揃ひこまかなる
 方ニ而三□□かなる方
 耳鼻口常躰
 丈ヶ低き方
 顔丸く頬骨高色
 黒き方
 月代并髪わ薄く
 鬢厚き方
 其節之衣類木綿紺
 染立嶋袴同柿染古
 単物を着し黒紬

帯ヲいたし

右之通者於有之者
其所へ留置御料者御
代官、私領者領主地頭
申出、夫より於江戸松平
兵庫頭方^江可申出候
若及見聞候ハゞ其段茂可
申出候。尤家来又もの
等を入念可遂吟味候
若隱置脇より相知候ハゞ
可為曲事者也
寅七月

右之趣從
公儀被仰出候間、其旨
可相心得候。尤寺社^江
茂可申通候以上
寅七月三日

地方御役所印

田方郡組合
村下致印形早、順達留り
村より返却可致候事

此度琉球人參府ニ付
 道中筋宿々人馬繼
 立方儀宿々御定人馬
 之内を以自領往來
 繼立無差支様御手當
 いたし置琉球人ニ被下候
 御證文人馬并松平
 薩摩守家來雇立
 之分共ニ宿々人馬并定
 助鄉村々人馬を以可成丈
 致出精外ニ人馬不雇
 相勤候様可致候、若無
 抛不足之分者宿役
 人共差働最寄之村
 々より雇立可申尤前後
 申合候而合宿ニ而繼通
 □に致候とも可為勝手
 次第候且渡船川越
 等之場所も是又無滯

此度琉球人參府ニ付
 道中筋宿々人馬繼
 立方儀宿々御定人馬
 之内を以自領往來
 繼立無差支様御手當
 いたし置琉球人ニ被下候
 御證文人馬并松平
 薩摩守家來雇立
 之分共ニ宿々人馬并定
 助鄉村々人馬を以可成丈
 致出精外ニ人馬不雇
 相勤候様可致候、若無
 抛不足之分者宿役
 人共差働最寄之村
 々より雇立可申尤前後
 申合候而合宿ニ而繼通
 □に致候とも可為勝手
 次第候且渡船川越
 等之場所も是又無滯

様可取斗候登下共ニ
 繼立候人馬賄宿方何
 程助郷何程不足ニ而雇
 候分者員數并雇賃
 錢共其節早々宿助郷
 村役人連印書附を以
 左近御役所江宿繼ヲ以
 差出可申渡渡船川越
 茂同様可相心得者也

寅八月十一日
 左近下
 美濃印
 井上

東海道品川より
 池鯉鮒迄并
 美濃路大垣より
 荒井夫より守山迄
 但渡船川越場所共ニ
 右宿々
 并助郷村々

右宿々
 并助郷村々

問屋

年寄

追テ琉球人參府之儀

定テ先觸可差越右

方より先觸可差越右

之趣以相心得可申候尤

此先觸刻限請書相添

留リより宿送リを以左近御

役所^ニか相返候以上

以廻章得貴意候、弥々

皆々様方御安泰ニ而御

勤役被遊由珍重不過之

奉存候、然バ当十五日道中

御奉行様より琉球人參

府ニ付御觸御證文出来

仕候ニ付問屋中より助郷

惣代罷出御證文拜見

追テ琉球人參府之儀

及願御沙汰有之
 惣代之者罷出拜見仕候
 依先年参府之節御
 觸書ハ違加助郷之儀茂
 一通リニ而者被下間敷様
 被存候間宿役人中よりも
 惣代者一兩人相添道中
 御奉行様ニ御願申渡
 掛合有之候間段々此度
 御觸書之趣相請仕候處
 何連助郷ニ而一兩人出府
 仕候様被申候候間惣代之内
 兩人参り候積取究申候
 組合寄合可仕と奉存候得共
 雜用等之義も相掛リ候間
 我等兩人ニ而取斗御觸
 書相廻し候間御披見
 被下村々置取請と御勘
 弁可被下候、先ハ右之段

申上度早々如此御座候以上

御座候以上

組代

要右衛門

此廻状留リ村より三嶋宿長谷會所江御返し可被下候以上

申上度早々如此御座候以上
八月十八日
組代
宗右衛門
要右衛門
此廻状留リ村より三嶋宿長谷會所江御返し可被下候以上

近年米價下直ニ付

世上一同難儀之趣相聞候

右躰米穀沢山之時

節ニ付諸国酒造人共ハ

不及申休様共者其外

是迄渡世ニ不仕者ニ而

も勝手次第酒造渡

世可致候、勿論酒造

高是迄之定高ニ不拘
仕入相談可申候
右之通御料私領

寺社領共々不洩様可
相觸者也

九月

右之趣可被相觸候

右之趣縦

公儀被仰出候間其向

可相心得候 尤寺社江茂

可申通候、以上

寅

九月廿八日地方御役所

廿九日出立

一 差替役老人 坂部領組

君沢郡米納 山本為右衛門

一同 坂部領組

田方郡米納 前田和平次

一同 坂部領組

富士郡米納 高橋郡八

寅十月廿八日地方御役所印

琉球人御出立

三嶋宿人馬繼立方

之儀ニ付申渡候儀有

之候間此廻状披見

次第江川太郎左衛門

葦山御役所江早々

可罷出候、此廻状村

名下名主合受印

早々順達縦留リ

可相返候。以上

御役所判

寅十二月四日葦山

多呂 北沢 上沢 平井

大竹 桑原 大土肥 柏谷

畑毛 南奈古谷 原木 四ヶ町

寺家 中嶋 中條 南條

宗光寺 守木
右村々 名主
組頭

十二月十七日
 石橋久右衛門様より大仁村
 配府 老通
 三嶋之者
 仁右衛門
 差状参不申候
 箱根より

十二月十七日

一 石橋久右衛門様より大仁村

配府 老通

三嶋之者

仁右衛門

差状参不申候

箱根より

寛延四年

桑原村前々荒地書上帳

未三月

寛延四年

桑原村前々荒地書上帳

未三月

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely representing field measurements or land records. The text is arranged in several columns, with some characters appearing to be in a specific script or dialect.

一 下ノ田

一、下田 五畝歩

弥右衛門

二

北田

一、中田 五畝拾歩

内式畝廿八歩 六右衛門 宗源寺 前々引

三

北田

一、中田 三反六畝廿六歩

内五畝十歩 利兵衛 土砂入引

四

下之田

一、下田 貳反壹畝八歩

内九畝廿歩 七右衛門 前々川欠引

五

前田

一、上田 四反三畝拾貳歩

内壹反貳畝廿八歩 六右衛門 前々川欠引

六

前田

一、上田 壹反壹畝拾壹歩

内壹畝十貳歩 六右衛門 前々引

Handwritten notes in cursive Japanese (kuzushiji) arranged in four columns. The notes include various characters and symbols, some with small numbers above them (e.g., 一七, 一四, 一三, 一五).

十七	十五	十四	十三	十二	七
下之田	下之田	同所	中川原	かきうと	石田
一、上田	一、上田	一、中田	一、下田	一、上田	一、上田
内廿歩	内三畝拾歩	内四畝歩	内式畝十三歩	内三畝廿歩	内壹畝歩
山崩引	前々引	前々引	前々引	前々引	前々引
弥惣右衛門	弥兵衛	安左衛門	弥右衛門	弥右衛門	六右衛門
壹反七畝歩	七畝拾歩	六畝三歩	四畝拾式歩	八畝壹歩	壹反六畝拾四歩

十九
三反田
一、中田 老反六畝五步 弥惣右衛門
内老畝步 前々引

廿四
一、下田 老反式畝步 同人
内老畝老步

廿五
高畔
一、上田 老反老畝廿式步 定右衛門
内老畝十八步 前々引

廿六
堀込
一、下田 三畝廿八步 忠右衛門
内拾七步 山崩引
九步 溝代
少以廿六步

廿七
六反田
一、上田 三反五畝廿四步 伝左衛門
内廿五步 丑ノ暮引

廿八
さら山
一、上田 式畝拾八步 弥兵衛
内老畝廿八步 前々川欠引

十九
三反田
一、中田 老反六畝五步 弥惣右衛門
内老畝步 前々引

廿四
一、下田 老反式畝步 同人
内老畝老步

廿五
高畔
一、上田 老反老畝廿式步 定右衛門
内老畝十八步 前々引

九
 一、上田 壹反步
 内廿五步
 前々引
 六右衛門
 十
 一、上田 貳反貳畝步
 内貳拾步
 前々引
 弥兵衛
 十一
 家下
 一、上田 貳反六畝十步
 内壹畝拾五步
 前々引
 吉右衛門
 十八
 一、上田 壹反壹畝十八步
 内壹畝拾八步
 前々引
 次郎左衛門
 廿一
 道大尻
 一、上田 九畝九步
 内十五步
 道代引
 市右衛門
 廿二
 立石
 一、上田 壹反步
 内拾五步
 道代引
 弥兵衛

上冷川
 一、下田 壹反三畝廿式步 弥右衛門
 内五畝步 前々引
 廿三
 同所
 一、中田 七畝步 同人
 内四畝步 前々引
 廿四
 一、中田 貳畝步 六右衛門
 前々引
 廿五
 一、下田 三反步 六右衛門
 内貳畝步 前々引
 九
 三反田
 一、中田 壹反貳畝廿四步 宗源寺
 内貳拾步 前々引
 廿九
 かきうと
 一、上田 壹反三畝拾步 権左衛門
 内壹畝步 前々引
 廿八
 休石
 一、上田 四畝廿式步 弥右衛門
 内廿步 前々引

十六

下之田

一、上田 壹反壹畝廿三步 弥兵衛

十六
下之田
一、上田 壹反壹畝廿三步 弥兵衛
内式拾歩 前々引

廿一

森下

一、上田 四畝拾三步 六右衛門

廿

原田

一、上田 壹反壹畝拾壹歩 六右衛門

廿三

立石

一、上田 貳反歩 三右衛門

一、中田 三畝拾歩 御藏屋敷

廿六

上田合、三反七畝廿六歩

廿八

中田合 貳反三畝八歩

下田合 貳反貳畝拾七歩

廿七

下田合 貳反貳畝拾七歩

都合八反三畝式拾壹歩
 右之通り前々荒地相改
 申候所相違無御座候以上
 寛延四年
 未ノ三月
 桑原村
 名主
 組頭
 同
 百姓代
 六右衛門
 権左衛門
 吉右衛門
 御役所

都合 八反三畝式拾壹歩

右之通り前々荒地相改

申候所相違無御座候以上

寛延四年

未ノ三月

桑原村

名主

弥兵衛

組頭

吉右衛門

同

権左衛門

百姓代

六右衛門

御役所

宝曆十三年

桑原村御高帳

癸未二月吉日

宝曆十三年

桑原村御高帳

癸未

二月吉日

本高辻

高式百八拾八石九斗

卷升九合

高老石七斗九升九合

辰新畑高

合高式百九拾石七斗

卷升八合

内高六斗 御蔵屋敷分

残而高式百九拾石老斗卷升

八合

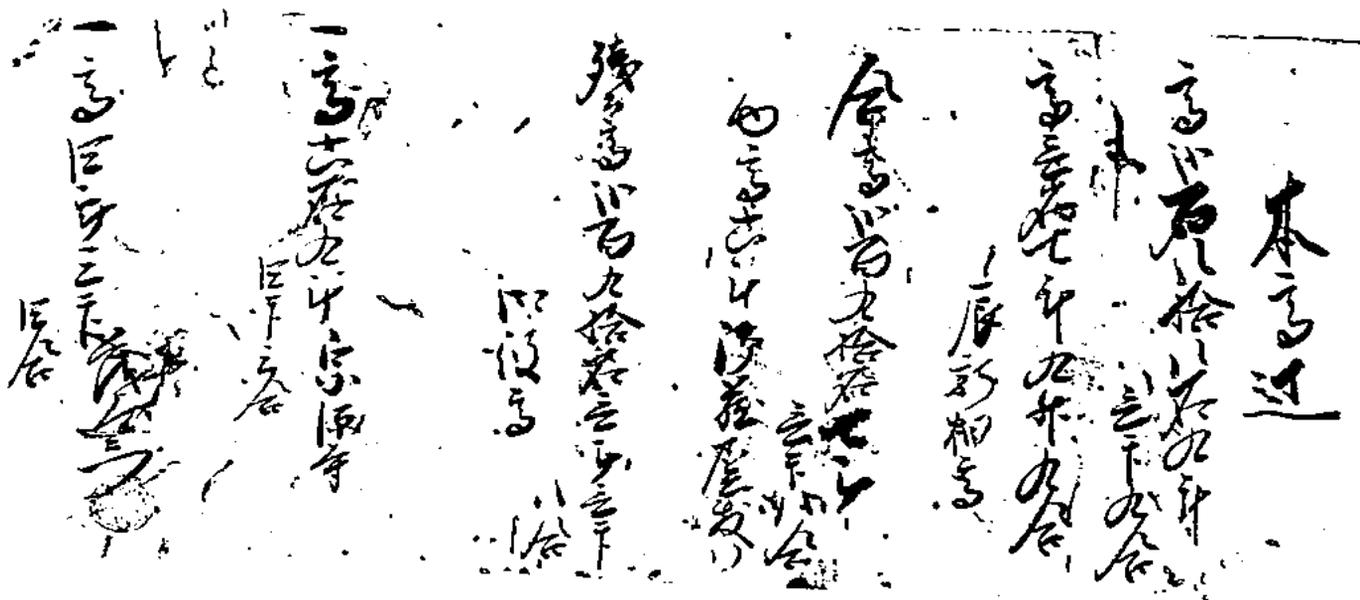
御役高

一、高六石九斗 宗源寺

四升三合

一、高四斗三升 茂左衛門

四合



一、高七斗七升 仲右衛門

一、高五斗七升 九合 五郎右衛門

一、高拾壹石四斗 七右衛門

一、同四斗貳升 兵左衛門

一、高壹石壹斗 三升貳合 吉郎兵衛

一、高壹石六斗 茂兵衛

一、高七斗七升 仲右衛門

三合

一、高五斗七升 五郎右衛門

九合

一、高拾壹石四斗 七右衛門

三升五合

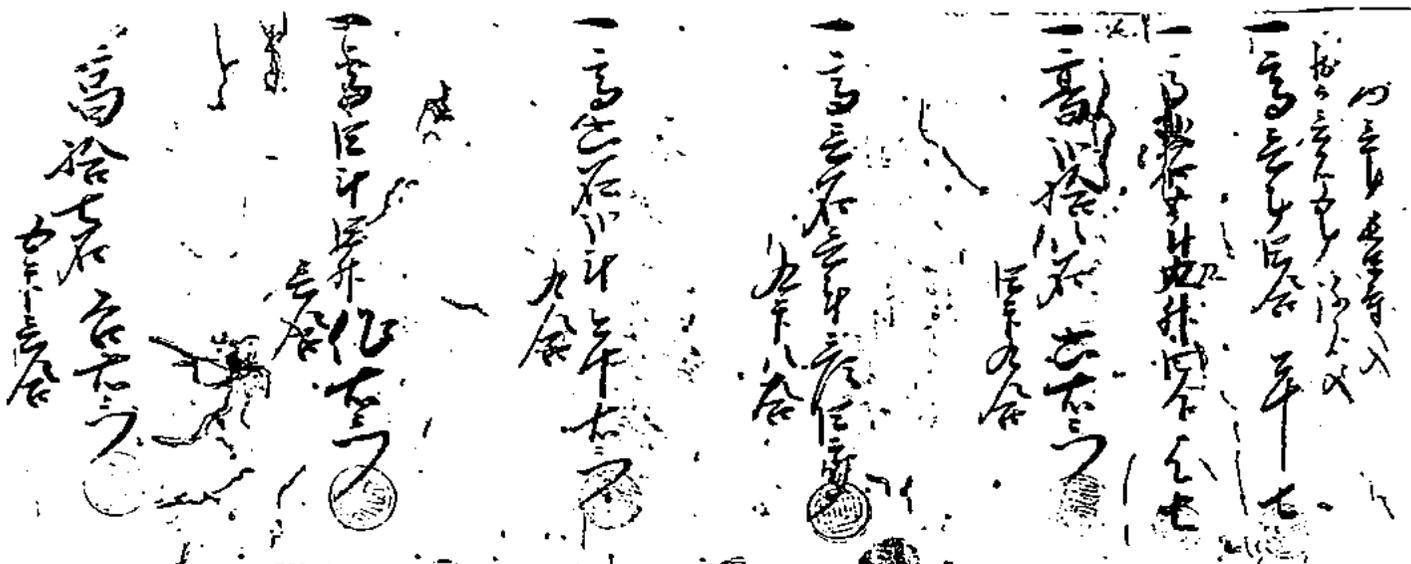
一、同四斗貳升 兵左衛門

一、高壹斗 甚兵衛

一、高壹石壹斗 吉郎兵衛

三升貳合

一、高壹石六斗 茂兵衛



内老斗 長源寺へ入

残而老石五斗 弥右衛門二入

一、高老斗四合 平 七^印

一、高式石五斗九升四合 与七^印

一、高 式拾八石 六右衛門^印

四升九合

一、高老石老斗 彦四郎^印

九升八合

一、高六石式斗 平右衛門^印

九合

一、同四斗四升 作右衛門^印

老合

高拾七石 吉右衛門^印

五升老合

高源寺

一、高七石五斗

九升八合

高源寺

一、高七石五斗

九升八合

一、高式斗

一、高式斗

市右衛門母 印

一、高式斗三升

一、高式斗三升

太郎右衛門 印

三合

三合

一、高拾八石式斗

一、高拾八石式斗

定右衛門 印

四升七合

四升七合

一、高壹石七斗

一、高壹石七斗

嘉右衛門 印

七合

七合

一、高式石八斗

一、高式石八斗

藤 助 印

九升四合

九升四合

一、高壹斗九升 六兵衛㊦

三合

一、高壹石壹斗 忠兵衛㊦

七升九合

一、高貳石六斗 長源寺

七升

一、〃壹斗 茂兵衛分入
少以〃貳石七斗七升

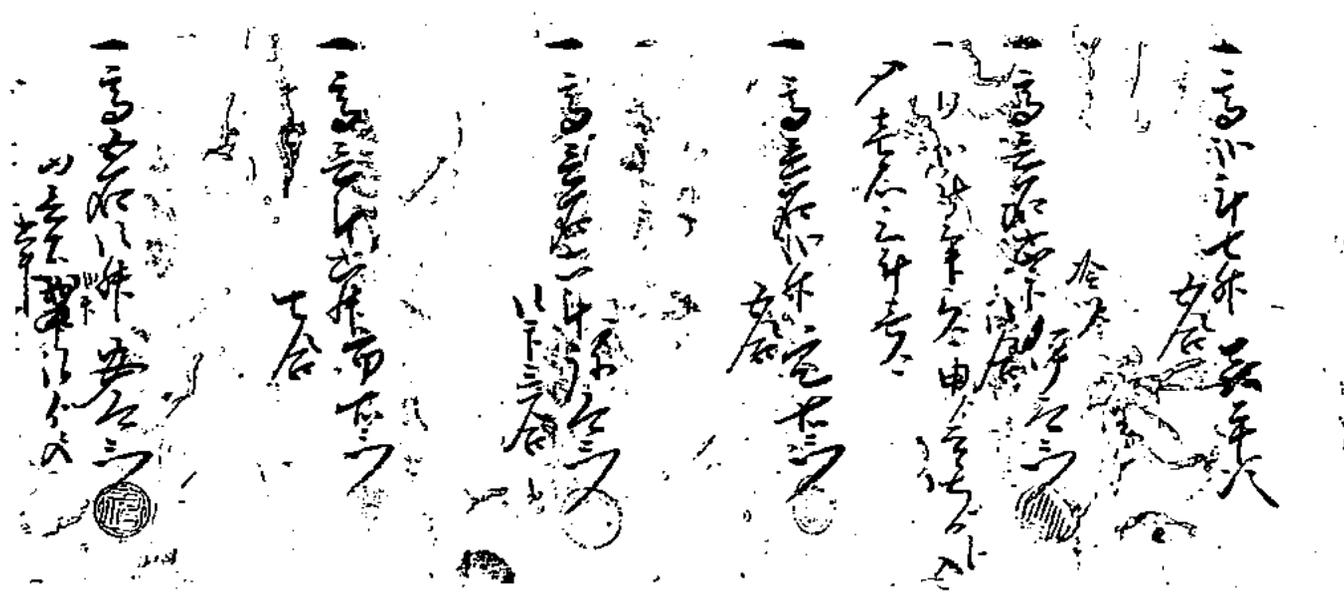
一、高五升 久左衛門㊦

上田

一、高六升七合 伊左衛門㊦

一、高四斗九升 源 七

五合



一、高式斗七升 喜平次

五合

冷川

一、高老石六升 伊左衛門 ㊟

八合

一、同式斗三升三合 由右衛門太郎右衛門分入

内老石三斗老合

一、高老石式升 元右衛門 ㊟

五合

一、高老石六斗 弥左衛門 ㊟

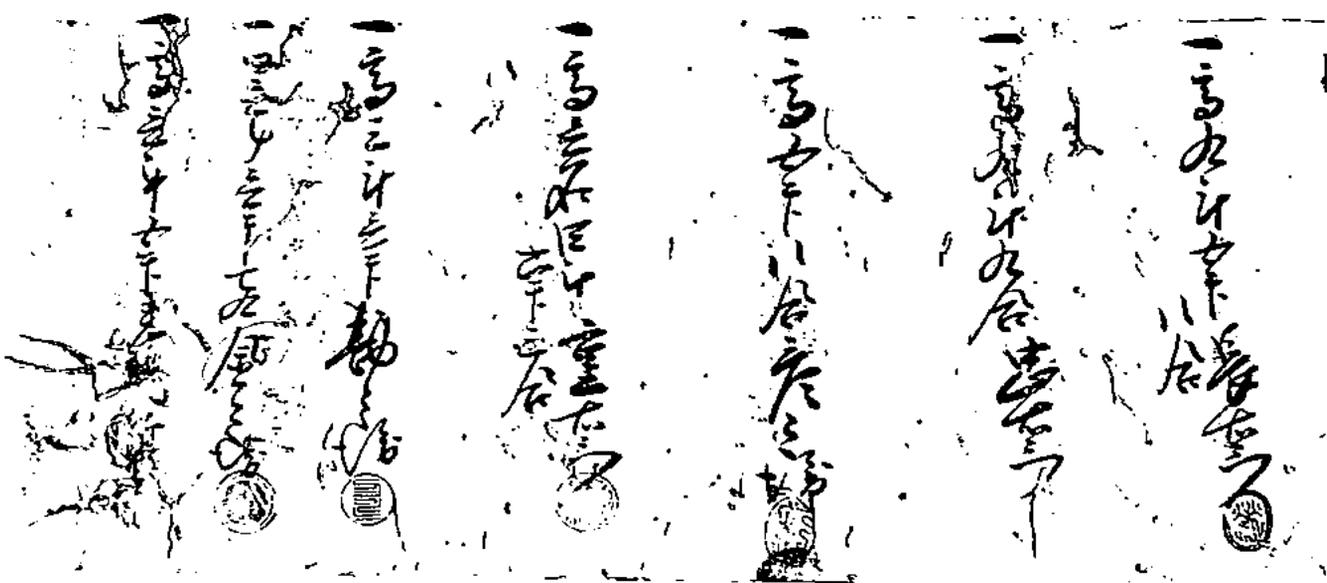
八升老合

一、高老斗六升 市右衛門 ㊟

七合

一、高五石八升 安左衛門 ㊟

内老石式升弥右衛門二入



一、高九斗五升 長右衛門 印

八合

一、高九斗九合 忠右衛門 印

一、高五升八合 彦兵衛 印

一、高壹石四斗 重右衛門 印

六升三合

一、高三斗壹升 勘兵衛 印

一、高壹斗壹升七合 金兵衛 印

一、高壹斗五升 忠兵衛 印

一、高四石四合

一、高四石四合 九右衛門[㊦]

一、高式斗九升 彦右衛門[㊦]

七合

一、高老斗式升

一、高老斗式升 市兵衛[㊦]

三合

一、高老斗式升

一、高老斗式升 与左衛門[㊦]

七合

一、高四拾四石

一、高四拾四石 弥右衛門[㊦]

五斗式升七合

一、同老石□□□安左衛門分入

式升

拾五石五斗三升式合

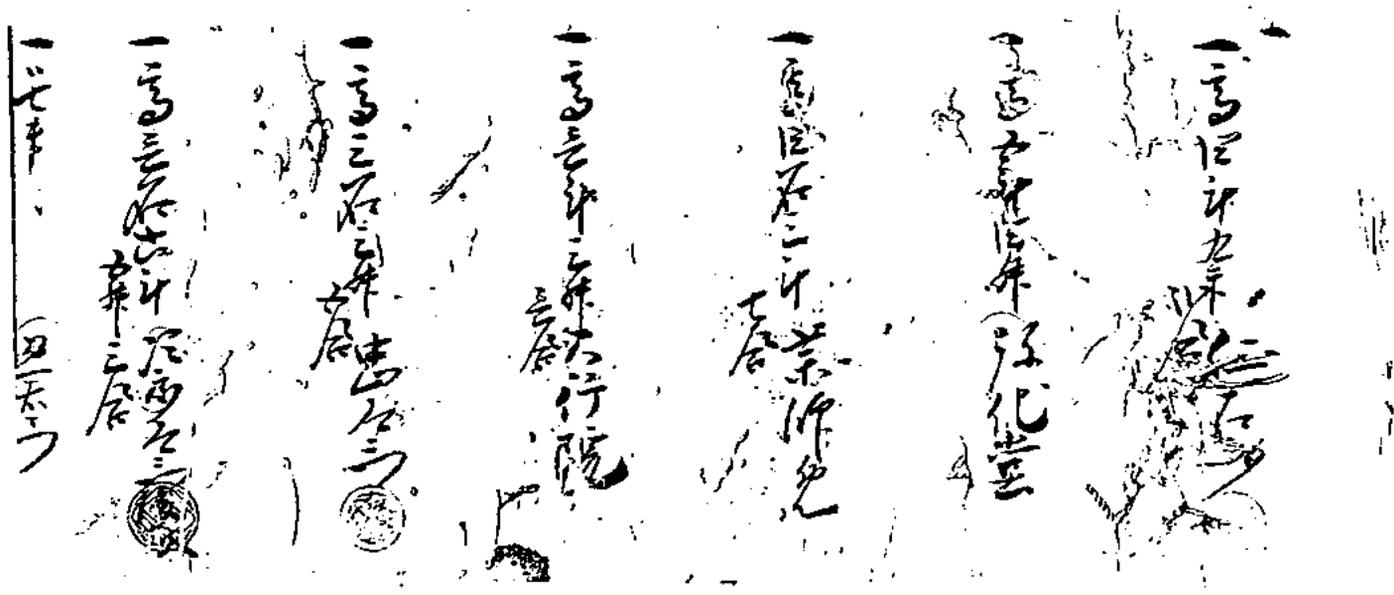
一、高老石五斗

一、高老石五斗 市右衛門分入

九升

一、高老石五斗

一、高三石三斗
 八合
 弥三右衛門
 一、高五拾七石壹斗壹升
 八合
 弥兵衛
 一、高式石三斗六升
 老合
 利兵衛
 一、高七石五斗七升□合
 左衛門分入
 一、高八斗壹升老合 申暮□
 一、四斗式升八合 申暮より
 弥右衛門入
 少以老石式斗三升
 九合
 合四拾九石八斗七升六合
 一、高五升
 清七



一、高四斗九升
 仁右衛門[㊦]
 貳合

一、高五斗四升
 弥陀堂

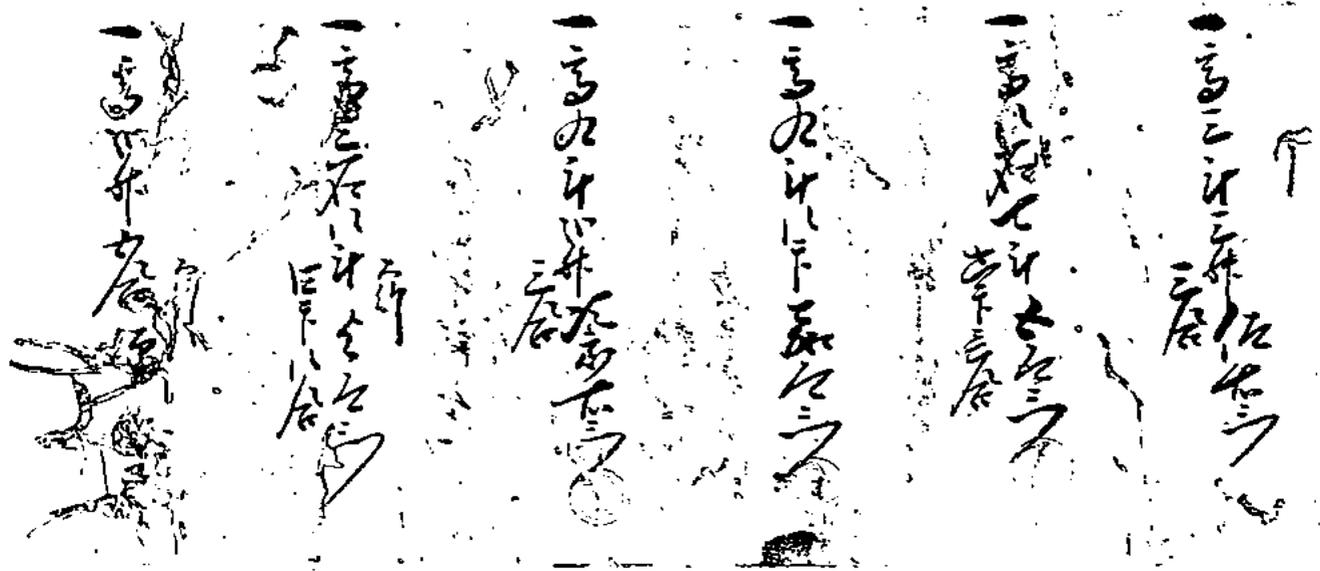
一、高四石三斗
 薬師免
 七合

一、高壹斗三升
 大行院
 壹合

一、高三石三升
 忠左衛門[㊦]
 五合

一、高壹石六斗
 次郎左衛門後家[㊦]
 五升三合

一、〃七斗
 惣右衛門



一、高三斗三升 左右衛門

三合

一、高八石七斗 五左衛門 ㊦

六升壹合

一、高九斗八升 嘉左衛門 ㊦

一、高九斗貳升 次郎右衛門 ㊦

三合

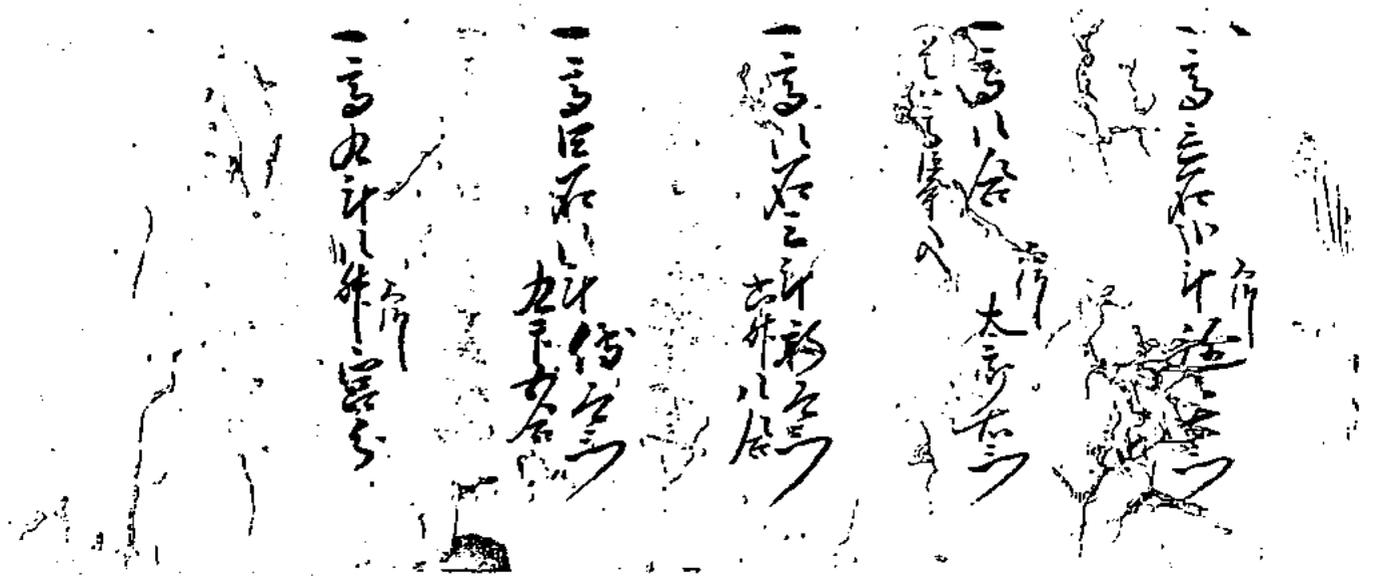
一、高三石八升 大竹

与左衛門

四升八合

一、高貳升五合 大竹

源七



一、高老石式斗

大竹

弥次右衛門

一、高八合

大竹

太郎右衛門

是八高源寺へ入

一、高八石三斗

六升八合

新左衛門

一、高四石八斗

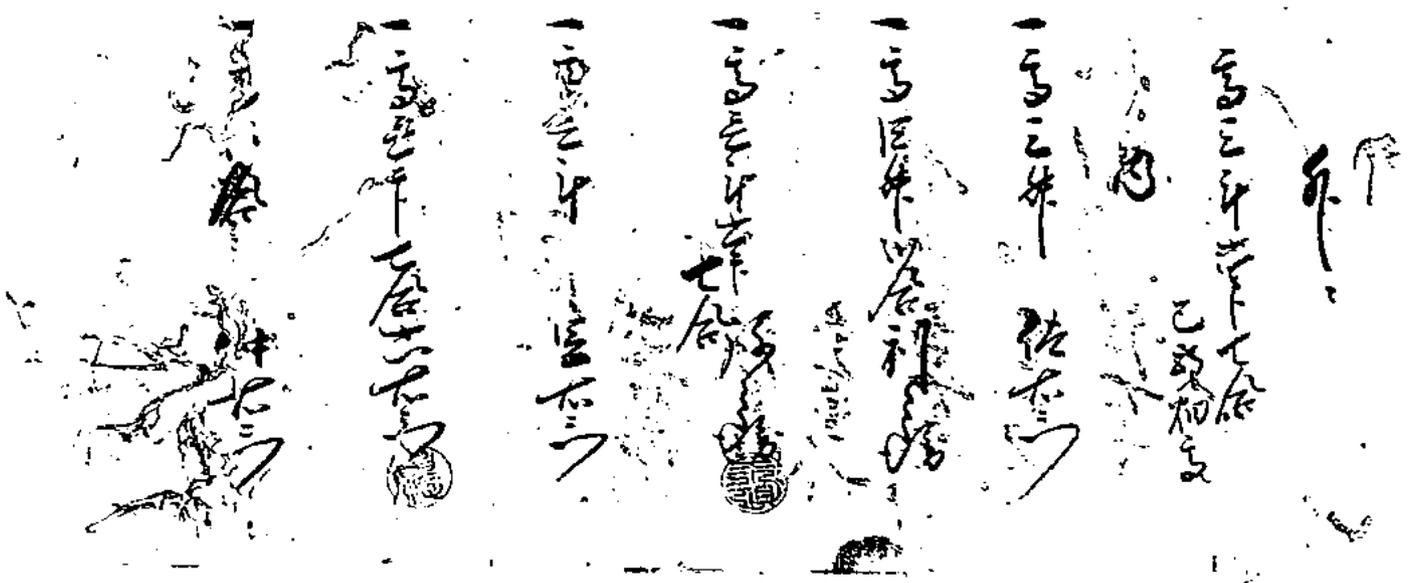
九升五合

傳左衛門

一、高九斗八升

大竹

宮分



外に
高三斗六升七合

巳新畑高

内

一、高三升

左右衛門

一、高四升貳合

利兵衛

一、高壹斗六升

弥兵衛[㊦]

七合

一、高壹斗

定右衛門

一、高壹升七合

六右衛門[㊦]

一、高八合

仲右衛門

右之通高帳相改
歩金相違無御座口

宝曆十三年

癸未

二月

百姓代
六右衛門

同
弥兵衛

同
五左衛門

組頭
吉右衛門

同
七右衛門

名主代
弥右衛門

右之通高帳相改

歩金相違無御座口

宝曆十三年

癸未

二月

百姓代

六右衛門

同

弥兵衛

同

五左衛門

組頭

吉右衛門

同

七右衛門

名主代

弥右衛門

大竹分持高

一、高老斗三升

一、高拾三石

一、高拾貳石四斗

一、高老斗四升

一、高老石九斗

高合貳拾八石三斗貳合

大竹分持高

一、高老斗三升 弥三右衛門

一、高拾三石 弥右衛門

老斗貳升貳合

一、高拾貳石四斗 弥兵衛

九升九合

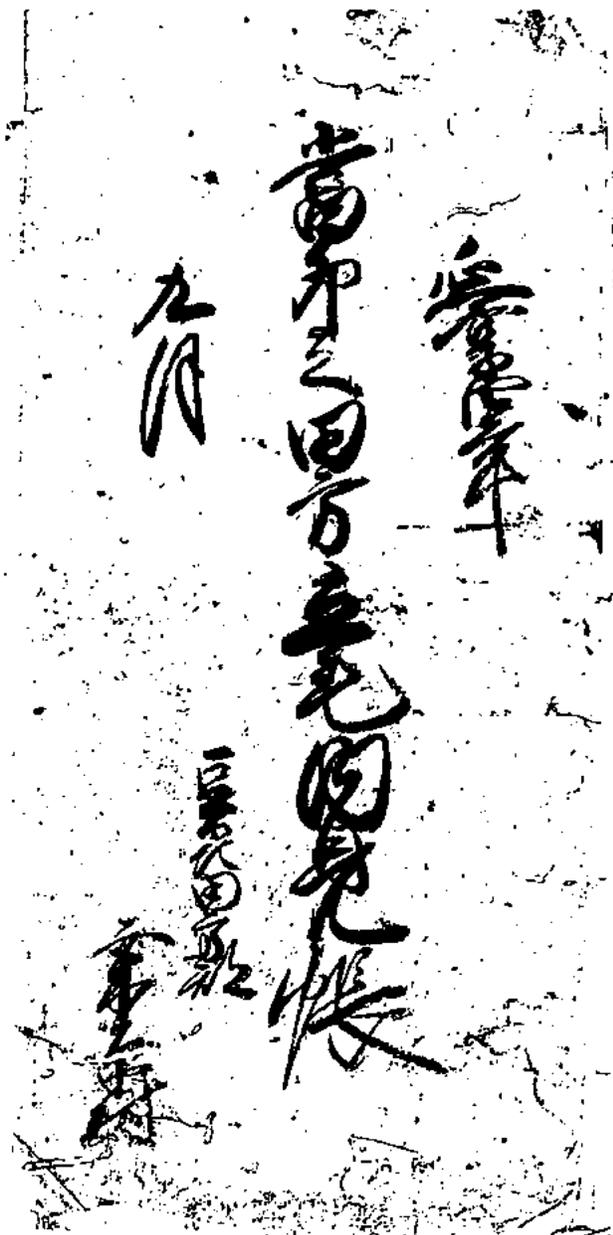
一、高老斗四升 九右衛門

四合

一、高老石九斗 又四郎

五升四合

高合貳拾八石三斗貳合



延享四年

當卯之田方立毛内見帳

九月

豆州田方郡
桑原村

一田方拾八町九畝四步
 内
 八反七畝貳拾壹步 無石地
 六反三畝拾九步 前々引
 三畝拾步 御藏敷引
 貳反貳拾步 去丑より引
 殘拾八町貳畝拾三步
 四畝六步 見取
 貳反五畝貳拾步 七合二毛
 此初五石四斗四合
 七反五畝九步 六合二毛
 此初拾三石五斗五升四合
 五町八反七畝拾三步 五合二毛
 此初八拾八石壹斗壹升五合

六町九反二畝步
 此初八拾三石四升
 三町三反五畝廿卷步
 此初三拾石二斗卷升三合
 五反九畝廿六步
 此初三石五斗九升貳合
 貳反貳畝六步
 此初六斗六升六合
 初合貳百貳拾四石五斗八升四合

六町九反二畝步 四合二毛

此初八拾三石四升

三町三反五畝廿卷步 三合二毛

此初三拾石二斗卷升三合

五反九畝廿六步 貳合二毛

此初三石五斗九升貳合

貳反貳畝六步 卷合二毛

此初六斗六升六合

初合貳百貳拾四石五斗八升四合

矢崎
 一 中田三反式畝歩
 二 水汲と
 一 上田八畝廿六歩
 三 同所
 一 上田八畝式拾四歩
 四 六反田
 一 中田式反七畝式拾九歩
 五 同所
 一 上田五畝式拾六歩
 六 同所
 一 中田式反歩
 七 同所
 一 上田三反五畝廿四歩
 内式拾壹歩 前々溝代引

老番
 矢崎
 一 中田三反式畝歩 五合 与左衛門
 二 水汲と
 一 上田八畝廿六歩 六合 傳左衛門
 三 同所
 一 上田八畝式拾四歩 五合 高源寺
 四 六反田
 一 中田式反七畝式拾九歩 四合 由右衛門
 五 同所
 一 上田五畝式拾六歩 五合 藤左衛門
 六 同所
 一 中田式反歩 四合 同人
 七 同所
 一 上田三反五畝廿四歩 由右衛門
 内式拾壹歩 前々溝代引

Handwritten notes in various columns, including names like 高畔, 中田, and 堀込, and numerical values such as 三合, 四合, and 五合.

残三反五畝三步

四合

八 堀込

一下田八畝廿拾式步

忠左衛門

内拾七步 前々欠崩

九 残八畝五步 式合

同所

一中田七畝六步

壹合

次左衛門

十 同所

一上田七畝步

三合

傳左衛門

十一 高畔

一中田老反式畝步

吉右衛門

十二 同所

一下田老反老畝六步

同人

十三 同所

一上田老反老畝式拾式步

定右衛門

内拾五步 前々道代引

老畝八步丑より堰堀替引

残テ九畝式拾九步

五合

同所

同所

同所

同所

同所

同所

同所

同所

Handwritten notes in cursive script (kuzushiji) at the top of the page, including names and numerical values.

十四

同所

一上田老反老畝廿拾式步 同人

四合

十五

手替り

一中田老反九畝步 与四兵衛

内式拾步 丑より引

残老反八畝拾步

五合

十六

火ノ口

一中田老反三畝廿式步 藤左衛門

四合

十七

同所

一下田拾步 同人

三合

十八

三反田

一中田九畝式拾三步 弥惣右衛門

内老畝五步 前々堀崩引

残八畝拾八步

式合

御改七合式夕

十九

同所

一中田老反六畝式步 弥兵衛

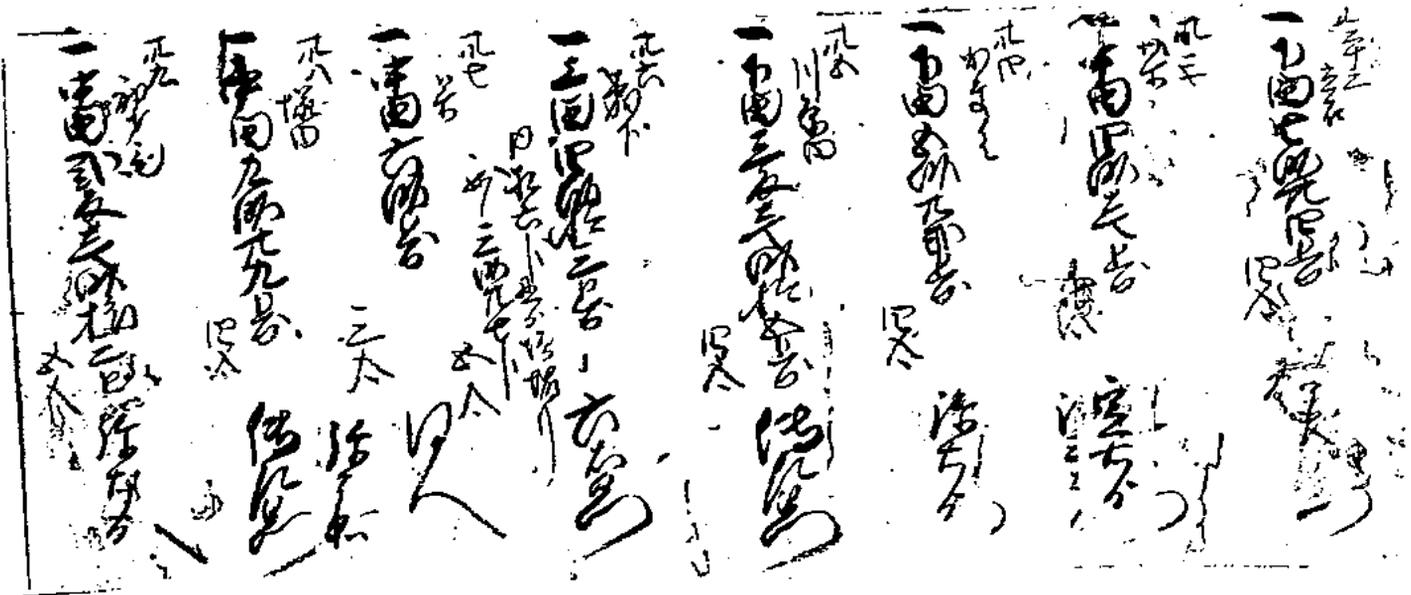
三合

Handwritten notes in various directions, including:

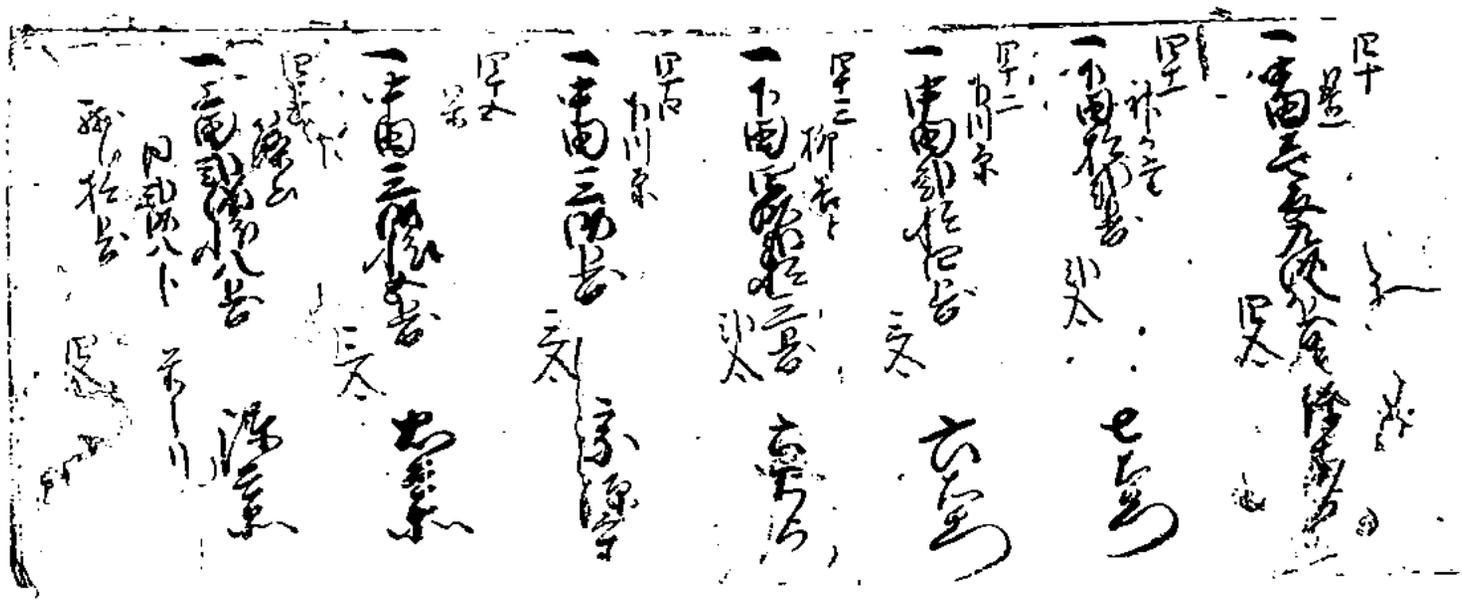
- 一 中田 五畝 拾歩

廿五	同所	一 中田 五畝 拾歩	残七步	廿四	川原田	一 中田 五畝 拾歩	廿三	川原田	一 中田 五畝 拾歩	廿二	北田	一 中田 五畝 拾歩	廿一	北田	一 中田 五畝 拾歩	廿	三反田	一 中田 五畝 拾歩
四合	四合	四合	三合	三合	三合	四合	四合	四合	四合	四合	四合	四合	四合	四合	四合	四合	廿四	廿四
吉右衛門	吉右衛門	吉右衛門	前々引	前々引	前々引	前々引	前々引	前々引	前々引	前々引	前々引	前々引	前々引	前々引	前々引	前々引	宗源寺	宗源寺

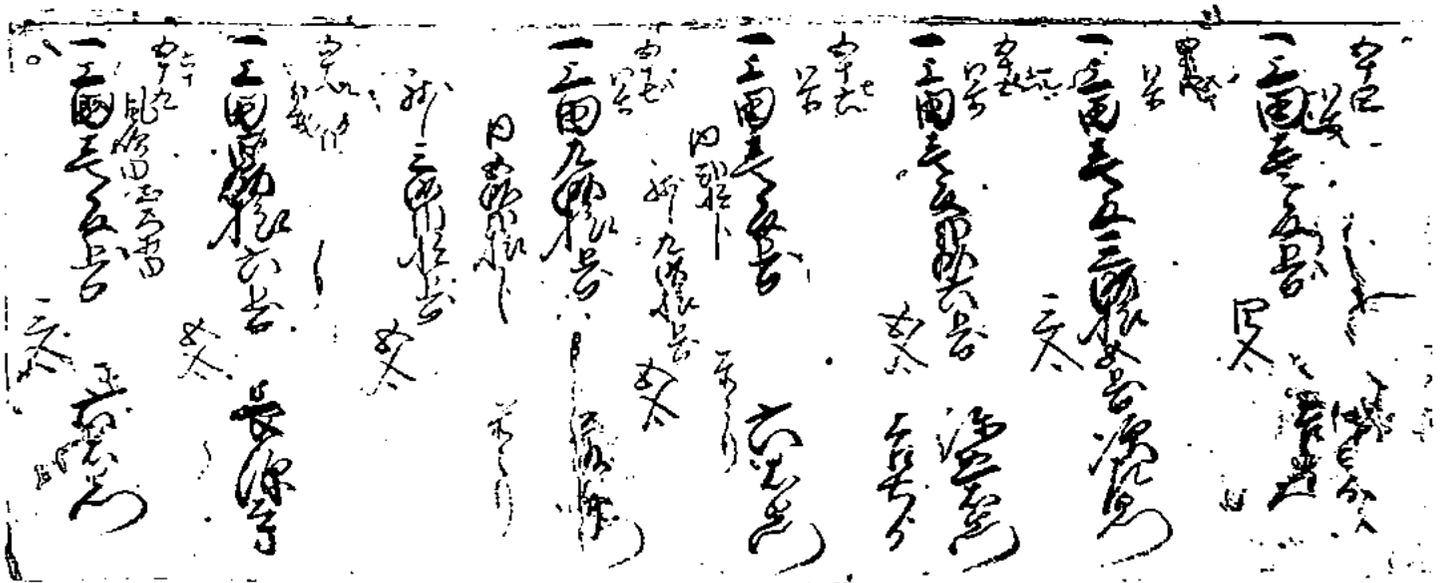
廿六 貫井 利兵衛
 一 中田八畝拾老歩 源右衛門
 内式拾歩 前々引
 残七畝廿老歩 四合
 廿七 小谷と 弥右衛門
 一下田六畝武歩 弥兵衛
 四合
 廿八 道堀戸 市右衛門
 一 上田九畝九歩 前々永引
 内拾歩 五合
 残八畝廿九歩 同人
 廿九 同所
 一 中田式畝拾武歩 四合
 四合 □□
 三十 立石 弥兵衛
 一 上田老反歩 五合
 三十一 同所 同人
 一 上田式反歩 前々道代永引
 内拾五歩 五合
 残老反九畝拾五歩



三十二	立岩	同所	同所
三十一	一下田七畝廿四步	同所	同所
三十	廿三	同所	同所
廿九	一下田四畝壹步	同所	同所
廿八	廿四	同所	同所
廿七	かまば	同所	同所
廿六	一下田五畝廿式步	同所	同所
廿五	廿五	同所	同所
廿四	川原田	同所	同所
廿三	一下田三反壹畝拾五步	同所	同所
廿二	廿六	同所	同所
廿一	森下	同所	同所
二十	一上田四畝拾三步	同所	同所
十九	内拾六步	同所	同所
十八	残三畝廿七步	同所	同所
十七	廿七	同所	同所
十六	同所	同所	同所
十五	一中田六畝步	同所	同所
十四	廿八	同所	同所
十三	塚田	同所	同所
十二	一中田九畝廿九步	同所	同所
十一	廿九	同所	同所
十	初才毛	同所	同所
九	一中田式反壹畝拾三步	同所	同所
八	五合	同所	同所
七	弥右衛門	同所	同所
六	傅左衛門	同所	同所
五	同所	同所	同所
四	同所	同所	同所
三	同所	同所	同所
二	同所	同所	同所
一	同所	同所	同所



- | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------------|------------|----------|------------|-----------|------------|-------------|------------|----------|-----------|------------|-----------|------------|------|
| 四十
同所 | 一 中田 老反九畝八歩 | 四十一
神の堂 | 一 下田 拾貳歩 | 四十二
下川原 | 一 中田 廿拾四歩 | 四十三
柳谷と | 一 下田 四畝貳拾三歩 | 四十四
下川原 | 一 中田 三畝歩 | 四十五
同所 | 一 中田 三畝拾五歩 | 四十六
篠山 | 一 上田 貳畝拾八歩 | 残 拾歩 |
| | 四合 | 四合 | 貳合 | 貳合 | 三合 | 三合 | 貳合 | 貳合 | 三合 | 三合 | 三合 | 四合 | 四合 | 四合 |
| | 弥右衛門 | | 七右衛門 | | 六右衛門 | | 六右衛門 | | 宗源寺 | | 忠兵衛 | | 弥兵衛 | |



五十四
同所
一上田老反歩
四合
傅兵衛へ
吉右衛門

五十四
同所
一上田老反三畝拾五歩
三合
次左衛門

五十五
同所
一上田老反式畝六歩
五合
彌惣右衛門
吉右衛門

五十六
同所
一上田老反歩
五合
六右衛門

五十七
同所
一上田九畝拾歩
藤介

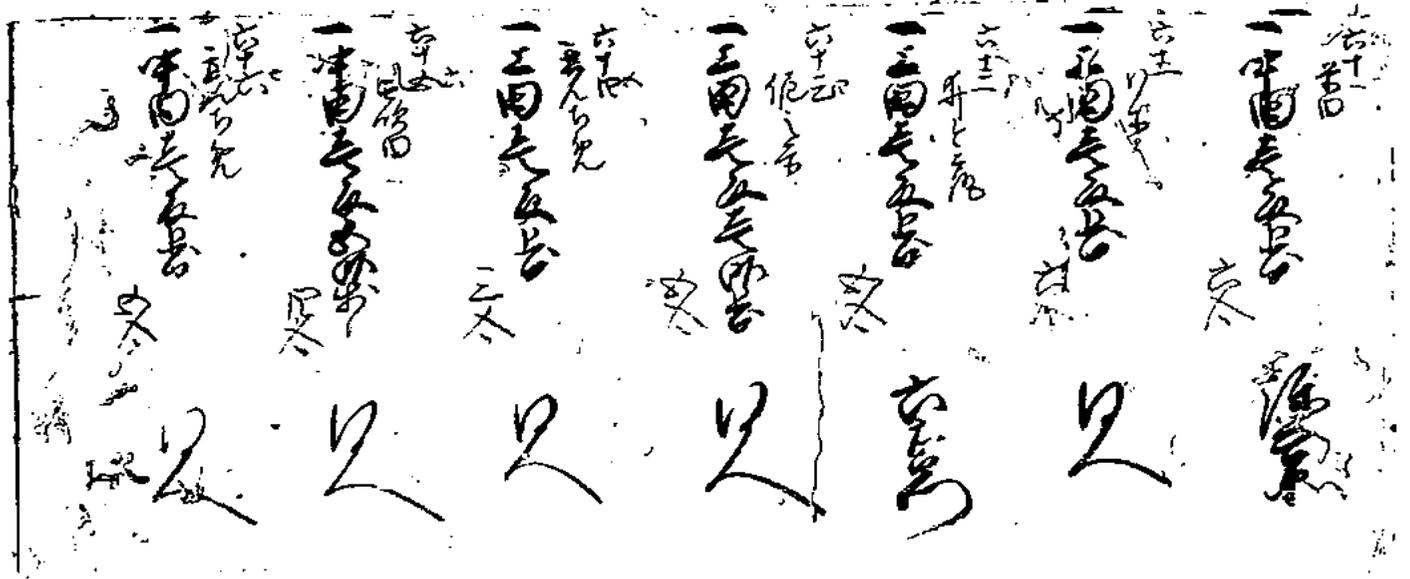
五十八
同所
一上田四畝拾六歩
長源寺

五十九
風吹田 志ろ打田
三合
六右衛門

六十
一上田老反歩
三合
六右衛門

六十一
一上田老反歩
三合
六右衛門

六十二
一上田老反歩
三合
六右衛門



六十一	前田	一 中田 老 反 歩	六合	弥兵衛
六十二	同所	一 上田 老 反 歩	六合	同人
六十三	井と尻	一 上田 老 反 歩	六合	同人
六十四	□ 之 前	一 上田 老 反 老 畝 歩	五合	六右衛門
六十五	□ ん ち 免	一 上田 老 反 歩	三合	同人
六十六	□ ん ち 免	一 中田 老 反 五 畝 歩	四合	同人
		一 中田 老 反 歩	五合	同人

Handwritten notes in cursive script, likely a list of names and titles, including '一上田老反歩' and '御改卷升卷合式夕'.

六十七 八

風吹田

一上田老反五畝歩

四合

同人

九

六十八

藏下

一上田老反歩

内式拾五歩

前々引

長源寺

残九畝五歩

四合

七十

六十九

一中田五畝歩

内三畝拾歩

御藏敷引

御藏屋敷

残老畝式拾歩

七合

七十一

宮地

一上田老反歩

五合

弥兵衛

七十二

同所

一上田老反式畝歩

内式拾歩 前々引

同人

残老反老畝拾歩

三合

御改卷升卷合式夕

Handwritten notes in cursive script, likely a list of names or titles, possibly related to the entries below. Some characters are difficult to decipher due to the style.

七十三

家之下

一上田式反六畝拾歩

内拾五歩 溝代引

吉右衛門

式拾歩 丑より堀崩引

残式反五畝三歩

四 六合

七十三

寺下

一上田式反式畝拾歩

六右衛門

五 五合

七十四

大ノ田

一上田四畝廿歩

藤左衛門

六 三合

七十五

下之田

一下田壹反六歩

定右衛門

七 五合

七十六

同所

一上田拾歩

弥兵衛

八 五合

七十七

同所

一下田式反壹畝八歩

同人

内九畝廿歩 前々引

Handwritten notes in Japanese, including characters like 上田, 下田, and 弥兵衛, with some numbers and symbols.

残老反老畝拾八歩

五合

七十八

同所

一上田老反老畝拾八歩

内老畝貳拾歩 前々引

残八畝貳拾八歩

四合

次左衛門

八十

七十九

同所

一下田五畝歩

五合

藤左衛門

八十一

同所

一上田五畝歩

四合

弥兵衛

八十一

同所

一上田老反老畝歩

内拾五歩 堰堀替引

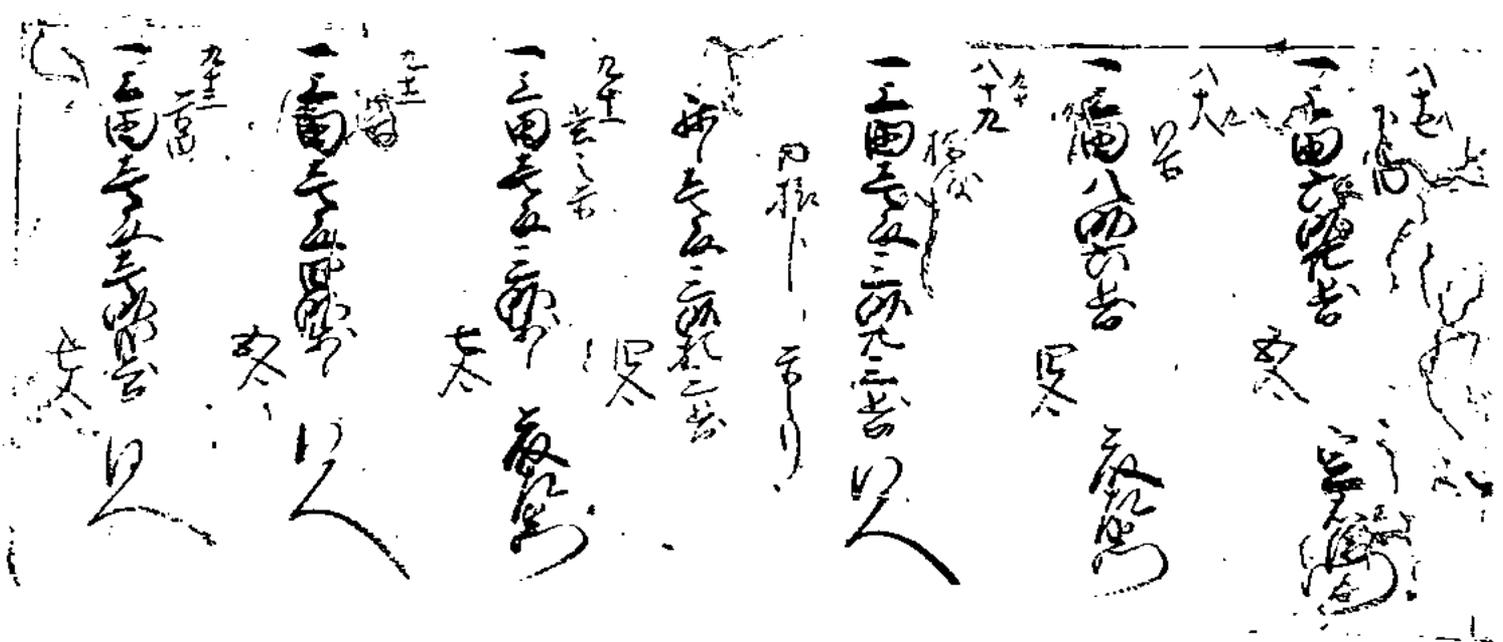
残老反老畝拾五歩

三合

弥惣右衛門

Handwritten notes in cursive script, likely a list of land parcels or survey data. The text is arranged in several vertical columns from right to left. Some characters are circled or underlined, possibly indicating specific points of interest or measurements.

八十二	同所	一上田老反六畝拾六步	權左衛門
		内拾歩	前々引
		残老反六畝六歩	
八十三	同所	一上田老反三畝廿五歩	吉右衛門
		五	五合
八十四	寺田	一上田七畝拾歩	弥兵衛
		内三畝歩	丑より引
		残四畝拾歩	三合
八十五	堰之尻	一上田五畝三歩	同人
		七	三合
八十六	下之田	一上田老反老畝廿老歩	同人
			五合



八十七 八

下之田

一上田六畝廿步

五合

定右衛門

八十八

同所

一上田八畝六步

四合

藤左衛門

九十九

橋渡

一上田老反三畝廿三步

前々引

同人

残老反三畝三步

四合

九十一

堂之前

一上田老反三畝步

七合

藤左衛門

九十二

同所

一上田老反四畝步

五合

同人

九十三

前田

一上田老反老畝貳步

七合

同人

一 田九畝拾五步
 一 田七畝拾七步
 一 田七畝拾七步
 一 田七畝拾七步
 一 田七畝拾七步
 一 田七畝拾七步

九十三 四	前田	一 上田九畝拾五步	四合	藤左衛門
九十四	同所	一 上田七畝反步	六合	同人
九十五	同所	一 上田七畝反步	五合	同人
九十六	同所	一 上田七畝反步	五合	嘉左衛門
九十八	竹之後	一 上田七畝反步	四合	弥兵衛
九十八	安久堀田	一 上田七畝反步	三合	忠左衛門

一 中田九畝八歩
 一 中田七畝七歩
 一 中田九畝八歩
 一 上田弍反三畝歩
 一 下田弍反六歩
 一 下田九畝拾七歩
 一 中田弍拾四歩
 一 中田弍拾四歩

一 中田七畝七歩 内弍拾歩 前々引 忠左衛門	一 中田九畝八歩 水口 同所 四合 同人	一 上田弍反三畝歩 池之中 同所 五合 藤左衛門	一 下田弍反六歩 白山前 同所 四合 弥右衛門	一 下田九畝拾七歩 畑毛田 同所 四合 藤左衛門	一 中田弍拾四歩 同所 三合 同人	一 中田弍拾四歩 同所 三合 同人	九十九 百 同所 三合 同人
---------------------------------	----------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

Handwritten notes in various styles, including cursive and semi-cursive, with some characters circled or underlined. The text appears to be a list or record of items, possibly related to the printed text below.

残六畝拾貳步

四合

藤左衛門

百七
休石
一上田四畝貳拾貳步

四合

百八
地蔵免

一上田九畝貳拾四步

弥兵衛

内四畝拾步 前々引
残五畝拾四步

四合

百九
柿うと

一上田三畝拾五步

定右衛門

四合

百十
同所

一上田老反老畝拾步

弥兵衛

六合

百十一
同所

一上田老反三畝拾步

権左衛門

三合

百十二
 立石
 一上田老反老畝廿六步
 三
 百十二
 柿うと
 一下田老反步
 五合
 吉右衛門
 百十三
 同所
 一下田老反九畝拾五步
 五
 四合
 同人
 百十四
 同所
 一中田式畝式拾四步
 六
 五合
 同人
 百十五
 同所
 一上田式反三步
 七
 四合
 久右衛門
 百十六
 同所
 一上田老反四步
 九
 四合
 藤左衛門
 百十八
 同所
 百十九
 同所
 一下田老反式畝廿四步
 四合
 加右衛門
 一上田六畝廿八步
 五合
 藤左衛門

百十八
 柿うと
 一 下田老反歩
 廿一
 百十九
 同所
 一 下田式反拾老歩
 三合
 百廿二
 く王んおん堂
 一 下田式畝歩
 三合
 百廿一
 同所
 一 中田六畝三歩
 安左衛門
 内四畝歩
 去丑より引
 四
 残式畝三歩
 三合
 百廿二
 同所
 一 中田四畝拾式歩
 藤左衛門
 内式畝五歩
 前々山崩引
 残式畝七歩
 三合
 百廿三
 同所
 一 下田三畝歩
 三合
 同人

百廿四
 一 中田五畝廿七歩
 同所
 百廿五
 一 上田六畝五歩
 同所
 百廿六
 一 中田五畝廿七歩
 同所
 百廿七
 一 中田五畝廿七歩
 同所
 百廿八
 一 中田五畝廿七歩
 同所
 百廿九
 一 上田五畝廿七歩
 同所
 百三十
 一 上田五畝廿七歩
 同所

百廿四 六
 同所
 一 下田三畝廿歩 七
 三合 市右衛門
 百廿五
 あをだ免
 一 上田六畝五歩
 四合 定右衛門
 百廿六 八
 同所
 一 中田五畝廿七歩
 内式拾五歩 前々引
 残四畝貳拾六歩
 四合 定右衛門
 百廿七 九
 同所
 一 中田五畝廿七歩
 同所
 百廿八 卅
 四合 同人
 一 中田五畝廿七歩
 同所
 百廿九 卅一
 三合 宗左衛門
 一 中田五畝廿七歩
 同所
 大かみ
 一 上田五畝廿七歩
 四合 藤左衛門

百廿二 大かみ
 一 中田式反四畝歩
 百廿一
 同所
 一 下田六畝歩
 百三十二
 外堀田
 一 下田六畝八歩
 百廿三
 同所
 一 中田式反式畝拾六歩
 百廿四
 同所
 一 上田式反歩
 百廿五
 丸山
 一 中田式反拾五歩
 百廿六
 祭免
 一 中田式反拾歩
 百廿七
 一 中田式反拾五歩
 百廿八
 一 中田式反拾歩
 百廿九
 一 中田式反拾歩
 百三十
 一 中田式反拾歩

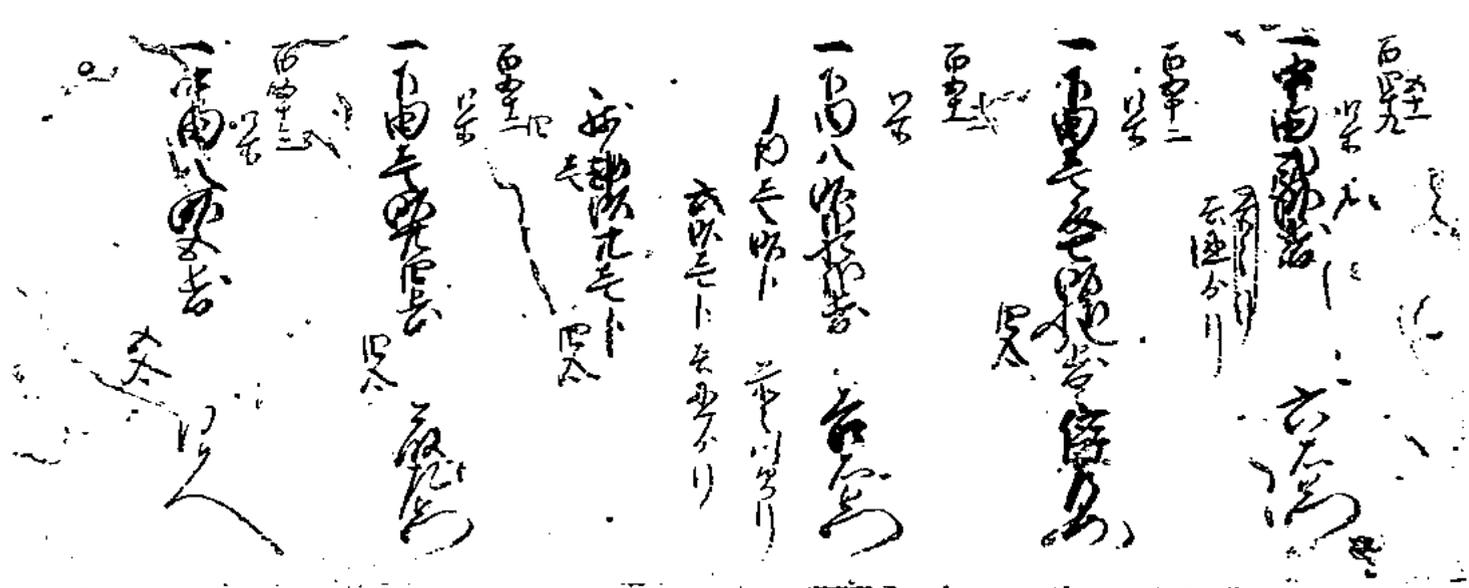
百廿二	大かみ	五合	弥兵衛
百廿一	同所	五合	同人
百三十二	外堀田	四合	宮分
百廿三	同所	四合	宮分
百廿四	同所	三合	弥兵衛
百廿五	丸山	四合	安左衛門
百廿六	祭免	五合	弥兵衛
百廿七	同所	五合	同人
百廿八	同所	五合	同人
百廿九	同所	五合	同人
百三十	同所	五合	同人

百三十九
 一 下田老反式畝步
 同所
 百三十八
 入谷
 一 中田六畝式拾五步
 四十一
 百三十九
 同所
 一 下田老反式畝步
 同所
 百四十二
 同所
 一 下田式畝廿四步
 三
 百四十一
 同所
 一 中田五畝式拾五步
 四
 百四十二
 同所
 一 下田四畝廿式步
 四合

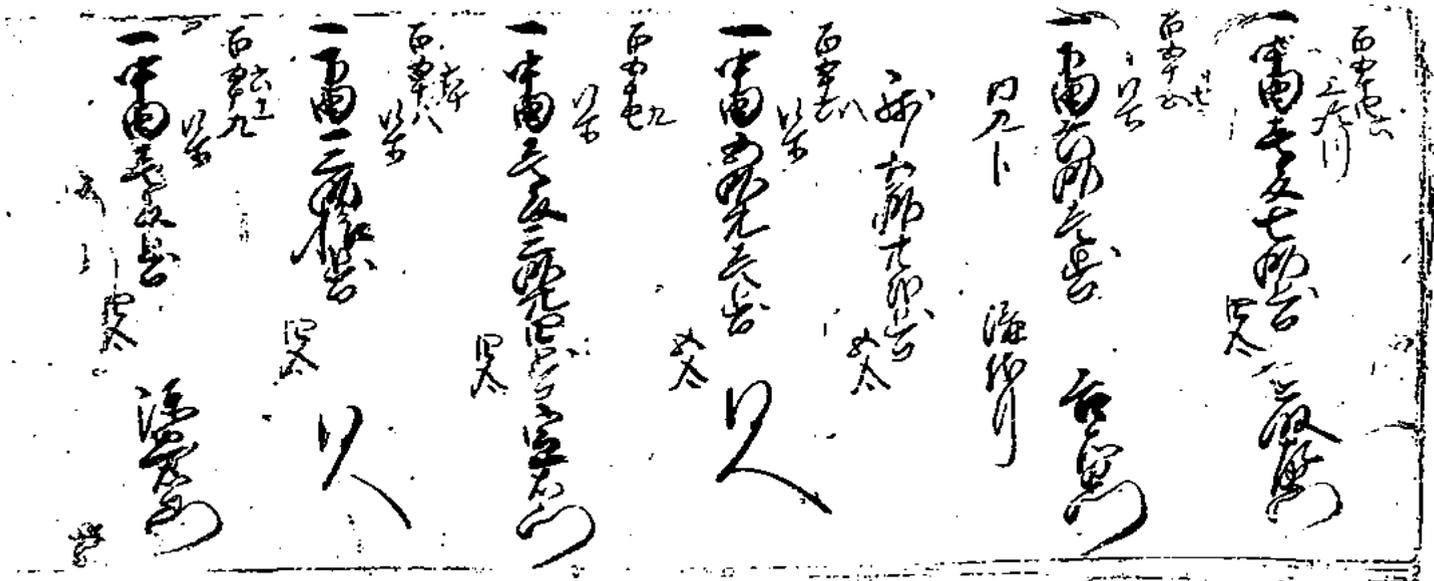
百三七九
 同所
 一 下田老反式畝步
 四十
 百三八
 入谷
 一 中田六畝式拾五步
 四十一
 百三十九
 同所
 一 下田老反式畝步
 同所
 百四十二
 同所
 一 下田式畝廿四步
 三
 百四十一
 同所
 一 中田五畝式拾五步
 四
 百四十二
 同所
 一 下田四畝廿式步
 四合
 同人
 藤助
 同人
 加右衛門
 定右衛門
 同人

Handwritten entries in a table format, likely a land register or survey record. The entries are arranged in columns and rows, with some characters appearing to be names or locations. The text is written in a cursive style.

百四十三	五	入谷	藤左衛門
百四十四	六	一下田七畝廿五歩	三合
百四十五	七	同所	久左衛門
百四十六	八	上冷川	忠左衛門
百四十七	九	一下田老反歩	三合
百四十八	十	同所	高源寺
百四十九	十一	中田式畝歩	同人
百五十	十二	同所	同人
百五十一	十三	同所	同人
百五十二	十四	同所	同人
百五十三	十五	同所	同人
百五十四	十六	同所	同人
百五十五	十七	同所	同人
百五十六	十八	同所	同人
百五十七	十九	同所	同人
百五十八	二十	同所	同人
百五十九	二十一	同所	同人
百六十	二十二	同所	同人
百六十一	二十三	同所	同人
百六十二	二十四	同所	同人
百六十三	二十五	同所	同人
百六十四	二十六	同所	同人
百六十五	二十七	同所	同人
百六十六	二十八	同所	同人
百六十七	二十九	同所	同人
百六十八	三十	同所	同人
百六十九	三十一	同所	同人
百七十	三十二	同所	同人
百七十一	三十三	同所	同人
百七十二	三十四	同所	同人
百七十三	三十五	同所	同人
百七十四	三十六	同所	同人
百七十五	三十七	同所	同人
百七十六	三十八	同所	同人
百七十七	三十九	同所	同人
百七十八	四十	同所	同人
百七十九	四十一	同所	同人
百八十	四十二	同所	同人
百八十一	四十三	同所	同人
百八十二	四十四	同所	同人
百八十三	四十五	同所	同人
百八十四	四十六	同所	同人
百八十五	四十七	同所	同人
百八十六	四十八	同所	同人
百八十七	四十九	同所	同人
百八十八	五十	同所	同人
百八十九	五十一	同所	同人
百九十	五十二	同所	同人
百九十一	五十三	同所	同人
百九十二	五十四	同所	同人
百九十三	五十五	同所	同人
百九十四	五十六	同所	同人
百九十五	五十七	同所	同人
百九十六	五十八	同所	同人
百九十七	五十九	同所	同人
百九十八	六十	同所	同人
百九十九	六十一	同所	同人
百	六十二	同所	同人



百五十一	五十一	一 中田 貳畝步	前々引	六右衛門
百四十九	同所	去丑より引		
百五十二	同所	一 下田 壹反七畝拾步	四合	伊左衛門
百五十一	同所	一 下田 八畝貳拾貳步	吉右衛門	
		内 壹畝步 前々川欠引		
		六畝壹步 去丑より引		
		残 貳畝廿壹步	四合	
百五十二	同所	一 下田 壹畝廿四步	四合	藤左衛門
百五十三	同所	一 中田 八畝五步	五合	同人



百五十四 六

上冷川

一中田老反七畝步

七

百五十五

同所

一下田六畝老步

内九步

残五畝廿式步

八

百五十六

同所

一中田五畝廿老步

九

百五十七

同所

一中田老反三畝廿四步

六十

百五十八

同所

一下田三畝拾步

六十一

百五十九

同所

一中田老反步

藤左衛門

吉右衛門

溝代引

同所

同所

同所

同所

定右衛門

同所

同所

同所

弥惣右衛門

四合

四合

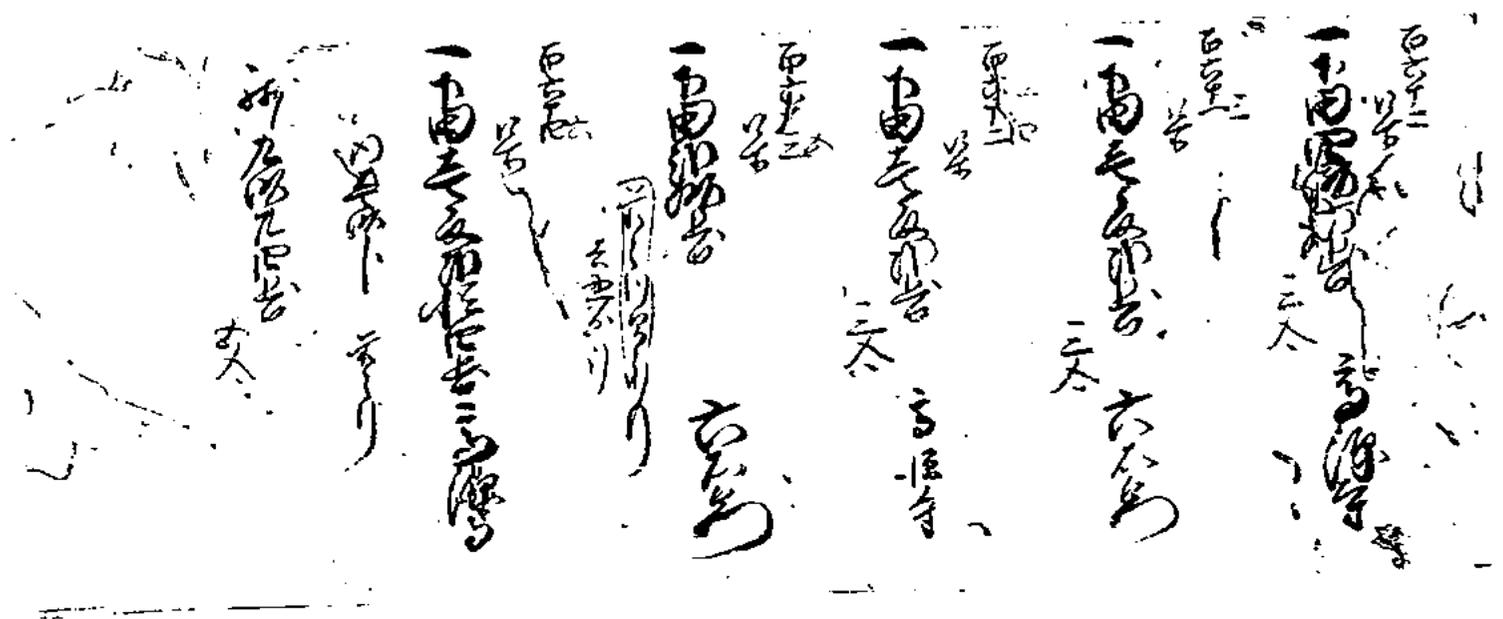
四合

五合

五合

四合

四合



百六十二

同所

一下田四畝六歩

三合

高源寺

百六十一

同所

一下田老反式歩

三合

六右衛門

百六十二

同所

一下田老反式歩

三合

高源寺

百六十三

同所

一下田式畝歩

六右衛門

百六十四

同所

一下田老反式拾四歩

高源寺

内老畝歩

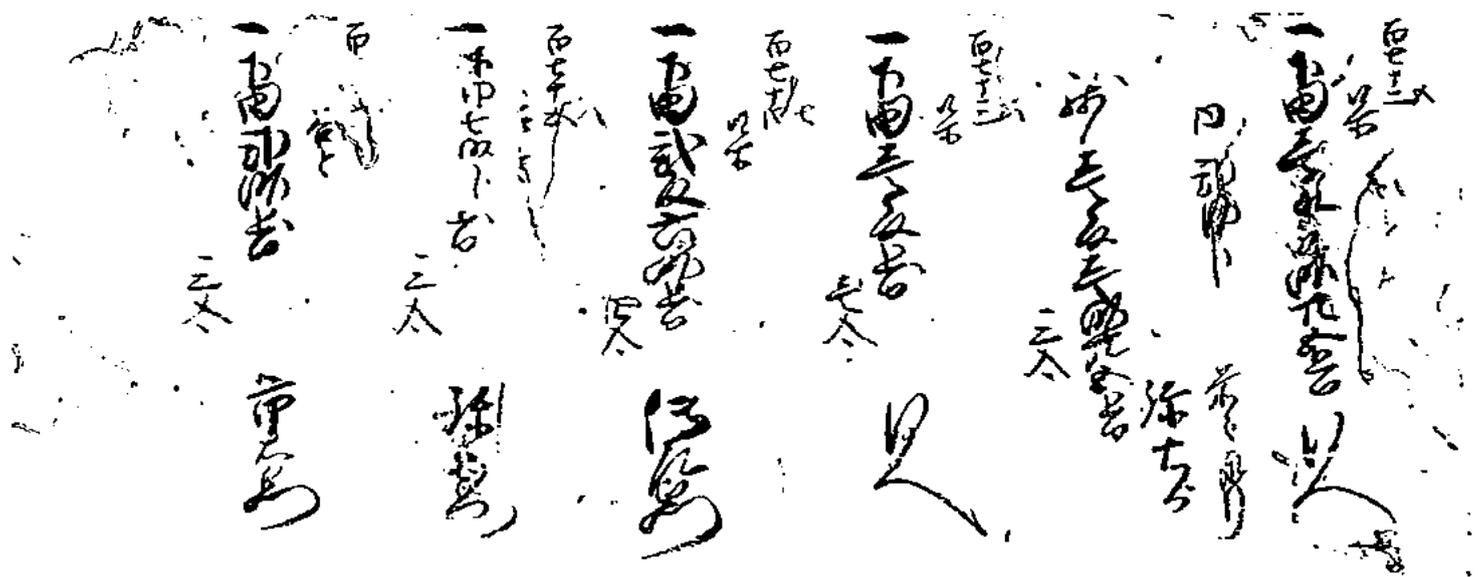
五合

前々引

残九畝廿四歩

Handwritten notes in Japanese, including names like 大久保 (Okiwara) and 次郎兵衛 (Jirōbei), and numerical values such as 百六十五 (165) and 百六十七 (167). The notes are arranged in several columns, with some entries starting with '一' (one).

百六十五	七	大久保	伊左衛門
一下田老反式拾歩	八		
百六十六		下冷川	
一下田五畝歩	九		次郎兵衛
百六十七		同所	
一下田五畝歩	七十		同人
百六十八		同所	
一下田九畝廿歩			吉右衛門
一中田六畝拾歩		同所	同人
一下田老反式拾歩	三合		同人
百七十二		同所	
一中田五畝拾歩	四合		同人
同所		同所	
百七十三			同人
一中田六畝拾歩	四合		
百七十一		同所	
一下田九畝拾六歩	式合		六右衛門



百七十二 五

同所

一下田老反三畝廿五步

内式畝步

前々永引

同人

弥右衛門

残老反老畝廿五步

六

三合

百七十三

同所

一下田老反步

七

老合

同人

百七十四

同所

一下田式反六畝步

八

四合

傅左衛門

百七十五

□□

一中田七畝□步

三合

弥右衛門

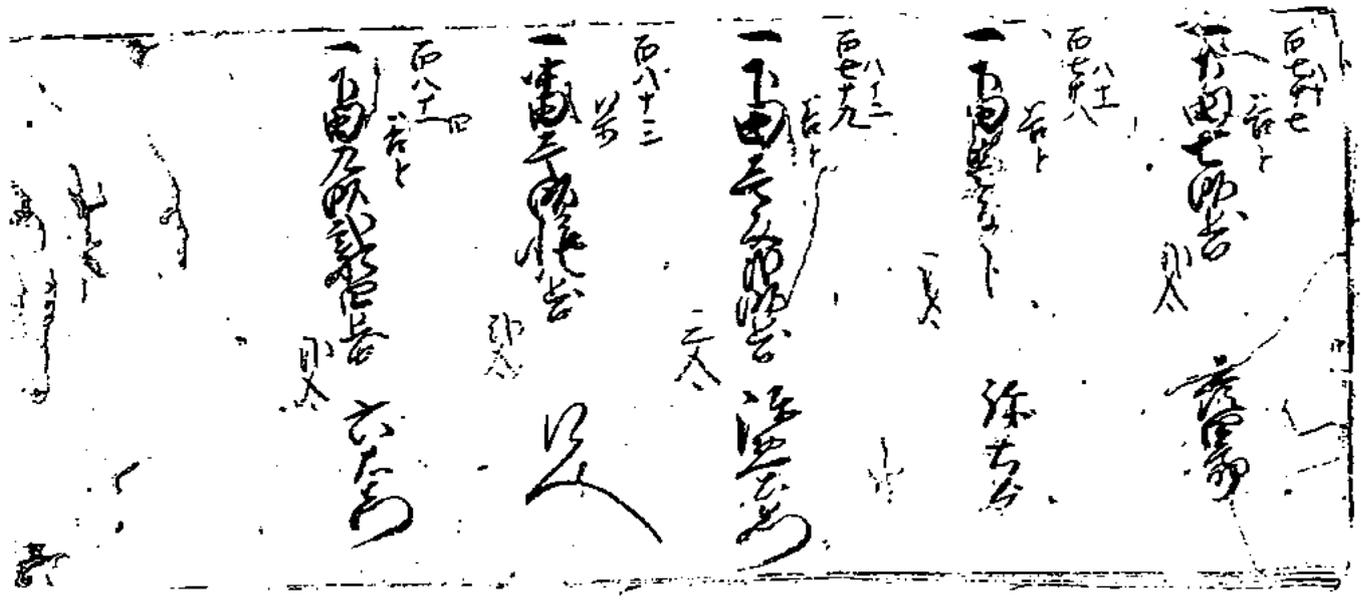
百七十六

谷と

一下田式畝步

三合

市右衛門



<p>百八十一 谷と 一 下田九畝貳拾四步 貳合 六右衛門</p>	<p>百八十三 同所 一 中田老畝拾八步 貳合 同人</p>	<p>百七十九 谷と 一 下田老反貳畝步 三合 弥惣右衛門</p>	<p>百七十八 谷と 一 下田老反步 貳合 弥右衛門</p>	<p>百七十七 谷と 一 下田七畝步 貳合 彦四郎</p>	<p>八十 八十 八十</p>
---	--	---	--	---	-------------------------

右者当村田方風水
 損二付先達而御注進申上
 御檢見被仰付候二付名主
 組頭大小百姓立會 無
 高下内見仕所々二而坪刈
 合毛相改番付与頭田
 每二建札仕書面之通少も
 相違無御座候御見分之上
 御引方奉願上候以上
 延享四年
 卯九月 名主 藤左衛門 印
 与頭 弥七 印
 " 權左衛門 印
 百姓代 六右衛門 印

豆州田方郡
 桑原村

延享四年

卯九月 名主 藤左衛門 印
 与頭 弥七 印
 " 權左衛門 印
 百姓代 六右衛門 印

寛延元年

豆州田方郡

桑原

御公金質地帳

御公金質地帳

辰十一月

辰十一月

奈古谷村へ遣候

桑原

名所六反田
 一、上田三反五畝廿四歩
 名所家之下
 一、上田貳反六畝拾歩
 名所風吹田
 一、上田四反三畝拾貳歩
 名所さし山
 一、上田三反貳畝貳拾九歩
 名所ミヤ地
 一、上田貳反貳畝歩
 名所中嶋田
 一、上田三反四畝歩
 名所かきうと
 一、上田貳反三畝拾八歩
 名所前田
 一、上田三反九畝拾五歩
 名所□□□□
 一、□

傳左衛門

吉右衛門

六右衛門

七右衛門

弥兵衛

平右衛門

重右衛門

藤左衛門

一、^左中田
 一、^{名所水口}中田
 一、^{名所阿弥地免}中田
 一、^{源田}中田
 一、^{名所六反田}中田
 一、^{名所初才毛}中田
 一、^{名所外堀田}中田
 一、^{祭免}中田
 一、^{かきうと}中田
 一、^{同所}中田
 一、^{同所}下田

□ 中田 □
 □ 左衛門
 一、中田
 名所水口
 一、中田
 名所阿弥地免
 一、中田
 源田
 一、中田
 名所六反田
 一、中田
 名所初才毛
 一、中田
 名所外堀田
 一、中田
 祭免
 一、中田
 かきうと
 一、中田
 同所
 一、中田
 同所
 一、下田

高田町七反七畝拾八歩

右之寄

上田 貳町五反七畝拾八歩

分米 三拾六石六升四合

中田 壹町七反壹畝拾八歩

分米 廿石五斗九升貳合

下田 四反七畝廿歩

分米 四石七斗六升七合

分米合六拾壹石四斗貳升三合

敬 田合百廿六俵

右者御公金三拾兩当村

借主ニ而御用金ニ付而之

質地□□

名所かきうと
一、下田 壹反貳畝廿四歩
吉右衛門

右之寄

石盛十四

上田 貳町五反七畝拾八歩

石盛十二

中田 壹町七反壹畝拾八歩

石盛十

下田 四反七畝廿歩

分米合六拾壹石四斗貳升三合

數田合百廿六俵

右者御公金三拾兩当村
借主ニ而御用金ニ付而之
質地□□



寛延式年

桑原村

巳之御年貢米百姓小前勘定帳

十一月 名主

弥兵衛

宗源寺

米六俵斗式合

米七俵斗式合

宗源寺

一、米六俵斗式合

一、米七俵斗式合

一、米六俵斗式合

一、米七俵斗式合

一、米七俵斗式合

此納

十一月三日

米三俵 半左衛門

同日

米貳俵 吉兵衛

十一月七日

米壹俵 同人

十一月廿三日

米壹俵貳合 吉兵衛

米七俵貳合 皆濟

茂左衛門

一、米八升七合

一、米壹升五合

一、米壹升八合

一、米壹升七合

一、米貳升

一、米貳升五合

一、米貳升七合

一、米貳升

一、米貳升七合

茂左衛門 ⑩
一、米八升七合
一、米壹升五合 テ
一、米壹升八合 役米
米合 壹斗貳升
十一月十九日
皆済

五郎右衛門
一、米壹斗壹升七合
一、米貳升 テ
一、米壹斗三升七合
一、米貳升五合 役米
米合壹斗六升貳合

長三郎

一、米式斗四升壹合

一、米式斗四升壹合

一、米式斗四升壹合

一、米式斗四升壹合

一、米式斗四升壹合

一、米式斗四升壹合

一、米式斗四升壹合

長三郎 ㊦

一、米式斗四升壹合

一、米四升壹合

一、米式斗八升式合

一、米三升式合

一、米三表壹斗五升壹合

一、米三表壹斗五升壹合

一、米式升六合

一、米式斗式升七合

花屋敷の御主人
八代将軍御前御下向
御下向

十一月十日

米四表 大竹七右衛門斗主納分

十一月十九日

一、米壹俵 主納

小以五俵

内米四表三斗六升八合引

残り米四升貳合

米壹斗貳升 二斗分

米合壹斗六升貳合

五郎左衛門分

十二月廿八日分

一、米三斗 主斗

内壹斗貳升五郎左衛門より引合

壹斗壹升五合大竹役錢五百廿文

小以貳斗壹升五合引

残り六升五合

壹升 藏米 代三百三十九文

...

七右衛門

米拾壹俵壹斗壹升九合

一、米貳升

米拾壹表壹斗三升九合

一、米四斗八升 役米

米合拾貳俵貳斗九合

此納

十月十七日

米貳俵

伊左衛門

同日 米三俵

十月廿六日

米四俵

主納

十一月三日

米三俵

半左衛門

十月廿六日

米貳升

主納

米六合

二廿十人分

七右衛門 印

一、米拾壹俵壹斗壹升九合

一、米貳升

米拾壹表壹斗三升九合

一、米四斗八升 役米

米合拾貳俵貳斗九合

此納

十月十七日 米貳俵 伊左衛門

同日 米三俵 主斗

十月廿六日 米四俵 主納

十一月三日 米三俵 半左衛門

十月廿六日 米貳升 主納

米六合 二廿十人分

米拾貳俵八升

残り壹斗貳升九合

十一月十九日

皆濟

半左衛門

一、米三斗壹升 九升三合利

元利 米四斗三合

一、金貳分 此米四斗七升八合

利米六升 分貳斗三升九合かへ

九斗四升壹合

儀貳俵壹斗貳升壹合

半左衛門

一、米八升八合

一、米壹升五合 役米

米壹斗三合

一、米壹升貳合 役米

米合壹斗壹升五合

十一月七日

米壹斗壹升 主納

一、米五表壹斗 御所馬給米

内四表 藤左衛門へ渡ス

壹俵壹斗 弥兵衛渡濟

一、米三斗壹升 九升三合利
元利 米四斗三合
一、金貳分 此米四斗七升八合
利米六升 分貳斗三升九合かへ
九斗四升壹合
儀貳俵壹斗貳升壹合

半左衛門

一、米八升八合

一、米壹升五合

米壹斗三合

一、米壹升貳合

米合壹斗壹升五合

十一月七日

米壹斗壹升

一、米五表壹斗
内四表 藤左衛門へ渡ス
壹俵壹斗 弥兵衛渡濟

北高之東

一、米壹俵三斗四升貳合

一、米五升九合

一、米壹俵四斗壹合

一、米六升八合

役米

米合貳俵五升九合

此納

十一月三日

米貳俵

十一月五日

米三升

同 七日

米貳升

米貳俵五升

残り九合

十一月四日

皆濟

次郎兵衛 印

一、米壹俵三斗四升貳合

一、米五升九合

一、米壹俵四斗壹合

一、米六升八合

米合貳俵五升九合

此納

十一月三日

米貳俵

十一月五日

米三升

同 七日

米貳升

米貳俵五升

残り九合

十一月四日

皆濟

主納

同人

同人

吉兵衛

一、米三斗九合

一、米三升七合

一、米三斗四升六合

一、米六升

一、米四斗六合

一、四升七合

米合壹俵四升三合

役米

皆濟

十一月十九日

米壹俵四升三合

吉兵衛 印

一、米三斗九合

一、米三升七合 太郎右衛門分

一、米三斗四升六合

一、米六升

一、米四斗六合

一、四升七合

米合壹俵四升三合

役米

此納

十一月十九日

米壹俵四升三合

主納

皆濟

奉

米六俵五合

米三俵

米三俵

米三俵

米

米

米

米

米

米

米

米

米

米

平 七

一、米六俵五合

一、米壹合

一、米貳斗壹升

米合六俵貳斗壹升六合

此納

十月十七日

米三俵

主納

十一月十三日

米三俵

大竹村 三郎右衛門

米六俵

残り米貳斗壹升六合

十一月七日

内壹斗三升六合

六右衛門納

殘米八升

六右衛門分

内壹升

藏番給

七升代三百三十二文 取

六右衛門より取

皆済

六右衛門

一、米貳拾八俵老合

一、米三合

當已分新畑
積上分之取

一、米貳拾九俵老合

内勘定分

一、米貳拾八合

一、米貳拾九俵老合

一、米貳拾八合

一、米貳拾九俵老合

此納

十月十七日
米三俵

六右衛門 ⑩

一、米貳拾八俵老合
一、米三合

一、米貳拾九俵老合

一、米老升八合

一、米貳拾九俵老合
一、貳俵四斗四合

米合 三拾貳俵老斗貳升

此納

十月十七日

米三俵 源七

十一月三日
 米貳俵 三右衛門
 同日 米貳俵 市兵衛
 同日 米壹俵 半左衛門
 同日 米貳俵 次郎兵衛
 同日 米壹俵 源七
 十一月七日 米壹俵 次郎兵衛
 同日 米貳俵 冷川 長右衛門
 同日 米貳俵 半左衛門
 同日 米貳俵 半左衛門
 米三升六合 二廿六人分
 米拾七俵三升六合
 殘拾五俵八升四合
 米壹斗八升 番助屋敷年貢
 十一月十九日
 米五俵七升 主納
 同日 米貳俵斗五合 仁兵衛
 同日 米三俵斗五合 定右衛門
 小以米拾壹俵斗五升

所為之儀御座候旨令

承取申上候旨令 平六分

合三俵三斗八升

内

米老俵 内蔵納

藤左衛門より渡へき

十二月廿日

米式俵三斗八升 主納

皆濟 印

残り米三俵式斗四升四合

米 老斗三升六合 平六分

合三俵三斗八升

内

米老俵

内蔵納

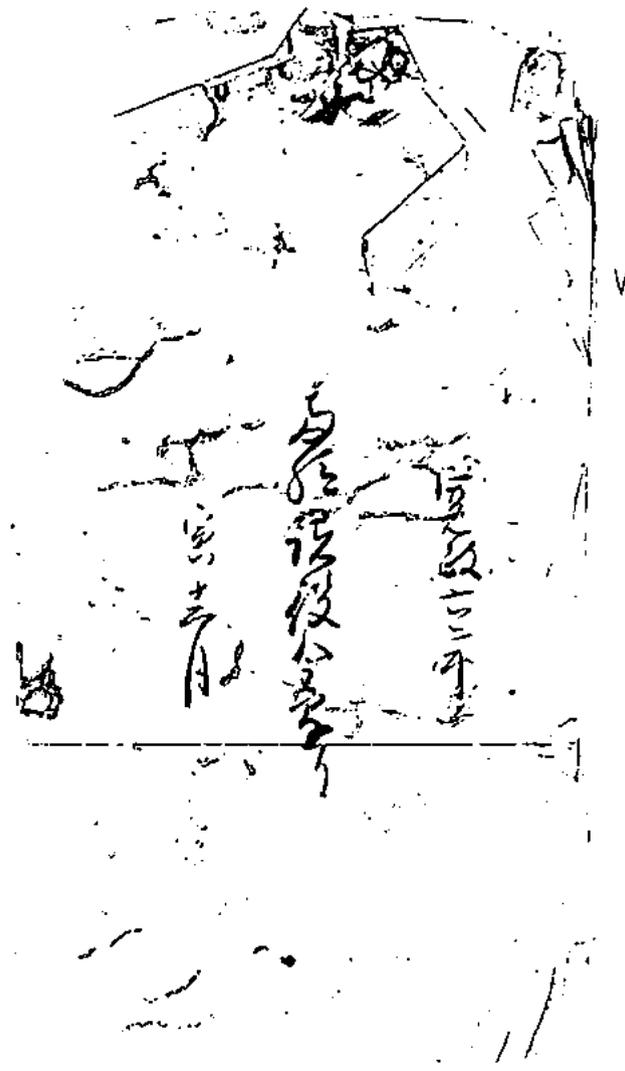
藤左衛門より渡へき

十二月廿日

米式俵三斗八升

主納

皆濟 印



寛政六年

兩給諸役金懸かり

寅十二月

小田原領

一、 鑿式拾貫五百

是八年中往還懸
元利共二

一、 同拾六貫五百七十七文

小田原宿拂并小使

一、 同四貫三百八拾七文

是八村入用

一、 同八貫四百廿六文

年内箱根伝人馬
賃錢

一、 同三拾三貫七百廿八文
馬

皇太后御用

一、山

御用

一、山

御用

御用

一、山

御用

一、山

御用

老給御同割

一、同式百文

菲山年始入用
半分

一、同七百四十八文

大行院年内
宮勤謝札

一、老々六百文

當日入用百文定使
祝儀

一、同七貫三百廿五文

是去ル亥年
川欠普請人足

不足分去丑年
当寅年式ケ年二入

一、拾貳貫五百文

亥子丑三ケ年御年貢

過米五俵代金卜

同

一、同四貫五百廿七文

当寅遠賄御手当米

式俵代金分引

差引

残り八拾貳貫三十七文

不足分去丑年
当寅年式ケ年二入

一、鐮九十九貫六拾文

内
一、拾貳貫五百文
亥子丑三ケ年御年貢
過米五俵代金卜

同

一、同四貫五百廿七文
当寅遠賄御手当米
式俵代金分引

差引

残り八拾貳貫三十七文

高百四十五石四斗卷升六合

内
藤之方高也

一、同五貫四百十文
間垣
分

一、錢三貫五拾三文
千藤
分

高老石二付
五八

此割高

高老石二付

五八

一、錢三貫五拾三文 千藤 分

一、同五貫四百十文 間垣 分

寅之役金割
八郎右衛門様之方

一、鑿錢六拾七貫

内 貳百八拾五文

四

一、永春八拾六文九分

此鑿六貫五百廿文

是八丑御年貢余米

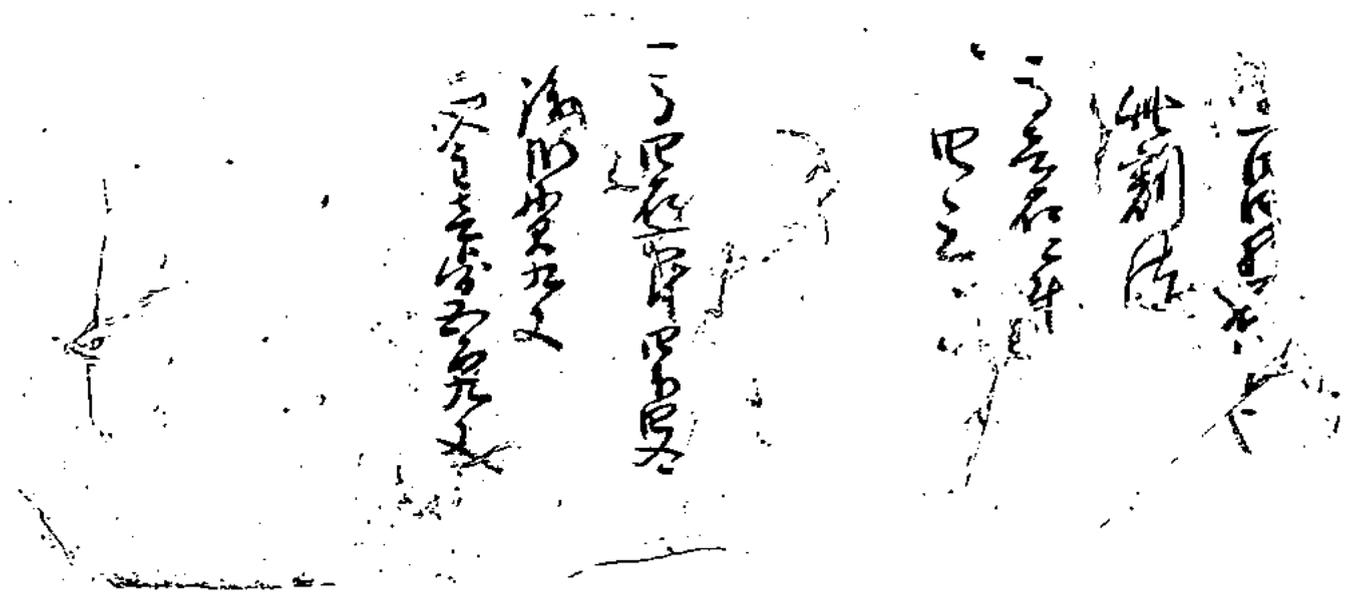
勘定過引割六文

残而 六拾貫百六拾五文

内 高百四拾七石三斗五升

内

四



此割法

高 壹石二斗

四 三 割

一、高四石六斗四升四合

錢貳貫九文

此金壹步五百九文

寛政十二年

桑原村

寛政十二年

桑原村

申之御年貢米納仕勘定帳

申之御年貢米納仕勘定帳

十一月

十一月

宗源寺

宗源寺

一、米四俵七升八合

一、米四俵七升八合

一、三斗式升七合

一、三斗式升七合

餅井坂 分

一、老斗壹升八合

一、老斗壹升八合

安右衛門分

三口合五俵壹斗三合

三口合五俵壹斗三合

一、三斗九升五合

一、三斗九升五合

倫屋 分

一、六俵七升八合

一、六俵七升八合

文左衛門

文左衛門

一、米七升五合

一、米七升五合

藤助

藤助

一、三斗七升壹合

一、三斗七升壹合

一、老俵貳升六合

一、老俵貳升六合

七右衛門

七右衛門

一、米九俵六升四合

一、米九俵六升四合

安右衛門分

一、老斗壹升九合

一、老斗壹升九合

一、九俵壹斗八升三合

一、九俵壹斗八升三合

伊右衛門

一、米貳斗貳升

一、米貳斗貳升

伊右衛門

六右衛門

一、米六俵壹升三合

一、米六俵壹升三合

六右衛門

おるい分

一、四斗壹升四合

一、四斗壹升四合

おるい分

彦右衛門分

一、米九俵九升壹合

一、米九俵九升壹合

彦右衛門分

三口ノ拾六俵九升八合

三口ノ拾六俵九升八合

善左衛門

善左衛門

一、米拾七俵三升八合

善左衛門

一、米壹俵貳斗九升五合

一、米壹俵貳斗九升五合

高源寺

喜右衛門

一、米五俵壹斗七升四合

一、米五俵壹斗七升四合

喜右衛門

忠兵衛

一、米貳俵三斗壹升七合

一、米貳俵三斗壹升七合

忠兵衛

一、米貳俵三斗壹升七合

忠兵衛

長源寺
一、米貳俵三升八合

源兵衛

一、米貳俵三升五合

幸右衛門

一、米貳俵四升五合

仁兵衛

一、米貳俵六升七合

仁右衛門

一、米貳俵五升八合

兵助

一、米貳斗五升貳合

おこめ分

一、米貳斗七合

弥左衛門

一、米貳斗七合

一、米貳俵三升八合

長源寺

一、米貳俵三升五合

源兵衛

一、米貳俵四升五合

幸右衛門

一、米貳俵六升七合

仁兵衛

一、米貳俵五升八合

仁右衛門

一、米貳俵六升九合

兵助

一、米貳俵三升八合

おこめ分

一、米貳斗七合

弥左衛門

一、米貳斗五升貳合

市右衛門

一、米四升八合

佐兵衛

一、米四升八合

一、米四升八合

与右衛門

一、米四升八合

文右衛門

一、米四升八合

弥次右衛門

一、米四升八合

治郎兵衛

一、米四升八合

久右衛門

一、米四升八合

彦右衛門

一、米四升八合

伝蔵

一、米四升八合

一、米四升八合

市右衛門

一、米四升八合

佐兵衛

一、米四升八合

与右衛門分斗

一、米四升八合

文右衛門

一、米四升八合

弥次右衛門

一、米四升八合

治郎兵衛

一、米四升八合

久右衛門

一、米四升八合

彦右衛門

一、米四升八合

伝蔵

一、米四升八合

一、式斗式升八合
与右衛門

一、式斗五升三合
半右衛門

一、四俵壹斗壹升三合
要右衛門

一、四俵壹斗四升五合
大竹分

一、八俵式斗五升八合
丈助

一、三斗四升式合
藤左衛門

一、拾六俵式斗九升式合
彦右衛門分

一、五俵三斗五升八合
丈助分

一、壹俵三斗八升六合
丈助分

一、式十四俵
壹斗九升六合

一、拾六俵式斗九升式合
与右衛門

一、五俵三斗五升八合
丈助分

一、壹俵三斗八升六合
丈助分

東書

一、五俵四斗

弥兵衛

一、拾貳俵貳斗九升七合

一、米五俵四斗

一、壹俵三斗九升六合

一、拾貳俵貳斗九升七合

一、壹俵三斗九升六合

一、貳拾俵貳斗五升三合

一、貳拾俵貳斗五升三合

利兵衛

利兵衛

一、三升五合

一、三升五合

喜右衛門

喜右衛門

一、壹斗三升壹合

阿弥陀堂

一、貳斗貳升五合

一、貳斗貳升五合

庄左衛門

庄左衛門

一、九升九合

一、九升九合

惣右衛門

大行院

一、八升八合

大行院

一、三俵八升七合

一、三俵八升七合

次右衛門

次右衛門

一、九升八合

次右衛門

一、九升八合

次右衛門

次右衛門

乙右衛門

一、米貳斗三升六合

一、米貳斗三升六合

幸左衛門

一、米九俵三斗七升壹合

一、米九俵三斗七升壹合

儀右衛門

一、米貳俵貳斗

一、米貳俵貳斗

權左衛門

一、米五俵壹斗五升壹合

一、米五俵壹斗五升壹合

次郎右衛門

磯右衛門

一、米壹斗三升六合

一、米壹斗三升六合

磯右衛門

郷散田

一、米四俵四斗

一、米壹斗九升六合

郷散田

御藏屋敷

一、米七升貳合

一、米七升貳合

御藏屋敷

大竹

官分

一、米壹俵壹斗五升七合

一、米壹俵壹斗五升七合

一、米壹俵壹斗五升七合

傳丸

一、米四俵三斗四升式合

夏梅木
孫左衛門

一、米三俵壹斗九升三合

忠兵衛

一、米四俵八升三合

新正院

一、米貳俵貳升

本院

一、米貳俵三斗六升九合

松右衛門

一、米壹俵貳斗四升四合

儀左衛門

一、米壹斗四升式合

與右衛門

一、米壹斗四升式合

同所

傳左衛門

一、米四俵三斗四升壹合

夏梅木

孫左衛門

一、米三俵壹斗九升三合

玉沢

忠兵衛

一、米四俵八升三合

新正院

一、米貳俵貳升

本院

一、米貳俵三斗六升九合

松右衛門

一、米壹俵貳斗四升四合

儀左衛門

一、米壹斗四升式合

與右衛門

一、米壹斗四升式合

寛政十二年

小田原領御年貢役金勘定

申上之付

常々申上之付

寛政十二年

小田原領御年貢役金勘定

申十二月 前々より分共ニ入

未年

一、錢四貫九百九文

一、同三百四拾四文駄ちん

一、同貳百三拾貳文林年貢

間 宮 分

一、同六貫九百九拾貳文

一、同七百六十七文駄賃

一、拾三貫貳百五拾三文

内わけ

金貳分十二月廿八日済

同老分同 廿九日

同貳朱 大晦日

同貳朱 同日

錢四百文 かし

内三百文受取

一、同七百六十七文駄賃

一、同三百四拾四文駄ちん

一、同六貫九百九拾貳文

同貳朱

一、同七百六十七文駄賃

一、拾三貫貳百五拾三文

一、同七百六十七文駄賃

同貳朱

一、同三百四拾四文駄ちん

一、同六貫九百九拾貳文

同貳朱

一、同七百六十七文駄賃

一、同三百四拾四文駄ちん

一、同六貫九百九拾貳文

七百八拾文

小田原行

内式百五拾文引

残五百三十式文

利百六文

元利六百三十八文

老貫文十一月十七日

小田原行

内三百五拾文引

残六百五十文

利六十三文

元利七百七拾五文

百文差札代引

五百文大竹武兵衛酒代

式百五拾文無尽錢

差引錢四貫五百四十七文

錢貳貫九百七文

以上仕上賃過米三斗九升

錢老貫六百四拾文不足

四月廿八日

年々残

金壹百貳拾貳文

利息廿貳分

元利

利息

金壹百貳拾貳文

利息

金壹百貳拾貳文

利息

二口

金壹百貳拾貳文

利息

四

金壹百貳拾貳文

利息

金壹百貳拾貳文

利息

金壹百貳拾貳文

午之残り

一、金壹兩ト五文

利息貫三百三十八文

元利ノ壹兩貳朱

總五百七文

惣ノ金壹兩壹分貳朱

總四百六十六文

□□錢

一、金貳兩壹分貳朱

四百九十二文

二口ノ

金三兩三分

總九百六十貳文

内

○金壹分百四文

米壹俵代

但壹俵廿貳カヘ

六十四文

申四月十八日小田原行

ハ壹分貳朱

此分八百廿四文

錢三百文

三三五拾文 沢田より請取

〆 壹分壹貫四百七十式文

内 市田様へ渡

金式〇三百六文

式朱 紺屋へ渡

三百廿八文組合割

八十六文 竹笠代

百七拾式文鎌代

残テ五百七拾式文

錢九百四十八文利二入

内五百七十式文引

〇引残三百七十式文過

錢壹貫五百三十四文

是未秋米式斗壹升三合

廿式かへ

三〇

金式分式朱

鍾七百六十八文

〇引残

金三兩式朱式百文

金式朱

申十二月二日無尽間官可渡
出分又四卜共二

三兩壹分式百文

式朱四十四十一文

鉄砲打扶持米壹斗
式升六合代

引残三兩式朱
百五十五文

鑊百廿七文間宮式朱
利分

同式百五十文表壹俵代
金壹分

大竹五郎左衛門へ取かへ
内

七百六十四文輕井沢米代
羽錢引

差引 九百八文

取式百八十三文引
残テ

金式兩三分式朱

鑊六百四十四文

申年分

一、鑲五貫四百三十一文

一、三百四十五文駄ちん

一、貳百三十六文 林年貢
間請分

一、七貫三百三十九文

一、七百六十七文 駄ちん

一、壹貫百四文 手替分

一、百拾六文 駄たん

一、拾五貫七百四十六文

此金貳兩壹分

内わけ

金壹分内證三而済

壹兩 梅名追取かへ

申年分

一、鑲五貫四百三十一文

一、三百四十五文駄ちん

一、貳百三十六文 林年貢
間請分

一、七貫三百三十九文

一、七百六十七文 駄ちん

一、壹貫百四文 手替分

一、百拾六文 駄たん

一、拾五貫七百四十六文

此金貳兩壹分

内わけ

金壹分内證三而済

壹兩 梅名追取かへ

奉旨 奉旨 奉旨

百文 指礼代

金壹兩貳分貳釐

差引錢貳分貳釐

金壹兩貳分貳釐

金壹兩貳分貳釐

金壹兩貳分貳釐

金壹兩貳分貳釐

金壹兩貳分貳釐

金壹兩貳分貳釐

金壹兩貳分貳釐

金壹兩貳分貳釐

三分 十二月役割之節

錢ニテ

貳朱

百文 指礼代

金壹兩貳分貳釐

差引錢貳分貳釐

三百四十六文

金壹兩貳分貳釐

米貳俵代与 給米

外老俵

内百廿四文輕井沢右米

駄ちん引

錢壹兩貳百廿八文

内

貳分貳朱三百四十六文

申役金不足分引

夫錢壹分七百廿八文過

一、金貳兩三分貳朱

六百四十四文

未年勘定残

又引而

貳兩貳分七百六十四文

申二月十六日勘定不足

貳百文未十二月役割之節

申 年御年貢勘定

由事の三斗勘定

一、米五俵四斗

二斗之五斗

一、〃拾式俵式斗九升七合

一、拾俵式斗七升七合

二口合
米拾八俵式斗七升七合

二斗

年替り分

一、拾八俵式斗七升七合

一、米老俵三斗九升六合
惣合式拾俵式斗五升三合

一、拾八俵式斗七升七合

十一月二日

米式俵 次郎兵衛

同 廿日

米三俵 義左衛門

同

米五俵 与助

同 廿八日

米七俵 主計

十二月八日

米式斗五升三合同断

一、拾八俵式斗七升七合

次郎兵衛

一、拾八俵式斗七升七合

義左衛門

一、拾八俵式斗七升七合

与助

一、拾八俵式斗七升七合

主計

一、拾八俵式斗七升七合

廿七俵式斗五升三合
 米貳俵 万右衛門
 老俵 給米
 老俵 預米
 差引
 廿老俵式斗五升三合
 老俵過

□十七俵式斗五升三合
 □□
 米貳俵 万右衛門
 老俵 給米
 老俵 預米
 差引
 廿老俵式斗五升三合
 老俵過

寛延四年

伊豆国田方郡桑原村宗門人別御改帳

未之

寛延四年

伊豆国田方郡桑原村宗門人別御改帳

未之

野蘇宗門御制禁之儀

一、野蘇宗門御制禁之儀度々被 仰出御制札

并御条目之趣弥以賢相守不審成者有之者

早速可申上旨被 仰出奉得其意候事

一、切支丹其所有之儀者名主組頭可存所御高札之趣違

背仕不申上脇より頭申候ハハ御詮議之上急度罪科

可被 仰付旨奉承知候事

差上申宗門手形之事

- 一、野蘇宗門御制禁之儀度々被 仰出御制札 并御条目之趣弥以賢相守不審成者有之者
- 早速可申上旨被 仰出奉得其意候事
- 一、切支丹其所有之儀者名主組頭可存所御高札之趣違 背仕不申上脇より頭申候ハハ御詮議之上急度罪科 可被 仰付旨奉承知候事

一、野蘇宗門訴人御褒美可被候旨奉得□□

一、此以後切支丹宗門ニ誘ひ候者親類縁者ニ有之候とも可申上旨被 仲渡候所当村ニ左様之者老人茂無御座候

一、何之末寺門徒共不知出家御改被成候左様之出家村中ニ無御座候事

一、名主組頭者不及申五人組仲間として相樂常々心掛銘々家内不思議之木像繪像仏具杯

一、有之者見分次第御註進可申上候事

右之通被 仰渡承知仕奉畏候村中大小之

百姓地借り借屋之者出家虚無僧禰宜山伏比丘尼

醫師座頭道心庵并召仕之下人下女不依何者当

歳子迄不殘宗旨相改申所切支丹宗門之者老人□

無御座候若御法度之宗門之者隱置後日頭候ハハ

其者之儀者不及申上名主組頭村中惣百姓如何様

其者之儀者不及申上名主組頭村中惣百姓如何様

其者之儀者不及申上名主組頭村中惣百姓如何様

其者之儀者不及申上名主組頭村中惣百姓如何様

其者之儀者不及申上名主組頭村中惣百姓如何様

其者之儀者不及申上名主組頭村中惣百姓如何様

曲事三茂可被 仰付候 為後日□□□証し
一札指上申候仍而如件

寛延四年 未

寛延四年 未

高式百九拾石七斗壹升八合 桑原村
豆州田方郡

一、同宗 同寺 且那

曹洞宗 高源寺 且那 權左衛門 五四才

一、同宗 同寺 且那 女房 四十九才

一、同宗 同寺 且那

曹洞宗 高源寺 且那 權左衛門 廿八才

一、同宗 同寺 且那 男子五左衛門

一、同宗 同寺 且那

曹洞宗 高源寺 且那 權左衛門 廿才

一、同宗 同寺 且那 男子加左衛門

一、同宗 同寺 且那

曹洞宗 高源寺 且那 權左衛門 廿才

一、同宗 同寺 且那 女子 さわ 八才

一、同宗 同寺 且那

曹洞宗 高源寺 且那 權左衛門 廿才

是八酒井權兵衛權御知行所田方郡丹那村新右衛門女子二御座候

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那 母くつ

人数合式人内 廿八才

馬壹匹

口十才

一、同宗 同寺 且那

人数合六人内 女三人 男三人 馬壹匹

外

一、女子志げ小笠原土佐守様御領分君沢郡江間村弥左衛門女房二遣申候

一、同宗 同寺 且那

高老石七斗八升

一、曹洞宗 高源寺 且那 忠左衛門

一、同宗 同寺 且那

高老石七斗七升

一、同宗 同寺 且那 女房 廿八才

人数合式人内 廿八才

人数合式人内 男老一人 女老一人

是八小笠原土佐守様御領分田方郡口口村備左衛門妹二御座申候

一、同宗 同寺 且那

高老石壹斗七升

一、曹洞宗 高源寺 且那 次郎左衛門後家

一、同宗 同寺 且那

高老石壹斗七升

一、同宗 同寺 且那 女子 九才

人数合式人内

人数合式人 女

一、曹洞宗 高源寺 且那 高 五升 清七 四十一才

一、同宗 同寺 且那

是八当村定使仕候

一、同宗 相傳 且那

七、女房当未ノ二月病死仕候

一、同宗 同寺 且那

市松

一、同宗 同寺 且那

女子

一、同宗 同寺 且那

母

人数合五人内男式人
女三人

一、同宗 同寺 且那

女房

三十三才

是八当村庄左衛門從弟二御座候

一、同宗 同寺 且那

男子 市松

九才

一、同宗 同寺 且那

女子 たつ

四才

一、同宗 同寺 且那

母 かめ

六十七才

人数合五人内男式人

女三人

一、曹洞宗 高源寺 且那

庄左衛門

五十二才

一、同宗 同寺 且那

男子 市

五才

人数合式人 男

外

一、女房当未ノ二月病死仕候

高式斗五升

一、曹洞宗 高源寺 且那

市兵衛

四十六才

人数合式人

外

一、中房当未ノ二月病死仕候

市兵衛

市松

一、同宗 同寺 且那

市松

一、同宗 同寺 且那 男子 次郎

一、同宗 同寺 且那 弟嫁 さつき

一、同宗 同寺 且那 男子 千太

人数合四人内女一人

一、弟口左衛門当村弥兵衛方へ午ノ暮より未ノ暮迄老年季ニ奉公仕候
一、弟与兵衛当村高源寺へ□□

□□□九升

一、同宗 同寺 且那 仁右衛門 三十九才

一、同宗 同寺 且那 女房 廿四才

一、同宗 同寺 且那 母なる 七十才

人数合三人内女一人

一、同宗 同寺 且那 高四石四合 九右衛門 五十□□

是八当村權左衛門弟ノ婿名跡二□□

一、同宗 同寺 且那

女房

一、同宗 同寺 且那

女子 三十五才

一、同宗 同寺 且那

女房

一、同宗 同寺 且那

父源左衛門 十二才

一、同宗 同寺 且那

父源左衛門 六十四才

一、同宗 同寺 且那

母 六十才

一、同宗 同寺 且那

六十才

一、同宗 同寺 且那

父兵衛 六十才

一、同宗 同寺 且那

父兵衛

是八小笠原□□□領分□□村□兵衛請人二而□午暮より未暮迄

人数合六人内男三人 女三人 馬老正

高六石七斗八升七合

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那

女房 廿九才

一、同宗 同寺 且那

是八当村源左衛門女子二御座候

一、同宗 同寺 且那

女子 廿九才

一、同宗 同寺 且那

女子 十九才

一、同宗 同寺 且那

女子 十九才

一、同宗 同寺 且那

女子 九才

一、同宗 同寺 且那 女子 なか

一、同宗 同寺 且那 母 三才

人数合六人内男老人 女五人

一、曹洞宗 高源寺 且那 高老石七斗五升七合 市右衛門 五十才

一、同宗 同寺 且那 女子新藏 三十一才

一、同宗 同寺 且那 男子新藏 六才

一、同宗 同寺 且那 女子ろく 三才

人数合四人内男式人 女式人

一、曹洞宗 高源寺 且那 高式斗三升三合 三右衛門 三十三才

一、同宗 同寺 且那 女子 三十三才

是八山本平八郎様御代官所田方郡大仁村仁左衛門女子三御座候

一、同宗 同寺 且那 男子 十歳

一、同宗 同寺 且那 父 伊兵衛 六才

一、同宗 同寺 且那 母 はる 六十三才

一、同宗 同寺 且那 伯母 きわ 五十一才

一、同宗 同寺 且那 從弟 喜兵衛 六十九才

人数合七人内男四人 女三人

外

人数合七人内男四人 女三人

一、弟平内当村高源寺へ午ノ暮より未ノ暮迄老年季ニ奉公仕候

一、曹洞宗 高源寺 日那 弥平次後家 六十九才

一、同宗 同寺 日那 女子 四十才

一、同宗 同寺 日那 孫 きよ 廿才

廿才

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那

孫とめ

一、同宗 同寺 且那

妹

人数合五人女

一、同宗同寺 且那 孫とめ 九才
一、同宗同寺 且那 妹かん 五十七才

一、姪子め山本平八郎横御支配所君沢郡御園村瀬兵衛女房三遣中候

外 人数合五人女

一、姪子わ山本平八郎横御支配所新屋村平左衛門方へ午ノ暮より未ノ暮迄老年季ニ奉公仕候

一、姪子め山本平八郎横御支配所新屋村平左衛門方へ午ノ暮より未ノ暮迄老年季ニ奉公仕候

一、曹洞宗 高源寺 且那 高拾式石四斗式升八合 寅右衛門

一、同宗 同寺 且那

女房 四十才

一、同宗 同寺 且那

男子 彦三 三十五才

是ハ当村吉左衛門ノ伯母ニ御座候

一、同宗同寺 且那 男子 彦三 十四才

一、同宗 同寺 且那

女子 かね 八才

一、同宗 同寺 且那

女子 さい 四才

一、同宗 同寺 且那

女子 さい 四才

一、同宗 同寺 且那

弟 藤助

一、同宗 同寺 且那

弟 勘兵衛

一、同宗 同寺 且那

父 喜左衛門

一、同宗 同寺 且那

母 まん

一、同宗 同寺 且那

下男 太郎左衛門

是八当村仁左衛門請人ニ而午ノ暮より口ノ暮迄迄老年季口置

口口寺手形主人方へ取置申口候

人数合拾人内男六人

女四人

馬老正

高老石七斗五升七合

一、曹洞宗 高源寺

且那

加右衛門

一、同宗 同寺

且那

女房

一、同宗 同寺

且那

四十式才

一、同宗 同寺

且那

女子 さく

一、同宗 同寺

且那

女子 さき

十三才

人数合拾人内男六人

馬老正

高老石七斗五升七合

是八当村忠兵衛姝二御座候

一、同宗 同寺 且那

女子 さき

一、同宗 同寺 且那

女子 さく

一、同宗 同寺 且那

女子 さき

一、同宗 同寺 且那

女子 さく

一、同宗 同寺 且那

男子 弥郎

一、同宗 同寺 且那

男子 弥郎 六才

一、同宗 同寺 且那

女子 七才

一、同宗 同寺 且那

女子 七才 三才

人数六人内男式人 女四人

高老斗九升三合

一、曹洞宗 高源寺 且那

六兵衛

一、曹洞宗 高源寺 且那

高老斗九升三合 六兵衛 三十四才

一、同宗 同寺 且那

女房

一、同宗 同寺 且那

女房 三十才

是八鳥部久五郎様御知行所柿木村惣兵衛妹二御座候 二年季二取置寺手形主人方へ取置申候

一、同宗 同寺 且那

女子 十才

一、同宗 同寺 且那

女子 ひな 十才

一、同宗 同寺 且那

女子 三才

一、同宗 同寺 且那

女子 さく 三才

人数合四人内男一人 女三人

高式石四斗壹升九合

一、曹洞宗 高源寺 且那

忠兵衛 五十一才

一、同宗 同寺 且那

女房

一、同宗 同寺 且那

女房

是八〇〇〇〇〇〇〇〇妹二〇〇〇〇

〇〇〇〇〇

一、同宗 同寺 且那 男子 甚八 廿二才

一、同宗 同寺 且那 女子 よね 十四才

一、同宗 同寺 且那 女子 しも 十二才

一、同宗 同寺 且那 女子 まつ 八才

一、同宗 同寺 且那 男子 長五 六才

一、同宗 同寺 且那 女子 す 八才

一、同宗 同寺 且那 弟 久七 三十才

一、同宗 同寺 且那 母 りん 七十二才

人数合拾人内男四人

人数合拾人内男四人
女六人 馬 宅正

一、女子さよ当村右衛門方へ午暮より未ノ暮迄老年季ニ□□

一、曹洞宗 高源寺 且那

高拾口口斗九升七合
左兵衛

一、同宗 同寺 且那

廿七才
女房

是八当村弥兵衛女子二御座候

一、同宗 同寺 且那

女子きち
三才

一、同宗 同寺 且那

弟弥八
十九才

一、同宗 同寺 且那

妹志け
十六才

一、同宗 同寺 且那

母ゆふ
四十七才

一、同宗 同寺 且那

下男喜左衛門

是八当村仁左衛門隣人二而午ノ暮より未ノ暮迄三年季抱置
別寺手形主人方へ預置申候
人数七人内男三人

人数七人内男三人

馬吉正

一、曹洞宗 高源寺

且那

仁左衛門

五十七才

一、同宗 同寺 且那

馬吉正

一、同宗 同寺

且那

喜左衛門

是八当村仁左衛門隣人二而午ノ暮より未ノ暮迄三年季抱置

別寺手形主人方へ預置申候

人数七人内男三人

女四人

馬吉正

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那

人数合四人内男三人

外
一、女子くら当村弥兵衛方へ午ノ暮より未ノ暮迄老年季奉公仕候

一、曹洞宗 長源寺 且那

一、同宗 同寺 且那

女房

是ハ小笠原出雲守權傾分田方郡畑毛村三右衛門妹ニ御座候

一、同宗 同寺 且那

男子太郎兵衛

一、同宗 同寺 且那

男子八藏 六才

人数合四人内男三人

女老入

外二

一、女子くら当村弥兵衛方へ午ノ暮より未ノ暮迄老年季奉公仕候

高四拾八石六斗式升八合

一、曹洞宗 長源寺 且那

弥右衛門

是ハ当村六右衛門男子名跡ニ被成候

廿三才

一、同宗 同寺 且那

女房

是ハ御当地平井村孫左衛門女子ニ御座候

廿一才

一、同宗 同寺 且那

女子ゆく

一、同宗 同寺 且那

父

一、同宗 同寺 且那

七十九才

一、同宗 同寺 且那

母

六十〇〇

一、同宗 長源寺 且那

是八当村忠左衛門請人二而午より未ノ暮迄老年季ニ抱置申候

一、同宗 同寺 且那

是八当村忠左衛門請人二而右同断

一、同宗 寶積寺 且那

是八小笠原土肥守兼御領分江間村六兵衛請人二而午暮より未ノ暮迄老年季抱置即寺手形主人方ニ預置申候

人数合八人内男四人

人数合八人内女四人 馬老正

一、同宗 長源寺 且那

是八山本平八郎様御支配所青木村角左門女子ニ御座候 廿九才

一、同宗 同寺 且那

是八山本平八郎様御支配所青木村角左門女子ニ御座候 廿九才

一、同宗 高源寺 且那 下男 伝 □ 十八才

一、同宗 同寺 且那 下女 さよ 十六才

一、同宗 寶積寺 且那 下男 庄右衛門 廿七才

一、曹洞宗 長源寺 且那 利兵衛 三十四才

一、同宗 同寺 且那 女房 三十四才

一、同宗 同寺 且那 弟 左兵衛 廿九才

一、同宗 同寺 且那 姉 はつ 廿四才

一、同宗 同寺 且那 妹 とみ 三十八才

十□□

一、同宗 同寺 且那

人数六人内男三人 女三人

高五斗三升三合

一、同宗 同寺 且那 □ □ □ □ □ □

一、同宗 同寺 且那

佐右衛門

一、曹洞宗 長源寺 且那 高五斗三升三合 佐右衛門 廿四才

一、同宗 同寺 且那

妹 さん 廿三才

一、同宗 同寺 且那 弟 利八 十四才

一、同宗 同寺 且那

弟 利八 十四才

一、同宗 同寺 且那 弟 茂 八才

一、同宗 同寺 且那

弟 乙 三才

一、同宗 同寺 且那 弟 乙 三才

一、同宗 同寺 且那

母 はな 四十四才

一、同宗 同寺 且那 母 はな 四十四才

一、同宗 同寺 且那

人数合六人内男四人 女二人

外 人数合六人内男四人 女二人

人数合六人内男四人 女二人

一、同宗 同寺 且那

人数合六人内男四人 女二人

一、姉いね大屋空助様御支配所駿州駿東郡江浦村 □□方へ午ノ暮より未ノ暮迄老年季ニ奉公仕候

一、曹洞宗 長源寺 且那

高三拾石三升五合

一、同宗 同寺 且那

彌兵衛

是八当村兄弥左衛門女子二御座候

一、同宗 同寺 且那

女子房

一、同宗 同寺 且那

四十才

一、同宗 同寺 且那

男子弥 三

一、同宗 同寺 且那

十四才

一、同宗 同寺 且那

男子七 藤

一、同宗 同寺 且那

八才

一、同宗 同寺 且那

男子平 次

一、同宗 同寺 且那

四才

一、同宗 同寺 且那

母か つ

一、同宗 同寺 且那

六十九才

一、同宗 同寺 且那

下男与左衛門

一、同宗 同寺 且那

四十六才

一、同宗 同寺 且那

下女く ら

一、同宗 同寺 且那

廿一才

一、曹洞宗 長源寺

且那

高六石七斗九升六合

弥平

三十口

一、同宗 同寺

且那

下女く ら

廿一才

是八当村仁兵衛請人二而右同断
人数合八人内男五人
女三人

是八当村利兵衛請人二而午ノ暮より未ノ暮迄老年季抱置申候

是八当村仁兵衛請人二而右同断

人数合八人内男五人
女三人

一、同宗 同寺 且那

是八秋山重右衛門權御知行所德倉村喜右衛門女子二御座候

一、同宗 同寺 且那

男子 久吉 三才

一、同宗 同寺 且那

父 加兵衛 七十三才

一、同宗 同寺 且那

母 かな 五十九才

人数合五人内男三人 女貳人

高五石老升式合 又四郎 四十三才

一、同宗 同寺 且那

曹洞宗 長源寺 且那 女房

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那 弟孫兵衛 四十二才

是八山本平八郎權御支配所御園村由兵衛女子二御座候三十六才

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那 母才わ 六十九才

一、同宗 同寺 且那

人数合四人内男貳人 女貳人

人数合五人内男三人 女貳人

一、同宗 長源寺 且那

一、同宗 同寺 且那

高式拾九石老斗四口

六右衛門

四十七才

四十二才

十四才

十二才

七才

六十二才

廿八才

左七郎

廿才

市兵衛

一、曹洞宗 長源寺 且那 高式拾九石老斗四口

一、同宗 同寺 且那 六右衛門 四十七才

一、同宗 同寺 且那 女子るい 四十二才

一、同宗 同寺 且那 男子弥助 十四才

一、同宗 同寺 且那 女子まつ 十二才

一、曹洞宗 同寺 且那 女子こふ 七才

一、同宗 同寺 且那 母りん 六十二才

一、同宗 同寺 且那 弟平六 廿八才

一、同宗 同寺 且那 弟左七郎 廿才

是八当村兄弥右衛門女子二御座候

普代下男

市兵衛 四十九才

一、同宗 同寺 且那

普代下女

一、同宗 同寺 且那

市兵衛女房さた
三十三才

一、同宗 同寺 且那

同下女

一、同宗 同寺 且那

同下女 はつ
十五才

一、同宗 同寺 且那

同下男

一、同宗 同寺 且那

同下男 代助
九才

一、同宗 同寺 且那

同下女

一、同宗 同寺 且那

同下女 志め
□□才

一、同宗 同寺 且那

同下男

一、同宗 同寺 且那

同下男 三右衛門
廿五才

一、同宗 同寺 且那

同下女

一、同宗 同寺 且那

同下女 ひな
六十二才

人数合拾六人内男七人 馬老正

人数合拾六人内男七人 馬老正
女九人

外

外

一、男彦左衛門当村弥右衛門名跡二廳成候

一、男彦左衛門当村弥右衛門名跡二廳成候

一、曹洞宗 長源寺 且那

一、曹洞宗 長源寺 且那

高老石老斗九升八合

一、同宗 同寺 且那

彦四郎

彦四郎

一、同宗 同寺 且那

五十九才

一、同宗 同寺 且那

女房□□

女房□□

是八松前八兵衛様御知行所田方郡口田村平左衛門□□□□

毛八松前八兵衛様御知行所田方郡口田村平左衛門□□□□

人数合四人内男三人

高老石六升七合

一、曹洞宗 長源寺 且那

伊右衛門 女房

是八当村平左衛門妹二御座候

高老石式升五合

伊右衛門 女房

一、同宗 同寺 且那

男子 弥 太

一、同宗 同寺 且那

男子 弥 太

一、同宗 同寺 且那

女子 はる

一、同宗 同寺 且那

女子 はる

一、同宗 同寺 且那

男子 文左

一、同宗 同寺 且那

男子 文左

人数合四人内男三人

人数合四人内男三人
女式人

女式人

一、伊右衛門江戸御屋敷様へ御仲間御奉公仕候

一、男子伊兵衛御当領大竹村彦次郎方へ午ノ暮より未ノ暮迄老年季

高老石六升七合

伊左衛門

一、曹洞宗 長源寺 且那

伊左衛門

一、曹洞宗 長源寺 且那

一、同宗 同寺 且那

女子 房

一、同宗 同寺 且那

三十六才

一、同宗 同寺 且那

男子 千松

一、同宗 同寺 且那

男子 千松

□才

一同宗 同寺 且那 女子 七上

一同宗 同寺 且那 男子 十九才

一同宗 同寺 且那 男子 乙松 十七才

一同宗 同寺 且那 女子 乙松 十三才

人数合六人内男三人 女三人

一同宗 長源寺 且那 男子 五十三才

一同宗 同寺 且那 女子 四十七才

一同宗 同寺 且那 男子 庄兵衛 廿二才

一同宗 同寺 且那 男子 源藏 十五才

一同宗 同寺 且那 女子 さよ

是八小笠原出雲守御領分北江間村半右衛門女子二御座候

高三石六斗八升

人数合六人内男三人 女三人

一同宗 同寺 且那 女子 七上

一同宗 同寺 且那 男子 惣次 十九才

一同宗 同寺 且那 男子 乙松 十七才

一同宗 同寺 且那 女子 乙松 十三才

一同宗 長源寺 且那 男子 五十三才

一同宗 同寺 且那 女子 四十七才

一同宗 同寺 且那 男子 庄兵衛 廿二才

一同宗 同寺 且那 男子 源藏 十五才

一同宗 同寺 且那 女子 さよ

一、同宗 同寺 且那

男子清 八

一、同宗 同寺 且那

女子さ 七才

一、同宗 同寺 且那

三才

人数合六人内男三人

一、同宗 同寺 且那

母とら 七十六才

一、同宗 同寺 且那

高式斗七升五合

一、同宗 同寺 且那

喜多

一、同宗 同寺 且那

人数合六人内男三人

人数合三人内男一人 女一人

一、同宗 同寺 且那

女子かめ 十六才

外

男子喜左衛門当村彦右衛門方へ午ノ暮より未ノ暮迄老年季

二奉公仕候

一、曹洞宗 長源寺 且那

高老石七斗壹升九合

是八当村大行院伯父婿名跡ニ罷成候

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那

人数合人 男式人 女式人

外
女子たね大久保直之丞様御領分君沢郡北沢村伝八方へ
午ノ暮より未ノ暮迄老年季ニ奉公仕候

一、同宗 同寺 且那

人数合人女

外
女子さつき山本平八郎様御支配所君沢郡長伏村
市郎右衛門方へ午ノ暮より未ノ暮迄老年季ニ奉公仕候

一、同宗 同寺 且那

人数合人

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那

□ □

一、同宗 同寺 且那

女子もめい

一、同宗 同寺 且那

男子八十

三才

人数合四人 男式人

女式人

外

一、女子たね大久保直之丞様御領分君沢郡北沢村伝八方へ
午ノ暮より未ノ暮迄老年季ニ奉公仕候

一、曹洞宗 長源寺 且那

高六升七合

三郎兵衛後家

六十才

人数合老人女

外
一、女子さつき山本平八郎様御支配所君沢郡長伏村

市郎右衛門方へ午ノ暮より未ノ暮迄老年季ニ奉公仕候

高五升八合

一、曹洞宗 長源寺 且那

彦兵衛

四十六才

一、同宗 同寺 且那

父 太兵衛

□ □ □ □

一、同宗 同寺 且那

人数合三人内男貳人
女一人

高八斗八升三合

一、曹洞宗 長源寺 且那

一、同宗 同寺 且那

是八六久保直之丞様御領分中嶋村惣兵衛女子二御座候

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那

人数合四人内男貳人
女貳人

外

一、男子九兵衛山本平八郎様御支配所玉川村丈八方へ午ノ暮より
未ノ暮迄老年季ニ奉公仕候

一、男子甚兵衛秋山重右衛門様御知行所安久村与惣次方へ
午ノ暮より未ノ暮迄右同断

一、男子甚兵衛秋山重右衛門様御知行所安久村与惣次方へ
午ノ暮より未ノ暮迄右同断

一、曹洞宗 長源寺 且那

一、同宗 同寺 且那

母 かね

人数合三人内男貳人
女一人

女一人

一、曹洞宗 長源寺 且那

高八斗八升三合

長右衛門

一、同宗 同寺 且那

女 房

六十一才

一、同宗 同寺 且那

女子

五十七才

一、同宗 同寺 且那

男子三之助

十七才

人数四人内男貳人
女貳人

外

一、男子九兵衛山本平八郎様御支配所玉川村丈八方へ午ノ暮より
未ノ暮迄老年季ニ奉公仕候

一、男子甚兵衛秋山重右衛門様御知行所安久村与惣次方へ
午ノ暮より未ノ暮迄右同断

一、曹洞宗 長源寺 且那

高九斗老合

次左衛門

一 同宗 同寺 且那

是は大久保直之丞様御領分中嶋村金左衛門女子二御座候

一 同宗 同寺 且那

男子 孫

人数合三人内男式人

外

一 男子竹松去年十二月病死仕候

男子在甲外外候

一 曹洞宗 長源寺 且那

高老石六斗老升五合

一 同宗 同寺 且那

次郎兵衛

是八山本平八郎様御支配所君沢郡平田村伝兵衛妹二御座候

一 同宗 同寺 且那

男子 千松

一 同宗 同寺 且那

男子 清勝

一 同宗 同寺 且那

女子 清勝

一 同宗 同寺 且那

女子 清勝

一、同宗 同寺 且那 女房 廿七才

是は大久保直之丞様御領分中嶋村金左衛門女子二御座候

一、同宗 同寺 且那 男子孫 七 八才

人数合三人内男式人 女老人

外

一、男子竹松去年十二月病死仕候

高老石六斗老升五合

一、曹洞宗 長源寺 且那 次郎兵衛 五十一才

一、同宗 同寺 且那 女房 四十八才

一、同宗 同寺 且那 男子 千松 十九才

一、同宗 同寺 且那 男子 清勝 十六才

一、同宗 同寺 且那 女子 清勝 十三才

一、同宗 同寺 且那 女子 清勝 三才

人数合六人内男三人
女三人

一、曹洞宗 長源寺 且那

高九斗式升三合

一、曹洞宗 長源寺 且那

次兵衛 六十九才

一、同宗 同寺 且那

女房 五十七才

一、同宗 同寺 且那

是八田方郡柏谷村徳左衛門女子二御座候 五十七才

一、同宗 同寺 且那

妹つ ま 五十九才

一、同宗 同寺 且那

妹つ ま 五十九才

人数合三人内女貳人

人数合三人内女貳人

男壹人

外

伯父藤左衛門去午ノ五月病氏仕候

一、伯父藤左衛門去午ノ五月病氏仕候

高式石七斗七升式合

一、曹洞宗 長源寺 且那

忠右衛門 四十六才

一、曹洞宗 長源寺 且那

忠右衛門 四十六才

一、同宗 同寺 且那

女房 三十四才

一、同宗 同寺 且那

是八当村彦兵衛妹二御座候 女子 八才

一、同宗 同寺 且那

女子 六才

一、同宗 同寺 且那

女子 六才

一、同宗 同寺 且那

女子 六才

一、同宗 同寺 且那

人数合五人内男老人
女四人

高六斗八升四合



一、同宗 同寺 且那

人数合五人内男老人
女四人

高六斗八升四合

□ □ □ □

一、同宗 同寺 且那

彦右衛門
六十五才

一、曹洞宗 長源寺 且那

彦右衛門
六十五才

一、同宗 同寺 且那

女房
五十四才

一、同宗 同寺 且那

女房
五十四才

一、同宗 同寺 且那

嫁 なつ
廿八才

一、同宗 同寺 且那

人数合三人内男老人
女式人

人数合三人内男老人
女式人

人数合三人内男老人
女式人

一、男子甚左衛門山本平八郎様御支配所君沢郡谷田村
忠次郎方へ午ノ暮より未ノ暮迄老年季ニ奉公仕候

一、曹洞宗 長源寺 且那

高五斗老升老合

一、曹洞宗 長源寺 且那

勘兵衛
廿五才

一、同宗 同寺 且那

勘兵衛
廿五才

一、同宗 同寺 且那

女房
廿才

一、同宗 同寺 且那

男子
六才

一、同宗 同寺 且那

男子 徳
六才

一、同宗 同寺 且那

男子
六才

一、同宗 同寺 且那

父 〇 〇

七十三才

一、同宗 同寺 且那

母 〇 〇

五十八才

人数合五人内男三人
女二人

人数合五人内男三人
女二人

外

外

一、弟与左衛門御当領奈古谷村八左衛門方へ午ノ暮より未ノ暮迄
老年季ニ奉公仕候

一、弟与左衛門御当領奈古谷村八左衛門方へ午ノ暮より未ノ暮迄
老年季ニ奉公仕候

一、曹洞宗 長源寺 且那

一、曹洞宗 長源寺 且那

勘右衛門

四十七才

一、同宗 同寺 且那

女房

一、同宗 同寺 且那

〇 〇 〇 〇 〇 〇

一、同宗 同寺 且那

女房

一、同宗 同寺 且那

女房

是八山本平八郎様御支配所御門村長右衛門妹ニ御座候四十三才

是八山本平八郎様御支配所御門村長右衛門妹ニ御座候四十三才

人数式人内男壹人
女壹人

人数式人内男壹人
女壹人

高拾五石卷斗九合

高拾五石卷斗九合

一、曹洞宗 長源寺 且那

一、曹洞宗 長源寺 且那

安左衛門

六十一才

是八山本平八郎様御支配所御門村長右衛門妹ニ御座候四十三才

是八山本平八郎様御支配所御門村長右衛門妹ニ御座候四十三才

一、同宗 同寺 且那

女房

一、同宗 同寺 且那

女房

五十二才

一、同宗 同寺 且那

男子仙

一、同宗 同寺 且那

男子仙

廿才

一 同宗 同寺 且那

安兵衛

下女 五

下女 七

下男 一

馬老正

且那

一、同宗 同寺 且那 甥 安兵衛

一、同宗 同寺 且那 下女 五

一、同宗 高源寺 且那 下女 七

一、同宗 同寺 且那 下男 一 惣右衛門

一、曹洞宗 長源寺 且那 喜左衛門 母 六十四才

人数合七人内男四人 女三人 馬老正

人数合老人女

外 一、玉沢村次左衛門方へ午ノ暮より未ノ暮迄老年季ニ奉公仕候
一、妹なつ山本平八郎様御支配所田方郡上沢村七右衛門方へ
午ノ暮より未ノ暮迄右同断

一、曹洞宗 宗源寺 且那 高老石老升九合

□□□□□

一、同宗 同寺 且那

是八山本平八郎様御支配所田方郡江間村治助妹三御座候

一、同宗 同寺 且那

女子 九才

一、同宗 同寺 且那

女子 十四才

一、同宗 同寺 且那

男子 万三才

一、同宗 同寺 且那

母 七十七才

人数合六人内男式人 女四人

一、曹洞宗 宗源寺 且那

作左衛門 四十四才

一、同宗 同寺 且那

女 房 三十二才

是八山本平八郎様御支配所君沢那梅名村宗七妹二御座候

一、同宗 同寺 且那

男子 八才

一、同宗 同寺 且那

女子 八才

一、同宗 同寺 且那 □ □ 三十七才

一、同宗 同寺 且那 女子 九才

一、同宗 同寺 且那 女子 十四才

一、同宗 同寺 且那 男子 万三才

一、同宗 同寺 且那 母 七十七才

人数合六人内男式人 女四人

高四斗四升壹合

一、曹洞宗 宗源寺 且那 作左衛門 四十四才

一、同宗 同寺 且那 女 房 三十二才

一、同宗 同寺 且那 男子 八才

一、同宗 同寺 且那 女子 八才

□ □

人数合五人内男四人

高老石卷斗七合

一、曹洞宗 宗源寺 旦那

高老石卷斗七合

一、曹洞宗 宗源寺 旦那

高老石卷斗七合

一、同宗 同寺 旦那

高老石卷斗七合

一、同宗 同寺 旦那

六十二才

是八島井久五郎様御知行所柿木村惣兵衛妹二御座候

一、同宗 同寺 旦那

男子 吉郎兵衛

一、同宗 同寺 旦那

男子 吉郎兵衛

一、同宗 同寺 旦那

男子 五左衛門

一、同宗 同寺 旦那

男子 五左衛門

一、同宗 同寺 旦那

男子 宇兵衛

一、同宗 同宗 旦那

男子 宇兵衛

人数合五人内男四人

馬老正

人数合五人内男四人

女老人

馬老正

外

一、惣忠兵衛御当領大竹村与左衛門方へ午より未ノ暮迄老年季奉公仕候

高武斗九升

一、曹洞宗 宗源寺 旦那

高武斗九升

半左衛門

一、同宗 同寺 旦那

高老石卷斗七合

一、同宗 同寺 旦那

女 房

一、同宗 同寺 旦那

高老石卷斗七合

是八山本平八郎様御支配所君沢郡北川村□□□□□□□□□□

是八山本平八郎様御支配所君沢郡北川村□□□□□□□□□□

一、同宗 同寺 且那 男子 勘兵衛 廿一才

一、同宗 同寺 且那 男子 庵松 十七才

一、同宗 同寺 且那 女子 つき 十四才

一、同宗 同寺 且那 女子 ろく 八才

一、同宗 同寺 且那 男子 乙松 三才

一、同宗 同寺 且那 母 まん 六十二才

人数合八人内男四人 女老人 馬老 疋

一、曹洞宗 宗源寺 且那 高拾老石四斗三升五合 七左衛門 廿五才

一、同宗 同寺 且那 女房 十七才

一、同宗 同寺 且那 母 つま 〇〇八才

一、同宗 同寺 且那 男子 勘兵衛 廿一才
一、同宗 同寺 且那 男子 庵松 十七才
一、同宗 同寺 且那 女子 つき 十四才
一、同宗 同寺 且那 女子 ろく 八才
一、同宗 同寺 且那 男子 乙松 三才
一、同宗 同寺 且那 母 まん 六十二才

人数合八人内男四人

一、曹洞宗 宗源寺 且那 高拾老石四斗三升五合 七左衛門 廿五才
一、同宗 同寺 且那 女房 十七才
一、同宗 同寺 且那 母 つま 〇〇八才

人数合三人内男老人
也即人

一、同宗 宗源寺 且那

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那

一、同宗 同寺 且那

高老石三斗五升式合

長三郎
六十四才

一、曹洞宗 宗源寺 且那

長三郎
六十四才

女房

四十一才

是八小出蓋太郎様御知行所君沢郡塚本村彦兵衛女子二御座候

一、同宗 同寺 且那

男子仲右衛門
廿四才

一、同宗 同寺 且那

男子文藏
□□才

落籍

落籍

人数合三人内男老人

女式人

高老石三斗五升式合

長三郎

六十四才

女房

四十一才

一、同宗 同寺 且那

且那

女房

四十一才

一、同宗 同寺 且那

且那

男子仲右衛門

廿四才

一、同宗 同寺 且那

且那

男子文藏

□□才

嘉祿

豆州田方郡

小田原御領分諸色覚

之
嘉祿

桑原村

天明五年

豆州田方郡

小田原御領分諸色覚

巳之十二月より

桑原村

龜山御引渡御役人

郡奉行 関小左衛門

手代松尾佐久太

御代官 美浦宗右衛門

手代石橋久右衛門

次藤 松助

森田 源藏

正月廿六日

一、午二月巳御年貢米御改

梅名村塚部仁右衛門

日守村竹井 十藏

桑原村村山 郡藏

右御三人正月廿六日晚桑原泊り

午宗門御改御役人

大久保将監

供式人

大久保将監

大久保将監

右三小口
馬老正
七持式棹
合羽籠

村山惠八

脇山勝左衛門

右駕籠 二挺

帳箱 式荷
馬 老正

竹花組

小松榮藏
野村龍藏

稻荷組
野田庄藏

山角町
井出伴藏

表組
江川勝藏

脇山勝左衛門

右六人 宗門帳御内改

午四月九日先改

田京村

十日寺院改

田方郡七ヶ村御改

九人馬式正上沢道 桑原

七人 老正田京道 大竹

四人 老人同断 上沢

御昼休

右三小口

馬老正

長持式棹

合羽籠

村山惠八

脇山勝左衛門

右駕籠 二挺

帳箱 式荷

馬 老正

竹花組

小松榮藏

稻荷組

野村龍藏

山角町

井出伴藏

表組

江川勝藏

脇山勝左衛門

脇山勝左衛門

右六人 宗門帳御内改

午四月九日先改

田京村

十日寺院改

田方郡七ヶ村御改

九人馬式正上沢道 桑原

七人 老正田京道 大竹

四人 老人同断 上沢

御昼休

村々御見分
 乗物老挺
 合羽籠
 狭箱二荷
 一、駕籠
 狭箱
 御手代
 石橋久右衛門
 一、右ふせん籠 佐藤久五右衛門
 狭箱
 倉加野見組
 次藤仁助
 坂部礼組竹井十蔵
 森田源蔵
 外帳箱片々
 右人足 七人 大竹村三而出
 上沢迄 九人 桑原村 出
 御先触三馬二疋不参

午四月廿四日泊

村々御見分

乗物老挺

関小左衛門

合羽籠

狭箱二荷

供 式人

一、駕籠

美浦宗右衛門

狭箱

供 老人

御手代

石橋久右衛門

一、右ふせん籠 佐藤久五右衛門

狭箱

倉加野見組

次藤仁助

坂部礼組竹井十蔵

森田源蔵

外帳箱片々

右人足 七人 大竹村三而出

上沢迄 九人 桑原村 出

御先触三馬二疋不参

天明五年
寛政乙巳秋耕地切書上帳

天明五年
寛政乙巳秋耕地切書上帳
亥三 九月 何村

是

高何百何拾何石

反別合何町何反何畝歩

此誤

田方何町何反何畝歩

上田六町老反九背拾六歩

内

武畝七歩 年々堰代砂埋

六畝廿式歩当分畑作上畑取

残六町老反拾七歩

内

老町式反歩上毛八合四勺より八合七勺迄

老町七反五畝五歩中毛七合九勺より八合式勺迄

三町老反五畝拾式歩御横見田

中田三町式畝拾八歩

内

七畝式歩 年々土手溝川成砂埋所

六畝廿式歩去ル已開設畑作付立

四畝式歩 去亥砂流田作去辰御取付

式反拾五当分畑作上畑取

残老町六反四畝拾七步

⑩

中毛七合七勺より七合九勺迄

上毛七合三勺より七合五勺迄

下田老町三反式畝拾五步

下田老町三反式畝拾五步

⑩

中毛七合三勺より七合五勺迄

上毛七合三勺より七合五勺迄

下田老町三反式畝拾五步

下田老町三反式畝拾五步

⑩

中毛七合三勺より七合五勺迄

上毛七合三勺より七合五勺迄

中烟老町式反八畝九步

⑩

寅川成宝永四亥砂埋

残老町式反八畝九步

下田老町九畝拾壹步

⑩

寅川成宝永四亥砂埋

拾四步

残老町五畝廿式步

と烟五畝廿六步

残老町六反四畝拾七步

内

五反式畝步 上毛七合七勺より七合九勺迄

六反七畝廿九步中毛七合三四勺より七合五六勺迄

老町四反四畝拾八步御損見田

下田老町三反式畝拾五步

内

三畝拾九步 年々堰手溝代引

式畝式步 年々川欠砂埋引

老反拾式步 当分畑作中畑取

残老町老反七畝廿式步

内

五反七畝廿式步上毛六合五六勺より六合六合七勺迄

六反步 中毛六合より六合三四勺迄

中烟老町式反八畝九步

内

老畝八步 寅川成宝永四亥砂埋

残老町式反八畝九步 起砂

下田老町九畝拾壹步

内

三畝五步 年々道士手代起砂引

拾四步 宝永四年西屋敷成

残老町五畝廿式步 と烟五畝廿六步

内

寛政亥二残五畝廿壹歩

屋敷六反三畝七歩

一、高六升四合

反別式畝拾歩

下々畑老畝歩

下々畑式畝式歩年々新田卯より見取

下々畑拾八歩 正徳元卯より川成

年々新田宝永四年亥

右之通当立毛名主組惣百姓
立合毛付仕書上申候通少茂
相違無御座候以上

天明五年 何村

名主誰 与頭誰

郡御奉行所様

被仰奉行所様

右分 宝永元申より下々田成

寛政亥二残五畝廿壹歩

屋敷六反三畝七歩

内 五畝歩 名主被下置

残 五反八畝七歩

一、高六升四合

反別式畝拾歩

内 下々畑老畝歩

下々畑式畝式歩年々新田卯より見取

下々畑拾八歩 正徳元卯より川成

年々新田宝永四年亥

砂埋

右之通当立毛名主組惣百姓
立合毛付仕書上申候通少茂
相違無御座候以上

天明五年

何村

巳九月

名主誰

与頭誰

郡御奉行所様

覚

一、米壹石貳斗八升八合

一、米九斗六升六合

一、同三石貳斗貳升壹合

一、米何石何斗何程

一、此儀 与斗

一、右者何村遠方を足繼相勤候

一、二付為御手当前書御米年々被下置去年分難有

一、奉請取候処実正二御座候為

一、後日仍而如件 何村

一、天明七丁未年正月 名主印

一、与頭印

一、百姓代印

一、飯田富左衛門様

一、三好岸右衛門様 (張り紙) 寛政三 三木代右衛門様

一、吉田 彦 助様

一、松崎常左衛門様

覚

一、米壹石貳斗八升八合 桑原村

一、米九斗六升六合 大仁村

一、同三石貳斗貳升壹合 門野原村

一、米何石何斗何程

一、此儀 与斗

一、右者何村遠方を足繼相勤候

一、二付為御手当前書御米年々被下置去年分難有

一、奉請取候処実正二御座候為

一、後日仍而如件 何村

一、天明七丁未年正月 名主印

一、与頭印

一、百姓代印

一、飯田富左衛門様

一、三好岸右衛門様 (張り紙) 寛政三 三木代右衛門様

一、吉田 彦 助様

一、松崎常左衛門様

一、此所より白紙四五寸有之度く

一、追而申合早々差上可申候以上

一、両立紙二而紐

申す所の如き様にて候し

一、高百四拾五石三斗五升九合

日取

上高百四拾五石三斗五升九合

日取及心也此下

沙所及反也此下

中田町七反八畝拾七步

内四畝步郷藏敷道代引

七畝拾九步前々川欠山崩石砂入実地引

残式町六反六畝廿八步田作仕付

下田式町五反式畝廿三歩

内四歩半 前溝代引

老反老畝四歩前川欠山崩石砂入荒地

残式町四反老畝拾四歩田作仕付

上畑老町三反八畝拾三歩畑作仕付

中畑九反五畝拾九歩 畑作仕付

下畑老町四反廿六歩 畑作仕付

外

申

伊豆国田方郡桑原村田畑書上帳

未 六月

中 八寸二而兩立帳二相認可申候

一、高百四拾五石三斗五升九合

内訳

上田四町老反三畝廿式歩

内老反八畝廿八歩

前々川欠山崩石砂入荒地引

残三町九反四廿四歩田作仕付

中田式町七反八畝拾七歩

内四畝步郷藏敷道代引

七畝拾九歩前々川欠山崩石砂入実地引

残式町六反六畝廿八歩田作仕付

下田式町五反式畝廿三歩

内四歩半 前溝代引

老反老畝四歩前川欠山崩石砂入荒地

残式町四反老畝拾四歩田作仕付

上畑老町三反八畝拾三歩畑作仕付

中畑九反五畝拾九歩 畑作仕付

下畑老町四反廿六歩 畑作仕付

外

三斗四升七合五勺

付任

高七斗四升七合五勺

下畑七畝廿六步

右之通当未年田畑仕付

反別奉書上候通少も相違

無御座候以上

天明七年

未六月

伊豆国田方郡

桑原村

藤左衛門

弥兵衛

小関藤兵衛様

美浦宗右衛門様

御頼政 作方御役所へ納

即宛名

作方御役所様

一、高七斗四升七合五勺

此訳

下畑壹反四畝廿八步

下畑七畝廿六步

田作仕付

畑作仕付

右之通当未年田畑仕付

反別奉書上候通少も相違

無御座候以上

天明七年

未六月

伊豆国田方郡

桑原村

藤左衛門

弥兵衛

小関藤兵衛様

美浦宗右衛門様

御頼政 作方御役所へ納

即宛名

作方御役所様

宝曆三年

刘敷山生木潰帳

癸酉二月

宝曆三年

刘敷山生木潰帳

癸酉二月

光

水久保山より谷戸山迄

利兵衛

大竹

太郎右衛門

弥兵衛

定右衛門

弥三右衛門

市右衛門

彦四郎

与左衛門

長三郎

廣右衛門

覚

水久保山より谷戸山迄

利兵衛

大竹

太郎右衛門

弥右衛門

弥兵衛

定右衛門

弥三右衛門

市右衛門

彦四郎

大竹

与左衛門

長三郎

廣右衛門

大竹

定右衛門

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

大竹

傳左衛門

忠右衛門

平七

舟山

平右衛門

七右衛門

舟山

忠右衛門

定右衛門

茂兵衛

六右衛門

松本

吉右衛門

吉右衛門

大竹

一、下冷川

中道

傳左衛門

忠右衛門

平七

舟山

平右衛門

七右衛門

舟山

忠右衛門

定右衛門

茂兵衛

六右衛門

松本

吉右衛門

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

大久保 弥右衛門

山神脇 安左衛門

入谷 久右衛門

瀧之前 忠右衛門

竹之後 弥左衛門

大久保 弥右衛門 印

山神脇 安左衛門 印

入谷 久右衛門 印

瀧之前 忠右衛門 印

竹之後 弥左衛門

右刈敷山之儀、ぞう
 木生出ニ罷成、猪
 鹿はつこう仕候ニ付
 村中之惣百姓相談
 之上、右生木□□
 きり取申はづ
 相定申候間、立合
 けんぶん致候上
 不残切取可申候 若
 いなや申者御座候
 村中^ニ切取可申候 依而山
 主印形仕候 以上

右刈敷山之儀、ぞう
 木生出ニ罷成、猪
 鹿はつこう仕候ニ付
 村中之惣百姓相談
 之上、右生木□□
 きり取申はづ
 相定申候間、立合
 けんぶん致候上
 不残切取可申候 若
 いなや申者御座候
 村中^ニ切取可申候 依而山
 主印形仕候 以上

芝原元丑年

山論一件控

中村弥兵衛

慶応元丑年

山論一件控

中村弥兵衛

山手年貢札差

一、馬札 壹枚二付 本米貳斗也

一、步行 壹枚二付 本米七升也

此延壹貳壹可掛

山手札 間宮村

一、馬札 三枚

一、步行 五枚

山手年貢札差

一、馬札 壹枚二付 本米貳斗也

一、步行 壹枚二付 本米七升也

此延壹貳壹可掛

山手札 間宮村

一、步行札 五枚

一、馬札 三枚

此延壹貳壹

此米壹石壹斗五升

免許
 一、馬札
 免許
 一、步行札
 式口 札拾六枚

中島村

免許
 一、馬札
 同断
 一、步行札
 一、秣場
 火の番札
 山手札
 一、步行札
 米式斗八升

中島村

免許
 一、馬札
 免許
 一、步行札
 山手
 一、步行札
 拾七枚
 山手
 米四斗式升

山手御年貢納

安久村

免許
 一、馬札
 免許
 一、步行札
 山手
 一、步行札
 拾七枚
 山手
 米四斗式升

安久村

免許
 一、馬札
 免許
 一、步行札
 山手
 一、步行札
 拾七枚
 山手
 米四斗式升

納

免許
 一、馬札
 免許
 一、步行札
 山手
 一、步行札
 拾七枚
 山手
 米四斗式升

納

一、^{山札}馬札 貳枚 肥田村

一、^{山札}馬札 貳枚

一、^{山札}馬札 貳枚

一、^{山札}馬札 貳枚

米五斗貳升 納

一、^{山札}馬札 貳枚 梅名村

一、^{山札}馬札 貳枚

一、^{山札}馬札 貳枚

一、^{山札}馬札 貳枚

一、^{山札}馬札 貳枚

一、^{山札}馬札 貳枚

米六斗九升

塚本村

一、^{山札}馬札 貳枚

一、^{山札}馬札 貳枚

一、^{山札}馬札 貳枚

一、^{山札}馬札 貳枚

米六斗貳升 納

免許 肥田村

一、馬札 貳枚

一、步行札 貳枚

一、馬札 貳枚

一、馬札 貳枚

米五斗貳升 納

一、馬札 貳枚 梅名村

一、步行札 六枚

免許 外壹枚可有

一、馬札 三枚

同断

一、步行札 壹枚

一、馬札 壹枚

一、馬札 壹枚

一、拾壹枚

米六斗九升

塚本村

免許 三枚

一、馬札 貳枚

一、馬札 貳枚

一、馬札 貳枚

一、步行札 五枚

一、拾壹枚

米六斗貳升

納

山手
一、馬札
二枚
長伏村

免許
一、馬札
三枚

免許
一、馬札
三枚
米壹斗四升
納

免許
一、馬札
三枚
長伏村

免許
一、馬札
三枚

免許
一、馬札
三枚

免許
一、馬札
六枚
納

免許
一、馬札
六枚
大場村

免許
一、馬札
三枚

免許
一、馬札
三枚

免許
一、馬札
三枚
納

山手
一、步行札
二枚
下松本村

免許
一、馬札
壹枚

免許
一、馬札
三枚
米壹斗四升
納

免許
一、馬札
三枚
長伏村

免許
一、馬札
壹枚

免許
一、馬札
六枚
納

免許
一、馬札
六枚
大場村

免許
一、馬札
壹枚

免許
一、馬札
五枚
米三斗五升
納

免許
一、馬札
三枚
日守村

山手札
一、馬札
三枚

一、馬札
二枚
納

一、馬札
二枚
江間村

火之番札
三枚

一、馬札
三枚
南
江間村

一、馬札
二枚

火番札
二枚

歩行札
一枚

一、馬札
七枚
上沢村

古札
四枚

拾五枚

馬札
一枚

日守村

三枚

山手札

三枚

一、馬札

二枚

納

北
江間村

一、馬札

火之番札

二枚

三枚

南
江間村

一、馬札

三枚

一、馬札

二枚

一、火番札

五枚

二枚

一、歩行札

四枚

上沢村

一、馬札

七枚

一、古札

四枚

拾五枚

馬札

一枚

御園村

一、馬札 四枚

一、山手 五枚
介三枚流仕候

一、歩行札 三枚

一、同 三枚
山手米請取書

免許 御園村

一、馬札 四枚

一、山手 壹枚

外 壹枚流仕候

一、歩行札 三枚

米五斗四升

右村之義者文化八末年江川太郎左衛門様より御引渡し候
 節山手御年貢之義も上納物之内へ御書かへ御引渡し
 相成候間夫より地頭納ニ相成候

上松本村

一、馬札 三枚

一、歩行札 三枚
山手請取米 三枚

中島村

一、馬札 五枚

一、歩行札 六枚
内貳枚免許

一、古札 四枚
馬札□□□

一、同 三枚
取更り

一、馬札 三枚
 一、歩行札 三枚
 一、同 三枚
 一、山手米請取書 三枚

上松本村

おのり香川之邊に御運上山廿五ヶ村入会株
場境界等一円相弁居不申候義ニ付乍恐
此段奉申上候以上

慶應元丑年
豆州君澤郡中島村
伊達信濃

御役人中様

御尋ニ付乍恐以書付奉申上候

大久保出雲守領分豆州田方郡肥田村名主新右衛門
并ニ拾七ヶ村惣代桑原村名主三郎右衛門外五人
奉申上候安政四巳年十一月中山論一件前
肥田村百姓万助義前々より入会致来候字松
峯^ニ鹿朶苜取居候處祖山来被咎メ候故
是迄入会致参り場所^ニ差構へく謂れ無候段
致返答致候得共祖山強情申募リ若者差押
高源寺江引連行縁記可為申聞為詫方便品
能申募り村方へ可及沙汰候段被申開驚入
愚昧之万助無拋高源寺住居平左衛門頼^ミ入一旦村方へ
引取近所者詫入候処山内作法与申木苗千本
植付三ヶ年耕作可致趣被申開十分ニ昏候處
立入人取計べく金壹両式分差出し内濟仕候
全躰万助義極実正直之者故心外至極ニ存候
耕作も不致十二月中旬頃より乱心ニ相成無程親類

御役人中様
御尋ニ付乍恐以書付奉申上候
大久保出雲守領分豆州田方郡肥田村名主新右衛門
并ニ拾七ヶ村惣代桑原村名主三郎右衛門外五人
奉申上候安政四巳年十一月中山論一件前
肥田村百姓万助義前々より入会致来候字松
峯^ニ鹿朶苜取居候處祖山来被咎メ候故
是迄入会致参り場所^ニ差構へく謂れ無候段
致返答致候得共祖山強情申募リ若者差押
高源寺江引連行縁記可為申聞為詫方便品
能申募り村方へ可及沙汰候段被申開驚入
愚昧之万助無拋高源寺住居平左衛門頼^ミ入一旦村方へ
引取近所者詫入候処山内作法与申木苗千本
植付三ヶ年耕作可致趣被申開十分ニ昏候處
立入人取計べく金壹両式分差出し内濟仕候
全躰万助義極実正直之者故心外至極ニ存候
耕作も不致十二月中旬頃より乱心ニ相成無程親類

本行に在りて本年七月下旬より

病氣次第重く同年十一月三日死去仕右次第村役人

共承りおよび驚入近所組合之者呼出し取調候処

相違無之趣愚昧之者共村役人江も内々ニ而

取濟候次第承り候得共過去候事ゆへ其俣致し

村役人共是迄之手続一札取候間書面候相濟候

奉差上候御尋ニ付乍恐以書付奉申上候以上

豆州田方郡肥田村

名主

新右衛門

慶応元丑年

六月十三日

拾七ヶ村惣代

三郎右衛門

権左衛門

弥兵衛

繁右衛門

源藏

万右衛門

清公令称

扱取替し證文之事

一番度心右布清運上山道筋之義ニ付及

清公儀

御公儀江御訴詔申上候処立会絵図被為

仰付此間双方登山仕吟味ニ取懸申候然所ヲ

四日町七左衛門古奈村佐四郎仁田村覚右衛門右

三人何とそ取扱内證ニ而相濟し申度由双方江

被申聞候趣勘弁之上致心得取扱ニ而相濟申候

大津目録仕記

一、御運上山并ニ廿五ヶ村入会山境之義ハ先年從
御公儀様廿五ヶ村入会ニ御極被下候御繪
図之通皆相守可申候事

一、取扱之義者野火番為給米と三斗七升入
五俵宛毎年無滞永々指出し可申候為替り
秣札拾枚請取之申候然ル上者廿五ヶ村入会
山各々様御一所ニ秣苻可申候尤札なく馬一切
申間敷候此上は諸事相談づくニ而永々廿五ヶ村
并ニ入会秣苻可申候事

一、御運上札并ニ御免札步行札共ニ御役所江
御願申上勝手次第可仕候事

一、当卯年より野火番給米指出し候取扱ニ而此度拙
者共村方山入仕候然上者此以後村々より山入之義
申入候共拙者は各々方御一同諸事申合一切入レ
不申様ニ御相談可申事

一、火の番給米相滞申候ハ、入会秣山之義者
勿論御運上山ニ此道筋相通し申間敷候事

右の通り取扱之筋承届ケ致得心内
證ニ而相濟申候上者自今以後相定候通
少も異変申間敷候為後日取替證文致印形

一、御運上山并ニ廿五ヶ村入会山境之義ハ先年從
御公儀様廿五ヶ村入会ニ御極被下候御繪
図之通皆相守可申候事

一、取扱之義者野火番為給米と三斗七升入
五俵宛毎年無滞永々指出し可申候為替り
秣札拾枚請取之申候然ル上者廿五ヶ村入会
山各々様御一所ニ秣苻可申候尤札なく馬一切
申間敷候此上は諸事相談づくニ而永々廿五ヶ村
并ニ入会秣苻可申候事

一、御運上札并ニ御免札步行札共ニ御役所江
御願申上勝手次第可仕候事

招人加判仍舊如件

享保二十年
卯十一月

北江間村

名主 半七

半右衛門

南江間村

名主 兵部

同 平藏

仁田村

同 皆右衛門

四日町

名主 覺右衛門

古奈村

名主 七左衛門

佐四郎

田方式拾式ケ村

田方式拾式ケ村

惣代

中島村

名主 半左衛門殿

大場村

名主 次郎兵衛殿

梅名村

同 半藏殿

安久村

同 与兵衛殿

堀之内村

同 七左衛門殿

谷田村

同 半右衛門殿

中島村
大場村
梅名村
安久村
堀之内村
谷田村

北江間村
南江間村
仁田村
四日町
古奈村
佐四郎

二月廿五日 塩野佐五郎

桑原村に御呼出し有之候處其節写置候

及恐以書付奉申上候

一、高村方之義者箱根山秣場廿五ヶ村入会

村々被罷候處文化八未年

江川太郎左衛門様葦山御役所より当地頭所江

御引渡之砌御物成江相籠り御渡し候相成候趣

ヲ以御割付面々有之候通り山手御年貢米

五斗四升宛年々御收納米一同地頭所江

相納来り候山手札等も葦山御役所より御渡し

ニ相成候間今般御見分被為在候得共往古より

入会仕来り候御義ニ御座候間此段乍恐以書付

奉申上候以上

一、六月十二日晴天 塩野佐五右衛門

桑原村江御呼出し有之候處其節写置候

乍恐以書付奉申上候

一、当村方之義者箱根山秣場廿五ヶ村入会

村々被罷候處文化八未年

江川太郎左衛門様葦山御役所より当地頭所江

御引渡之砌御物成江相籠り御渡し候相成候趣

ヲ以御割付面々有之候通り山手御年貢米

五斗四升宛年々御收納米一同地頭所江

相納来り候山手札等も葦山御役所より御渡し

ニ相成候間今般御見分被為在候得共往古より

入会仕来り候御義ニ御座候間此段乍恐以書付

奉申上候以上

閏五月十四日熱海より船山江被御越被成

吉田條太郎様

川村清輔様

山口蔵次郎様

梅沢五十郎様

土山勝三郎様

川名雄助様

外村々有之候

右上下式拾人様御出

吉田條太郎様
川村清輔様
山口蔵次郎様
梅沢五十郎様
土山勝三郎様
川名雄助様
外村々有之候
右上下式拾人様御出

安永五年
正月改
申

中村氏

安永五年

無盡

中村氏

申
正月
改

平井村

久兵衛

谷田村

玄仙老

宝曆九年 卯十二月初
親掛金五兩
利兵衛

吉右衛門

六右衛門

宝曆六年 子十一月五月初

忠兵衛

式朱掛

宝曆五年 亥十一月
金老兩壹分
六右衛門

五百文掛

平井村

久兵衛

谷田村

玄仙老

宝曆九年 卯十二月初

一、親掛金五兩 利兵衛

式分掛ケ

一、吉右衛門

一、六右衛門

一、宝曆六年 子十一月五月初

忠兵衛

式朱掛

一、宝曆五年 亥十一月

一、金老兩壹分 六右衛門

五百文掛

宝曆九年卯十二月初
一、金貳兩貳分
右衛門

宝曆五年亥十二月初
一、錢貳貫五百文
安兵衛

宝曆十三年未十一月初
一、米五俵
亦四郎

宝曆十二年未十二月初
一、金拾兩
高源寺

宝曆十三年未十二月初
一、錢四貫文
喜左衛門

宝曆六年子二月初
一、錢三貫六百文
勘兵衛

宝曆十一年巳十一月初
一、金貳兩三分
右衛門

宝曆九年卯十二月

一、金貳兩貳分
右衛門

貳分掛
二ツ入

宝曆五年亥十二月

一、錢貳貫五百文
安兵衛

貳百文掛

宝曆十三年未十一月初

一、米五俵
亦四郎

貳斗掛

宝曆十二年未十二月初

一、金拾兩
高源寺

壹兩掛

宝曆十三年未十二月初

一、錢四貫文
喜左衛門

五百文かけ

宝曆六年子二月初

一、錢三貫六百文
勘兵衛

三百文かけ

宝曆十一年巳十一月初

一、金貳兩三分
右衛門

宝曆十二年十二月
一、鏝三貫三百文 仁右衛門

三百文掛 二ツ入

宝曆十三年正月
一、金五兩 太郎右衛門

式分掛

宝曆九年辰十二月
一、金三兩 忠左衛門

壹分永五拾文掛

明和元年十二月廿九日初
一、金五兩貳分 七右衛門

貳分かけ

宝曆十三未十一月初
一、米五俵 平七

式斗かけ

明和二年酉正月十九日初
一、錢三貫三百文 由兵衛

三百文かけ

宝曆十二年十二月

一、鏝三貫三百文 仁右衛門

三百文掛 二ツ入

宝曆十三年正月 大竹村

一、金五兩 太郎右衛門

式分掛

宝曆九年辰十二月 大竹村

一、金三兩 忠左衛門

壹分永五拾文掛

明和元年十二月廿九日初

一、金五兩貳分 七右衛門

貳分かけ

宝曆十三未十一月初

一、米五俵 平七

式斗かけ

明和二年酉正月十九日初

一、錢三貫三百文 由兵衛

三百文かけ

明和四年亥三月
一、金貳兩貳分
甚兵衛

明和貳年戌
一、□□□□
馬坂
次右衛門

明和元年申十二月
一、米壹石八斗
安左衛門

明和三年戌ノ春初
一、錢三貫三百文
惣右衛門

明和六年丑二月
一、金拾兩
伊右衛門

宝曆三年未十月
一、米四俵
仁右衛門

宝曆三年未十月
一、米四俵
仁右衛門

明和四年亥三月

一、金貳兩貳分

壹分かけ

甚兵衛

明和貳年戌

一、□□□□

馬坂

次右衛門

明和元年申十二月

一、米壹石八斗

安左衛門

壹斗五升掛

二ツ入

明和三年戌ノ春初

一、錢三貫三百文

惣右衛門

明和六年丑二月

一、金拾兩

伊右衛門

壹兩掛

半減二本

宝曆三年未十月

一、米四俵

大竹村

仁右衛門

壹斗かけ

一、卯暮より分取人数六人して
喜口分

永老貫三百文宛

半二而残
此分老分永百文可出分

一、寅暮より分取 喜左衛門
七人して

老人前五百文ツツ

老貫文可出分

一、卯暮より分取 七右衛門
十人して

老人前金老分宛

一、卯より分取 安左衛門
拾人して

老人前七升宛

二ツ入刎三斗可出分
老口残七升可取有

高源寺

一、卯暮より分取人数六人して

老口分

永老貫三百文宛

半二而残

此分老分永百文可出分

一、寅暮より分取 喜左衛門

七人して

老人前五百文ツツ

老貫文可出分

一、卯暮より分取 七右衛門

十人して

老人前金老分宛

一、卯より分取 安左衛門

拾人して

老人前七升宛

二ツ入刎三斗可出分

老口残七升可取有

一、卯より分取

親掛式百文之者百五十ケ分取
同 百文之者五拾文分取

一、卯より分取 又四郎

七人して
老人前老斗九升宛

一、卯より分取

丸立
其列
半口残有

一、辰より分取

五人して
老人前七百七拾六文

一、辰より分取

此分九十文可出分
内三百八十六文半口分分取り

掛り
五百拾文可出分

一、卯より分取 由兵衛

親掛式百文之者百五十ケ分取
同 百文之者五拾文分取

一、卯より分取 又四郎

七人して
老人前老斗九升宛

一、三百文 惣右衛門

丸立
其列
半口残有

一、辰より分取 仁右衛門

五人して
老人前七百七拾六文

此分九十文可出分

内三百八十六文半口分分取り
掛り

五百拾文可出分

辰年諸借用改帳
 醫者藥種勘定も有り
 正月

天明四年

辰年諸借用改帳

正月

医者藥種勘定も有り

卯三月
 一 六十貼 宜參
 外貳貼
 卯六月十二貼
 卯七月禮遣
 又貳朱も
 卯八月
 一 廿六貼 龍節
 一 丸葉 十九包 老廻り分 三百文
 六兩壹分_之也
 卯十一月
 一 四十五 子三月之状ニ御座候
 内 卯ノ十二月
 真木 貳拾本遣
 春出 貳拾
 又老分も
 卯十一月
 一 三十七貼 玄順老
 内真木 三拾包遣
 卯十二月
 一 十八貼 玄庵老
 此分 貳朱も

一 金式両
此質地

下六畝式分
預口式俵卷斗式升

西暮より五分
子二濟

同入字衛門

奈古谷村
半七

一 金式両
此質地

下六畝式分
預口式俵卷斗式升

西暮より五分
子二濟

同入字衛門

奈古谷村

一 金式両
此質地

下六畝式分
預口式俵卷斗式升

西暮より五分
子二濟

谷田村

一 差金式両式分

此質地上田卷反分

外利米老俵

清次郎

立石

卯年分

輪屋

一 金式両

此質地

下六畝式分

預口式俵卷斗式升

西暮より五分

武兵衛

小谷と

子二濟

同人字衛門

奈古谷村

卯暮より

一 金卷両卷分式朱

此質地下原式枚

預口 卷斗式升

卷斗五升

半七

中嶋村
彦右衛門
利分濟

卯七月分
金壹分
利分濟

中嶋村
彦右衛門

金貳兩
葦山金

一金貳兩

葦山金

同壹兩
溜井金

一同壹兩

溜井金

同壹兩
藥師金

一同壹兩

藥師金

米四俵
巳ノ年延

一米四俵

巳ノ年延

錢
寅年延

一錢

寅年延

米六俵
卯
辰年延米

一米六俵

卯
辰年延米

嘉へ病中入用川原谷ニ居候内
 卯ノ二月
 川原谷村
 加左衛門取かへ
 一 米老斗
 此錢八百三拾貳文
 但 暮老升貳合かへして

一 六百元

一 貳朱

辰ノ四月廿八日
 金老分 御国衆へ遣

源右衛門分
 九百文
 寅十一月十四日
 一 三百六十一文
 寅暮 色々勘定差引残
 〆 壹貫貳百六十一文
 卯暮利貳百〇五拾文

源右衛門分

九百文

寅十一月十四日

一 三百六十一文

寅暮 色々勘定差引残

〆 壹貫貳百六十一文

卯暮利貳百〇五拾文

寛延元年

朝鮮人來朝歸國役金割帳

辰之十一月

寛延元年

朝鮮人來朝歸國役金割帳

辰之十一月

朝鮮人來朝

一、永七貫八百四文八分

同歸國

一、永六貫三百拾九文八分七厘

御傳馬雇賃

一、永三百拾八文八分貳厘

金拾四兩壹分

永百九拾三文四分九厘

右之利金

金貳兩貳分 永七文六厘

元利ノ金拾六兩三分

永貳百五文五厘

此鐿八拾三貫五拾六文

錢兩ニ四貫九百文割
錢四百文 御立朝布
是人馬首尾能相勤申候返

此後後文同前也

此割法二八八

惣ノ錢八拾三貫四百五拾文

此割法二八八

一、錢壹貫九百九拾五文

一、錢壹貫九百九拾五文 宗源寺印

一、同百貳拾三文

茂左衛門印

一、同百貳拾三文 茂左衛門印

一、貳百六拾文

長三郎印

一、貳百六拾文 長三郎印

一、三貫貳百九拾壹文

一、三貫貳百九拾壹文 七右衛門印
此金貳分八百四拾三文

此金貳分八百四拾三文

一、四拾貳文 半左衛門印

一、百六拾五文

五郎右衛門印

一、百六拾五文 五郎右衛門印

一、四百六拾四文

次郎兵衛印

一、四百六拾四文 次郎兵衛印

一、四百六拾四文

次郎兵衛印

一、三百拾九文
吉兵衛印

太郎右衛門分共

一、卷メ四百四拾卷文
吉郎兵衛印

此金卷分式百拾七文

一、八貫三百八拾九文
六右衛門
此金卷兩式分卷メ四拾卷文

一、七拾五文
平六

一、三百式拾八文
彦四郎印

一、式メ式拾卷文
平右衛門印

此金卷分七百九十式文

一、百式拾六文
作右衛門印

一、四貫七百廿式文
吉左衛門印

此金三分卷メ四拾六文

一、百廿式文
吉左衛門印

一、百廿式文
吉左衛門印

八百拾五文
高源寺印

一、八百拾五文

高源寺印

五百拾六文
市右衛門母

一、五百拾六文

市右衛門母

六百拾四文
仁兵衛印

一、六百拾四文

仁兵衛印

一、三貫五百七拾七文 定右衛門印

三貫五百七拾七文
此金式分毫ノ百式拾九文

一、五百七文

嘉右衛門印

五百拾三文
六兵衛

一、五百拾三文

六兵衛

六百九拾三文
忠兵衛印

一、六百九拾三文

忠兵衛印

百拾貳文
彦八

一、百拾貳文

彦八

百拾貳文
彦八

長源寺

長源寺

一、七百六拾七文

長源寺

長右衛門

長右衛門

一、貳百五拾壹文

長右衛門 印

久左衛門

久左衛門

一、貳百五拾七文

久左衛門 印

彦三

彦三

一、廿文

さん

一、拾七文

彦三 印

源七

源七

一、四百九拾三文

源七 印

喜平次

喜平次

一、七拾七文

喜平次

伊左衛門

伊左衛門

一、三百八文

伊左衛門 印

伊左衛門

伊左衛門

一、壹百九拾三文
元右衛門印

一、八百八拾壹文
弥左衛門印

一、四貫三百長五拾文
安左衛門印
此金三分六百七拾四文

一、三拾三文
勘左衛門

一、百四拾五文
平左衛門印

一、壹貫九百五拾四文
重右衛門印
此金壹分七百三拾文

一、壹貫百長五拾文
源右衛門印

一、百七拾六文
市兵衛印

一、三拾七文
与左衛門

一、百九拾三文
彦右衛門印

一、七百九拾四文
忠右衛門印

一、拾四貫五文
藤左衛門印

一、四拾貳文
葉師免

一、五百七文
市右衛門印

一、老貫九百廿九文
弥惣右衛門印

此金老分七百五文

一、八貫六百拾七文
弥兵衛印

此金老兩三分四拾老文

一、老貫拾九文
利兵衛印

玉沢

一、老貫七百廿七文
次郎左衛門印

此金老分五百三文

一、老貫七百廿七文
次郎左衛門印

此金老分五百三文

一、振文

清七

一、拾四文
清 七

一、振文

仁右衛門

一、拾八文
仁右衛門

一、百四拾文

久念坊

一、百四拾文
久念坊

一、三拾六文

右京坊

一、三拾六文
右京坊

一、三百三拾六文

次郎左衛門後家

一、三百三拾六文
次郎左衛門後家

一、百五拾老文

利右衛門

一、百五拾老文
利右衛門

一、貳貫三百拾貳文

權左衛門

一、貳貫三百拾貳文
權左衛門

一、此金壹分老メ八拾四文

一、貳百六拾三文
弥兵衛

一、大竹村

与左衛門

一、老メ七百七拾老文
与左衛門

一、大竹村

八文

一、八文

源助

三百四拾四文

一、三百四拾四文

弥三右衛門

百三拾七文

一、百三拾七文

元右衛門

卷ノ百八拾三文

一、卷ノ百八拾三文

与四兵衛

五貫九百三拾四文

一、五貫九百三拾四文

新左衛門

此金卷兩卷ノ三拾四文

此金卷兩卷ノ三拾四文

傳左衛門

五百拾五文

一、五百拾五文

三左衛門

五百拾五文

一、五百拾五文

彦次郎

右之通り朝鮮人

来朝帰国共人馬

役金相改我等共

立合割合仕候所少茂

相違無御座候依而

立合印形仕候以上

寛延元年

桑原村

辰十一月

寛延元年 正月

桑原村

七右衛門

安左衛門

藤左衛門

六右衛門

吉右衛門

権左衛門

弥兵衛

右之通り朝鮮人

来朝帰国共人馬

役金相改我等共

立合割合仕候所少茂

相違無御座候依而

立合印形仕候以上

寛延元年

桑原村

辰十一月

七右衛門

安左衛門

藤左衛門

六右衛門

吉右衛門

権左衛門

弥兵衛

寛延貳年

桑原村

寛延貳年

桑原村

去辰年朝鮮人人馬賄賃金

去辰年朝鮮人人馬賄賃金
宋ノ対馬様より被下候、上割合帳

宋ノ対馬様より被下候、上割合帳

乙亥九月

弥兵衛

日之十一月

名主

弥兵衛

永百三拾六文式分六厘老毛

此鑄六百文

兩ニ錢四貫四百文

此割高式百九拾石老斗老升

高老石ニ付錢式文

一、老文

茂右衛門

一、式拾三文

七右衛門

一、式文

長三郎

一、老文

五郎右衛門

一、三文

次郎兵衛

一、式文

吉兵衛

一、式文

吉兵衛

一、永百三拾六文式分六厘老毛

此鑄六百文

兩ニ錢四貫四百文

わり

此割高式百九拾石老斗老升

八合

高老石ニ付錢式文

一、錢拾四文 宗源寺

一、老文 茂右衛門

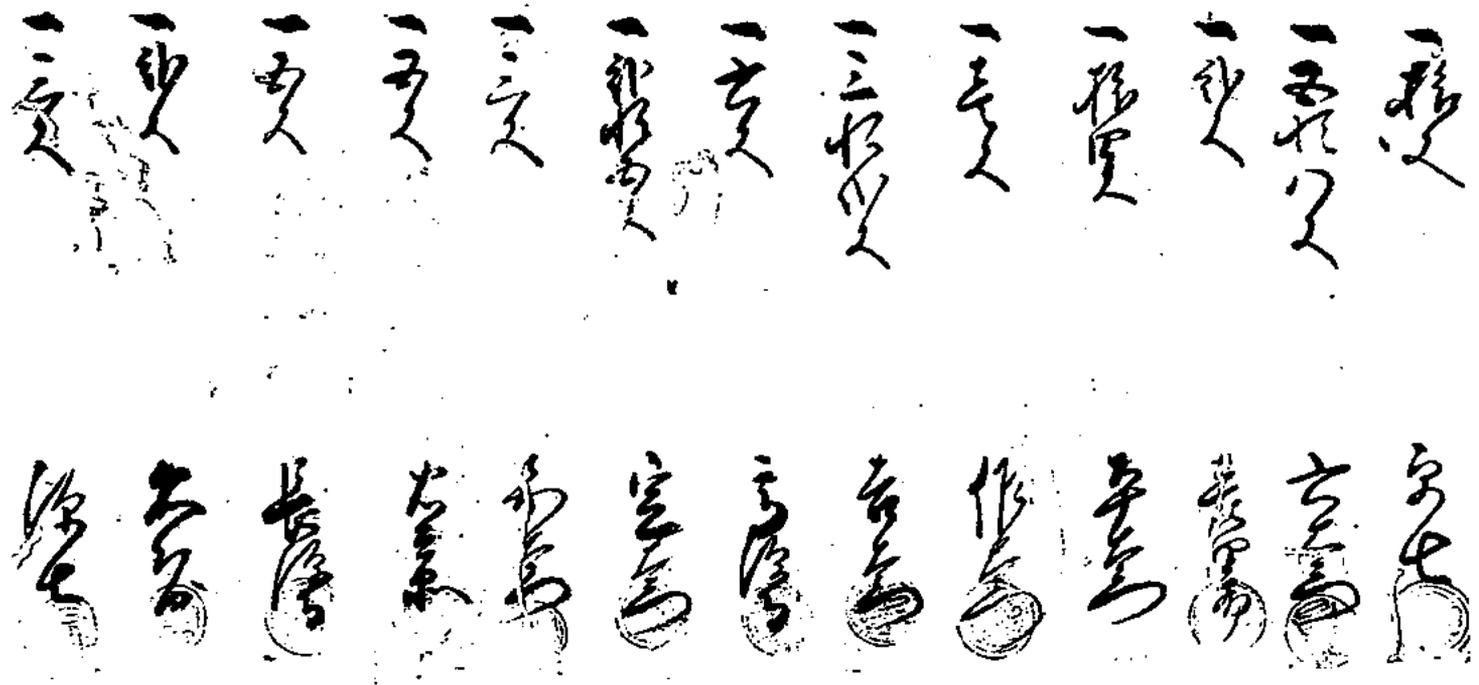
一、式拾三文 七右衛門

一、式文 長三郎

一、老文 五郎右衛門

一、三文 次郎兵衛

一、式文 吉兵衛



一、三文	一、貳文	一、五文	一、五文	一、三文	一、貳拾五文	一、六文	一、三拾貳文	一、老文	一、拾四文	一、貳文	一、拾文	一、五拾八文
源 七	忠左衛門	長源寺	忠兵衛	嘉右衛門	定右衛門	高源寺	吉右衛門	作右衛門	平右衛門	彦四郎	平 七	六右衛門

一、
 一、

平左衛門
 藤右衛門
 彦右衛門
 市兵衛
 次右衛門
 久右衛門
 忠左衛門
 長右衛門
 安右衛門
 市右衛門
 弥右衛門
 伊左衛門
 元右衛門

一、壹文
 一、百壹文
 一、壹文
 一、壹文
 一、八文
 一、拾三文
 一、三文
 一、貳文
 一、三拾文
 一、三文
 一、六文
 一、貳文
 一、貳文

平左衛門
 藤右衛門
 彦右衛門
 市兵衛
 次右衛門
 久右衛門
 忠左衛門
 長右衛門
 安右衛門
 市右衛門
 弥右衛門
 伊左衛門
 元右衛門

一、 抄文
 一、 五拾九文
 一、 七文
 一、 抄文
 一、 抄文

大竹村
 与左衛門
 三左衛門
 忠左衛門
 次兵衛
 利右衛門
 權左衛門
 次郎右衛門後家
 久念
 仁右衛門
 次郎右衛門
 利兵衛
 弥兵衛
 弥惣右衛門

- 一、 拾三文
- 一、 五拾九文
- 一、 七文
- 一、 拾貳文
- 一、 壹文
- 一、 壹文
- 一、 壹文
- 一、 拾六文
- 一、 壹文
- 一、 貳文
- 一、 壹文
- 一、 拾貳文

大竹村
 与左衛門
 三左衛門
 忠左衛門
 次兵衛
 利右衛門
 權左衛門
 次郎右衛門後家
 久念
 仁右衛門
 次郎右衛門
 利兵衛
 弥兵衛
 弥惣右衛門

一、老文

元右衛門

一、式文

弥三右衛門

一、八文

与四兵衛

一、三文

彦次郎

一、四拾老文

新左衛門
伝左衛門

右者去辰年朝鮮人

人馬賄賃金として

宋ノ対馬様より被下候

上惣百姓に割合仕儲

請取申候所相違無

御座候以上

寛延貳年

巳之十一月

寛延貳年
巳之十一月

寛延三年
 去辰年琉球人役金残割返帳
 己ノ十一月
 桑原村

寛延三年

去辰年琉球人役金残割返帳

己ノ十一月

桑原村

名主 弥兵衛

金三兩貳分永拾七文

巳ノ利金貳分永貳百三文四分

元利金四兩永貳百廿文四分

此鑊十八貫五百六拾七文

錢兩三四貫四百文わり

此割高貳百九十石壹斗壹升八合

高壹石三六四

宗源寺



一 四百四拾貳文

宗源寺 ⑨

長三郎



一 貳拾七文

茂左衛門 ⑨

七左衛門



一 五拾六文

長三郎

五郎右衛門



一 三拾六文

五郎右衛門

半左衛門



一 九文

半左衛門 ⑨

九文



一百文
次郎兵衛

一百文
吉兵衛

一百文
宗七

金卷分七百六十三文
六左衛門

拾三文
宗六

七拾四文
彦四郎

四百四拾八文
平左衛門

廿七文
作左衛門

壹貫四拾八文
吉左衛門

一百七拾八文
高源寺

十式文
市左衛門母

卷分七百七十六文

一十人
 一七十九人
 一五十九人
 一五十八人
 一五十七人
 一五十六人
 一五十五人
 一五十四人
 一五十三人
 一五十二人
 一五十一人
 一五十人
 一四十九人
 一四十八人
 一四十七人
 一四十六人
 一四十五人
 一四十四人
 一四十三人
 一四十二人
 一四十一人
 一四十人
 一三十九人
 一三十八人
 一三十七人
 一三十六人
 一三十五人
 一三十四人
 一三十三人
 一三十二人
 一三十一人
 一三十人
 一二十九人
 一二十八人
 一二十七人
 一二十六人
 一二十五人
 一二十四人
 一二十三人
 一二十二人
 一二十一人
 一二十人
 一十九人
 一十八人
 一十七人
 一十六人
 一十五人
 一十四人
 一十三人
 一十二人
 一十一人
 一十人
 九人
 八人
 七人
 六人
 五人
 四人
 三人
 二人
 一人

一	十四文	仁兵衛 印
一	七百九十文	定左衛門 印
一	百拾文	加左衛門 印
一	拾文	六兵衛 印
一	百五十三文	忠兵衛 印
一	百六拾八文	長源寺 印
一	五十六文	久左衛門 印
一	四文	さん 印
一	百拾文	源七 印
一	拾七文	喜平次 印
一	六拾六文	伊左衛門 印
一	六拾文	元左衛門 印

一百九拾文
弥左衛門

九百六拾五文
安左衛門

七文
勘左衛門

三拾壹文
宗左衛門

四百三拾三文
久左衛門

貳百五十四文
源左衛門

三拾八文
市兵衛

八文
与右衛門

四拾貳文
彦左衛門

内百廿九文 役金引
残四拾五文可相渡分

五十四文
長左衛門

一 足人 彦兵衛

一 百廿八人 彦兵衛

一 金貳分九百拾貳文 藤右衛門

一 四百廿八文 弥惣左衛門

一 金壹分八百十四文 弥兵衛

一 貳百廿六文 利兵衛

一 三百八拾壹文 玉沢 次郎右衛門

一 貳拾五文 仁左衛門

一 三文 清七

一 三拾文 久念坊

一 八文 大玉坊

一七拾五文
源三右衛門

一十九文
忠右衛門

一三拾三文
左右衛門

一五拾四文
權左衛門

一五十七文
次兵衛

一三百九拾壹文
大竹村
与右衛門

一壹文
源助

一一百拾五文
三左衛門

一貳拾九文
元右衛門

一七拾四文
源三右衛門

一貳百六拾壹文
与四兵衛

一 七拾壹文
次郎右衛門後家

一 廿四文
忠右衛門

一 三拾三文
左右衛門

一 五拾四文
權左衛門

一 五十七文
次兵衛

大竹村
与右衛門

一 三百九拾壹文
与右衛門

一 壹文
源助

一 一百拾五文
三左衛門

一 貳拾九文
元右衛門

一 七拾四文
源三右衛門

一 貳百六拾壹文
与四兵衛

一 百拾五文
彦次郎

金卷分式百拾八文
新左衛門
傳左衛門

右者去辰年琉球人

人馬村立て積り役金

割合出申候尤参向者

村立仕下向之節ハ組

合相談之上人馬ニ仕

相立百姓勝手ニ罷成

右割合之金子相残

申候上式割之利足を

相添御割返し被成儲

一 百拾五文

一 金卷分式百拾八文

彦次郎 印

新左衛門
傳左衛門

右者去辰年琉球人
人馬村立て積り役金
割合出申候尤参向者
村立仕下向之節ハ組
合相談之上人馬ニ仕
相立百姓勝手ニ罷成
右割合之金子相残
申候上式割之利足を
相添御割返し被成儲

信旨法皇御法旨

寛延式年

巳ノ十一月

請取勘定出入無御座候
依而請取印形仕候以上

寛延式年

巳ノ十一月

寛政四年

用水堰普請目論見帳

子之閏二月

寛政四年

普請

用水堰普請目論見帳

子之閏二月

桑原村

豆州田方郡

桑原

高式百九拾石七斗壹升八合

此取

高百四拾五石 大久保加賀守様

三斗五升九合

高百四拾五石 松平八郎右衛門様

三斗五升九合

高百四拾五石 三斗五升九合

前田堰

拾八間

敷九尺

上留六尺

高廿六尺

此坪數廿式坪半

此人足式百七拾六人 坪三十二人懸

正人足九拾式人 坪三四人懸

同所

新堀長廿六間 幅五尺

此人足式百三拾四人 坪九人懸

正人足七拾八人 同三人掛

新堀 幅五尺

此人足式百三拾四人 坪九人懸

正人足七拾八人 同三人掛

高百四拾五石

三斗五升九合

此坪數廿式坪半

此人足式百七拾六人 坪三十二人懸

正人足九拾式人 坪三四人懸

同所

新堀長廿六間 幅五尺

此人足式百三拾四人 坪九人懸

正人足七拾八人 同三人掛

一 芝拾六駄 芝取場所迄
道法十丁
此代永百廿八文 但老駄ニ付永八文づつ

柿うど堰
敷九尺
高サ四尺
上留六尺

一 拾貳間
此坪數九坪九分
此人足貳八拾九人 但老坪九人積
正人足廿九人七分 同三人懸

同所
一 芝拾駄 道法十丁
此代永八拾文 但老駄ニ付永八文づつ

同所
一 堀浚九拾七間 大口より払口迄
此人足百四拾七人 但老間老半
正人足四拾九人 同断半人づつ

同所
一 堀浚百五間
此人足百五人

同所
一 芝拾六駄 芝取場所迄
道法十丁
此代永百廿八文 但老駄ニ付永八文づつ

柿うど堰
敷九尺
高サ四尺
上留六尺

一 拾貳間
此坪數九坪九分
此人足貳八拾九人 但老坪九人積
正人足廿九人七分 同三人懸

同所
一 芝拾駄 道法十丁
此代永八拾文 但老駄ニ付永八文づつ

同所
一 堀浚九拾七間 大口より払口迄
此人足百四拾七人 但老間老半
正人足四拾九人 同断半人づつ

同所
一 堀浚百五間
此人足百五人

一 拾五間

正人足百五人

此坪數拾八坪七分六厘

此人足貳百廿八人 但老坪十貳人懸
正人足七拾六人 同斷四人掛り

一 芝三拾畝

道法十丁

此代永貳百四拾文 壹畝ニ付永八文づつ

一 堀淺四拾五間

此人足六拾七人半 但老間三人懸
正人足廿二人半 同斷老人懸

一 拾間

正人足百五人

此坪數六坪二厘 但老坪七人懸
此人足六拾三人 同斷貳人三分二厘
正人足廿一人

一 八間

正人足廿一人

一 拾五間

敷九尺

上留六尺

高サ六尺

此坪數拾八坪七分六厘

此人足貳百廿八人 但老坪十貳人懸
正人足七拾六人 同斷四人掛り

同所

一 芝三拾畝

道法十丁

此代永貳百四拾文 壹畝ニ付永八文づつ

同所

一 堀淺四拾五間

此人足六拾七人半 但老間三人懸
正人足廿二人半 同斷老人懸

高畔堰

一 拾間

此人足百五人

敷六尺

上留五尺

高サ四尺

此坪數六坪二厘

此人足六拾三人 但老坪七人懸
正人足廿一人 同斷貳人三分二厘

同所

一 八間

敷貳間

上留九尺

高サ六尺

一 坪数拾四坪
此人足八拾四人 但老坪三六人懸
正人足廿八人 同断 式人懸

一 芝廿四駄
此代永式百拾六文 但老駄付永九文つ

一 堀濠百間
此人足三百人 但老間三三人懸
正人足三拾三人三分三りん 同断老人懸

一 同 百三拾間
此人足百拾七人 但老間九分懸
正人足三拾九人 同断三分

一 式拾四間
敷式間
高老間半つ
上留老間

一 此坪数六拾坪
此人足六百三拾人 但老坪拾人半
正人足式百拾人 同断三人半つ

一 同所
芝廿四駄 道法十五丁

此坪数拾四坪

此人足八拾四人 但老坪三六人懸
正人足廿八人 同断 式人懸

同所
一 芝廿四駄 道法十二丁

此代永式百拾六文 但老駄付永九文つ

同所

一 堀濠百間 堰口より弘口迄
此人足三百人 但老間三三人懸
正人足三拾三人三分三りん 同断老人懸

同所

一 同 百三拾間
此人足百拾七人 但老間九分懸
正人足三拾九人 同断三分

六反田堰

一 式拾四間 敷式間
高老間半つ
上留老間

一 此坪数六拾坪
此人足六百三拾人 但老坪拾人半
正人足式百拾人 同断三人半つ

同所
一 芝廿四駄 道法十五丁

板式拾間 高卷尺 幅式尺
 老枚ニ付鑿八十九文づつ
 一 板拾三間三分三厘
 代永老貫三百三拾三文三分三厘
 但金老兩ニ拾間替 割五メ六百文
 厚サ老寸 幅老尺
 並四寸釘四百本 但百本ニ付鑿三百本づつ
 代永武百廿六文九分 但老間ニ武拾本づつ
 永五百文 大工仕賃飯料代共
 代永武貫九百六拾四文武分三厘
 人足武千三百四拾人半
 此賃永四拾九寬百五拾文五分 但老人ニ付永廿一文づつ
 惣ノ永五拾武メ百拾四文七分三厘
 正人足七百三拾人五分五りん
 板式拾間 幅式尺
 老枚ニ付鑿八十九文づつ
 一 板拾三間三分三厘
 代永老貫三百三拾三文三分三厘
 但金老兩ニ拾間替 割五メ六百文
 厚サ老寸 幅老尺
 並四寸釘四百本
 代永武百廿六文九分
 但老間ニ武拾本づつ
 永五百文
 大工仕賃飯料代共
 代永武貫九百六拾四文武分三厘
 人足武千三百四拾人半
 此賃永四拾九寬百五拾文五分
 但老人ニ付永廿一文づつ
 惣ノ永五拾武メ百拾四文七分三厘
 正人足七百三拾人五分五りん

可成
法一五位

永武拾六貫五拾七文三分六厘五毛

大久保加賀守様

永武拾六貫五拾七文三分六厘五毛
松平八郎右衛門様

此永拾メ九拾五文

法一五位

永武拾六貫五拾七文三分六厘五毛

大久保加賀守様

永武拾六メ五拾七文三分六厘五毛

松平八郎右衛門様

上野北丸覚帳
 豆州
 文政五年八月吉日
 中村氏

文政五年

豆州

上野
 アラク
 非九
 覚帳

午ノ八月吉日
 中村氏

美 人
 一 かる
 一 やく
 一 おこし
 文政六年
 二月
 一 かる
 一 おこし
 二月
 一 かる
 一 おこし
 七月
 一 かる
 一 おこし
 八月
 一 そはち

一 かる 覚
 式人

一 やく
 半人

一 おこし
 九人半

文政六年
 二月
 一 かる
 老人半

一 おこし
 二月
 五人半
 入口の烟毛

七月
 一 かる
 老人

廿人

八月
 一 そはち
 六人半

八月
一 かる
五人

一 やくに
半人

拾貳人

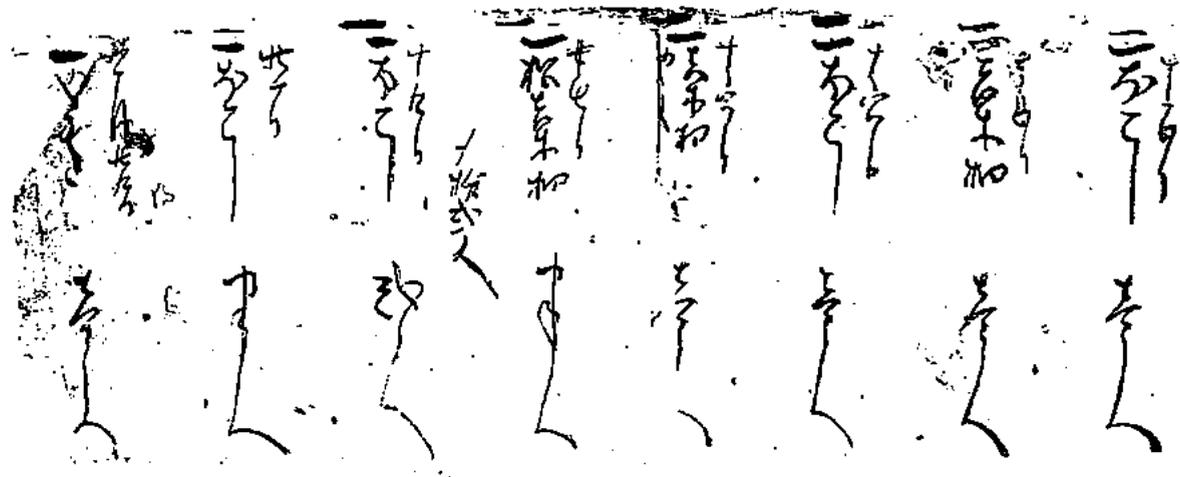
一 おこし
半人

一 おこし
老人

九月六日
一 おこし
貳人

九月十三日
一 おこし
貳人

十四日
一 かる
貳人



一 やき	九月廿九日	一人
一 おこし	廿一日	半人
一 おこし	十九日	三人
一 拾貳人	十七日 一 松真木切	半人
やく	十六日 一 真木切	一人
一 おこし	十六日	一人
一 真木切	十五日	一人
一 おこし	十五日	一人

Handwritten entries in a table format, likely a ledger or record book. The entries are arranged in two rows and eight columns. The top row contains various characters and symbols, possibly representing dates or names. The bottom row contains more characters, some of which appear to be names or titles. The handwriting is cursive and somewhat difficult to decipher.

一 おこし
老人

廿五日
一 おこし
老人

廿五日
一 真木切
老人

廿八日
一 おこし
老人

三月
一 真木切
式人

七月九日
一 かる
半人

八月三日
一 おこし
老人

八月十日
おこし
老人

八十人半

九月十六日
 一 おこし
 十八日
 一 同
 十九日
 一 同
 文政八酉之
 四月吉日 大麦老石七斗
 三升
 六月廿七日
 一 そはち
 七月三日
 一 貳人

九月十六日
 一 おこし
 十八日
 一 同
 十九日
 一 同
 文政八酉之
 四月吉日 大麦老石七斗
 三升
 六月廿七日
 一 そはち
 七月三日
 一 貳人

寛延三年

李青

寛延三年

桑原村

觀音

藥師 開帳諸入用覺帳

款音
藥師
子安
開帳諸入用覺帳

子安

江戶

弥兵衛

午八月

午八月

金老兩老分
 三ノ八百八拾弍文
 豆腐代
 一 百三拾弍文
 一 卷メ九百三拾四文
 酒弍斗代
 一 百四拾八文
 諸白老升
 一 弍百文
 地酒弍升
 一 四拾八文
 とうふ三丁代

一 金老兩老分
 宮々買物代
 三ノ八百八拾弍文
 一 豆腐代
 一 百三拾弍文
 一 卷メ九百三拾四文
 酒弍斗代
 一 百四拾八文
 諸白老升
 一 弍百文
 地酒弍升
 一 四拾八文
 とうふ三丁代

長光院

打敷礼

一 卷ノ五百五拾文 高源寺

内 三百文 方丈礼

貳百文 達仙礼

百文 神明礼

一 九百五拾文

御戸帳ニ

白うゑ

打敷 貳枚

まく 三枚

はん臺 四きやく

あし打

さん保風 三ツ

六色 損料代

一 三百文 長源寺

内百文 打敷礼

一 三百文 宗源寺

内百文 打敷考枚損料

平井村

一 貳百文 長光院

一 白米八升 宗源寺
 一 白米壹斗 大行院
 一 白米八升 大正院
 一 白米八升 大徳院
 一 同八升 吉兵衛
 一 小以米貳斗六升 板代
 一 代壹メ六百六十四文
 一 七百貳拾文 是開帳札其外花立 入用代

一 金貳分

是藥師堂忍ん板代

忠□□

一 壹メ五百六拾文

右毛油廿五日分
一日付壹升宛貳斗五升代

同人

一 壹メ六百五十四文

覺狩代

一 金壹分貳メ百九拾貳文

是八立板代其外入用代

一 金壹分貳メ百九拾貳文
是八立板代其外入用代

メ金貳兩

錢拾八メ八百九十三文

一 金壹分
是八立板代其外入用代

白米三斗式升
是八開帳中口助米
代老メ六百文

惣メ金貳両

此金四兩式分式拾壹文

金ニメ六兩式分式拾壹文

錢兩二四メ五百五拾文替

令メ七兩式分式拾壹文

白米三斗式升

是八開帳中口助米

代老メ六百文

惣メ金貳両

錢式拾メ四百九十三文

此金四兩式分式拾壹文

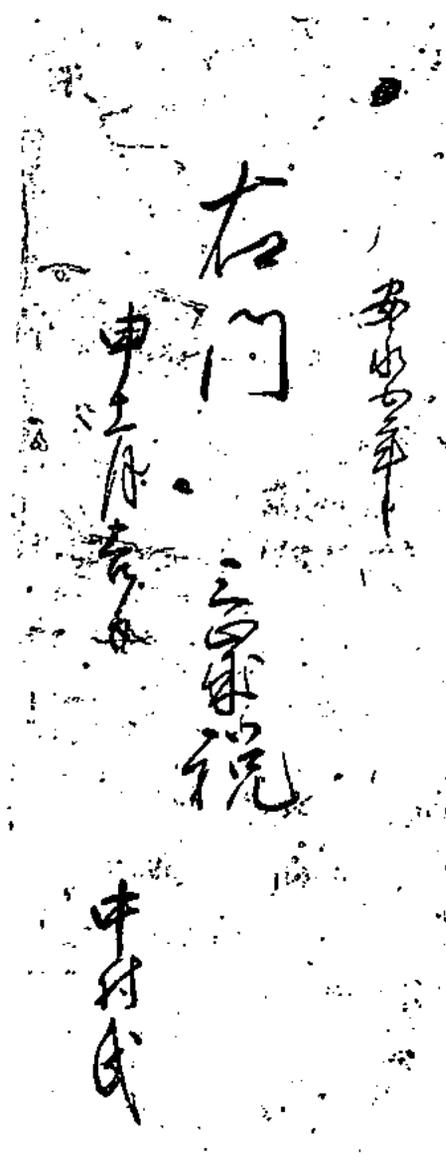
金ニメ六兩式分式拾壹文

錢兩二四メ五百五拾文替

一
錢式
散錢

一
錢式
四百拾四文

散錢



安永五年

右門

三歳祝

申十一月吉日

中村氏

元

新

加兵衛

手前

十一月十日
一、手前嶋
老枚

加兵衛

久

上沢
久右衛門

同

上沢

三人

一、さらさ
三尺

久右衛門

文

文右衛門

同

一、錢 廿文

文右衛門

勘

勘右衛門

同
一、同 廿四文

勘右衛門

利

利兵衛

同
一、同 拾六文

利兵衛

五

五左衛門

同
一、同 四拾五文
五左衛門

庄

庄兵衛

十一月十一日
一、同 三拾貳文
庄兵衛

太

太郎右衛門

同
一、同 廿貳文
太郎右衛門

基

基左衛門

同
一、同 廿四文
基左衛門

覚

十一日
 一、墨茶拾老つ 半七
 一、けた老足 弥市
 一、草履老足 弥七
 一、ミかん七つ 久左衛門
 一、紙老帖 七右衛門
 一、ミかん十一 九兵衛
 一、さら佐 利左衛門
 一、老尋半 入谷
 一、銭式百文 与右衛門
 一、拾六文 伊兵衛
 一、拾六文 与左衛門

十二日 奈古谷村
 一、墨茶拾老つ 半七
 □□生添
 同 谷田村
 一、けた老足 弥市
 同 同村
 一、草履老足 弥七
 同
 一、ミかん七つ 久左衛門
 同
 一、銭式百文 七右衛門
 紙老帖
 同
 一、ミかん十一 九兵衛
 同
 一、さら佐 利左衛門
 老尋半 入谷
 同
 一、銭式百文 与右衛門
 同
 一、拾六文 伊兵衛
 同
 一、拾六文 与左衛門

一、おゆり 喜左衛門
 一、さうり 左右衛門
 一、拾五文 惣右衛門
 一、さかん十五 与助
 一、四拾五文 文蔵
 一、さら左二尺 藤左衛門
 一、拾七文 庄左衛門
 一、雪踏老足 七兵衛
 一、同老足 大竹村
 一、同老足 弥三右衛門
 一、さう利老足 九右衛門
 小以九百四拾七文程

同
 一、拾弍文 喜左衛門
 同
 一、廿四文 左右衛門
 同
 一、拾六文 惣右衛門
 十三日
 番太
 一、ミかん十五 与助
 同
 一、四拾五文 文蔵
 同
 一、さら左二尺 藤左衛門
 同
 一、拾七文 庄左衛門
 同
 一、雪踏老足 七兵衛
 十四日 大竹村
 一、同老足 弥三右衛門
 十七日 二ヶ町
 一、さう利老足 九右衛門
 小以九百四拾七文程

呼人程

一十三日

吉右衛門

彦左衛門

伊右衛門

七右衛門

幸左衛門

加兵衛

不遠坊

利兵衛

しお

藤左衛門

忠左衛門

與右衛門

手伝乍

与助

一、十三日 呼人数

手伝乍

吉右衛門
彦左衛門
伊右衛門
七右衛門
幸左衛門
加兵衛
不遠坊
利兵衛
しお
藤左衛門
忠左衛門
與右衛門

与助

一、本之助
 三、本
 幸左衛門
 一、おはや
 七、本
 幸左衛門

一、友之助
 三、歳
 遺取なし
 彦左衛門
 一、おはや
 七、歳
 幸左衛門
 遺取なし

安永六西十一月 祝儀物

一、市之丞七歳 当日右門 被呼

与市三歳

一、廿四文 加左右衛門

市之丞七歳 当日右門 被呼

一、拾九文 左次右衛門

安五郎三歳 十四日 弥惣 被呼

一、拾六文 勘兵衛

津子七歳

一、拾式文 喜左衛門

はん七歳

やえ三歳

一、拾式文 仁右衛門

清兵衛一歳 右門 被呼

一、手前嶋帯 替 五左衛門

おはん七歳 十日晩 弥平 被呼

一、同断 幸作

おはや 七つ 十二日晚 被呼

良右衛門

平井村
 一、上之けた 老足 新五郎
 式百文位 七つ
 十四日
 一、手前嶋帯 文 蔵へ
 三つ祝

戌十一月祝

忠兵衛
 一、十八文 三つ 文右衛門
 一、十六文 三つ 弥次右衛門
 十一日 平井
 一、□□さう利 新五郎
 十二日 中島
 一、雪踏 七向 彦右衛門
 一、手前嶋帯 吉右衛門
 弥八子七つ
 大竹
 一、同断 七つ三つ 彦兵衛
 上沢
 一、同断 七つ 久右衛門

- 七日 平井村
- 一、上之けた 老足 新五郎
- 式百文位 七つ
- 十四日
- 一、手前嶋帯 文 蔵へ
- 三つ祝
- 戌十一月祝
- 十二日
- 一、三拾文 忠兵衛
- 金松七歳
- 一、十八文 三つ 文右衛門
- 一、十六文 三つ 弥次右衛門
- 十一日 平井
- 一、□□さう利 新五郎
- 十二日 中島
- 一、雪踏 七向 彦右衛門
- 一、手前嶋帯 吉右衛門
- 弥八子七つ
- 大竹
- 一、同断 七つ三つ 彦兵衛
- 上沢
- 一、同断 七つ 久右衛門

西永六年
伊勢參宮
諸入用
正月七日
良右衛門

安永六年

伊勢參宮 諸入用

良右衛門

西正月 七日

志ほり六ヶ尋巻尺四寸程

正月七日

吉右衛門尋見

一、金三分

路金

同

一、百文

同人より

一向し 〇ん

花向祝義

花向祝義

十七日

一、八拾四文

吉衛門より

一、酒老升

酒老升 尋見

一、金老分

次郎太夫方より

一、金老分

廿六日

一、御祓四本

与右衛門より

はし三せん

一、はし三せん

吉右衛門より

草だんご

一、草だんご

正月七日
 御はき布施
 大行院

一、半紙拾貳枚六文
 同

一、おかし壱ツ四文
 同断二入
 同日

一、拾文 豆腐半丁
 十二日

一、三拾貳文神の盆二枚
 同日

一、八文 油揚二枚
 十四日

一、廿四文 同 三枚
 十四日

一、五文 御造
 同日

一、拾八文 豆腐壱丁
 十五日 谷田村

一、五拾文 徳次郎
 紙壱状 名代

十五日
七郎右衛門
七郎右衛門

十五日
紙老状
中嶋村
彦右衛門使

十九日
八文
仁右衛門
出立之節わらんし代

廿日
拾文
豆腐半丁

廿六日
廿六文
下宮二ヶ町二而村中
出向祝惣割合掛
仁右衛門へ渡

仁右衛門

十五日
同人供

一、五拾文

紙老状
七郎右衛門

十五日
中嶋村

一、紙老状
彦右衛門使

十九日

一、八文
仁右衛門

出立之節わらんし代

廿日

一、拾文
豆腐半丁

廿六日

一、廿六文
下宮二ヶ町二而村中

出向祝惣割合掛

仁右衛門へ渡

留主見舞

三月十五日

一、はん台二ツ

一、酒壺升

二ケ町

一、地酒壺升

同 二ケ町 九右衛門

同 谷田村

一、酒壺升

同 中嶋村 七兵衛

同 彦右衛門

一、白餅米三升

同 奈古谷村 十三日 半七

一、茶壺升

一、白餅米三升

一、茶壺升

一、白餅米三升

徳右衛門方祝義参候に詠来

一、茶半斤 弥七
魚二疋位

一、酒老升 同 伊左衛門
十六日 馬坂 次右衛門

一、五百文 吉右衛門
十七日

一、酒老升 丈助
十八日 輕井沢

一、茶老斤 次左衛門
同日 玉沢

一、酒老升 平井村
同日 新五郎

一、茶老斤 孫左衛門
同日 谷田村 教学院

一、茶半斤	谷田村
魚二疋位	弥七
一、酒老升	馬坂 次右衛門
同日	同 惣七
同日	同 伊左衛門
一、五百文	吉右衛門
十七日	
一、酒老升	輕井沢
十八日	丈助
同日	玉沢
一、茶老斤	次左衛門
同日	平井村
一、酒老升	新五郎
同日	孫左衛門
一、茶老斤	谷田村 教学院
同日	

菓子 海老

餅 七郎右衛門

茶半斤 上右衛門

大竹村

同老斤

廿二日

大竹村

弥惣右衛門

一、餅

七郎右衛門

内義来

伊勢

一、茶半斤

廿八日

上沢村

久右衛門

村乃留守見舞法度
二付祝儀振舞之人

一、正月廿五日

夕飯二

伊勢参下宮之村中惣休

一、同 廿五日

彦左衛門

送膳 来

一、廿六日

幸左衛門

一、廿七日

高源寺

一、廿八日

月船和尚代

一、廿九日

佐次右衛門

一、三十日

五左衛門

夕飯

かう平

夕飯

仲右衛門 仲七

夕飯

一、金三分

一、同卷分

一、錢三百三拾式文程

都合老兩三百三拾式文

一、五拾八文白櫛

一、廿七文 小櫛 三枚

一、五百廿四文明海志ほり

一、七拾七文 御持料

□ □ □ □

仲間振舞

仲右衛門

夕飯

正月七日

路金

一、金三分

吉右衛門相見

正月

一、同卷分

松葉小次郎太夫

一、錢三百三拾式文程

都合老兩三百三拾式文

一、五拾八文白櫛 三枚

一、廿七文 小櫛 三枚

一、五百廿四文明海志ほり

卷反

六尋老尺四寸位有

一、七拾七文 御持料

三尺六寸

一、巾着 坊入

一、巾着 兼持

一、五百文 坊入

(賽銭)

一、百文 参賤

一、拾四文 案内へ

(行李)

一、百五拾文 二り 壱つ

一、廿文 鈴 十

一、廿文 きんちやく 十

一、百拾三文 煙草入 二十

二通

一、五拾八文 紙入 壱つ

一、百三拾六文 白さし足袋 一足

一、百文 たはこ入 廿八

一、五拾文 同 三つ

一、四拾八文 御祓 六十八本

一、三拾文 竹箸 五十せん

小以式 四拾八文

口文 合羽

壱枚

侍八

御被^一煙草入^二 喜右衛門

御被^一煙草入^二 喜右衛門

御被^一煙草入^二 喜右衛門

御被^一煙草入^二 忠左衛門

同 伝八

たらし

御被^一煙草入^二 喜右衛門

煙草入

御被^一はしだんご 万右衛門

御被^一煙草入^二 忠左衛門

御被^一煙草入^二 忠左衛門

御被^一煙草入^二 文兵衛

だんご鈴

御被^一煙草入^二 吉兵衛

同 兵左衛門

同 忠左衛門

同 与四左衛門

かん原

同 与右衛門

御被^一煙草入^二 磯右衛門

だんご 冷川

御被^一煙草入^二 市兵衛

御被^一煙草入^二 高源寺

桐箱一御被^一二扇本 御蔭居達能

御後箸だんご 平内

御後箸だんご 番太

御後箸だんご 与助

御後箸だんご 吉右衛門

御後箸だんご 裏中祇守三枚

他所

御後箸だんご 徳右衛門

御後箸だんご 紙入手拭二尺五寸

御後箸だんご 御祇手拭二尺五寸弥

御後箸だんご 煙草入 二ヶ町

御後箸だんご 御煙草入箸 九右衛門

御後箸だんご 同断 猿箸 七兵衛

御後箸だんご 同断すす箸 中嶋村

同前 平内

御祇箸だんご 番太 与助

御祇煙草入 猿 吉右衛門

御祇だんごはし二ぜん隠居共 裏中祇守三枚

右之内二軒陰居 四拾七軒

御祇箸 兵右衛門

他村の分 御祇煙草入猿 徳右衛門

紙入手拭二尺五寸

御祇手拭二尺五寸弥 煙草入 二ヶ町

御煙草入箸 九右衛門 同断 猿箸 七兵衛

同断すす箸 中嶋村 彦右衛門

御祇同断 鈴手拭二尺五寸 半七

守煙草入 谷田村 猿煙草入箸 玄順

御草入

御草

御被煙草入はし すすだんご

五左衛門

同断

幸兵衛

御被はし だんご又某王だんご

次右衛門

御被はし だんご

惣右衛門

御被はし だんご

大行院

御被はし だんご

不遠坊

御被はし だんご

新兵衛

御被煙草入 はしだんご

嘉左衛門

御被はし だんご

与左衛門

同断 だんご

平右衛門

同断 だんご

仁右衛門

御被はし 煙草入櫛猿だんご

左次右衛門

御被はし だんご

庄左衛門

御被煙草入だんご

与右衛門

箸猿手拭二尺五寸

久左衛門

同 だんご

久左衛門

御被

筆

一、御被はし だんご

助兵衛

一、

甚

一、同

甚左衛門

一、

九

一、同

九兵衛

一、

文

一、同

文右衛門

一、

九

一、同

九兵衛母

一、煙竹入

彦

一、同煙草入

彦右衛門

一、

左

一、同

左五右衛門

一、御被煙竹入
だんご

庄

一、御被煙草入
だんご

庄兵衛

一、御被
だんご

伊

一、御被箸だんご

伊兵衛

一、

嘉

一、同

嘉左衛門

一、

藤

一、同

藤助

一、

久

一、同

久左衛門

一、

忠

一、同

忠兵衛

一、

弥

一、同

弥次右衛門

一、

又

一、同

又四郎後家

参宮人

一、正月七日出立

十兵衛

勝之助

利左衛門

長吉

良右衛門

藤左衛門

林右衛門

幸右衛門

平左衛門

仙右衛門

藤松

常右衛門

勘右衛門

拾五人

拾五人

一、正月七日出立
参宮人

一、正月五日出帰二同道

十兵衛
勝之助
利左衛門
長吉
良右衛門
藤左衛門
林右衛門
幸右衛門
平左衛門
仙右衛門
藤松
常右衛門
勘右衛門
平兵衛
巳八

一、口文 もち
 一、廿八文 ぶ志川 (富士川か)
 一、十五文 もち
 一、八十文 ときつ
 一、百七十文 かつ八 (合羽か)
 一、三十文 かさ
 八日
 一、廿四文 あへ川
 一、五文 あまさけ
 一、十文 もち
 一、五文 く志かき
 一、三十六文 ひるはたご
 一、八十五文 大井川
 かなや
 一、百文 とまり
 九日
 一、四十二文 ひるずかい
 こなやす
 一、八十二文 とまり
 十日
 一、四十一文 ひるずかい
 □を□
 一、八十文 とまり

十百

一、百文 あまざけ

一、廿文 こふだ

一、十文 をうふだ

一、五文 めし

一、廿九文 をうき

一、廿八文 とまり

一、廿七文 わらじ

一、廿六文 むまちゃん

一、廿五文 ゆとうふ

一、廿四文 そば

一、廿三文 めし

一、廿二文 ちりう

一、廿一文 とまり

一、二十文 ミヤ

一、十九文 ひるはたご

一、十八文 ふね

一、十七文 まし

一、十六文 加し

一、十五文 まし

一、十四文 まし

十一日

一、五文 あまさけ

一、六文 こふだ (小札)

一、十二文 をうふだ (大札)

一、三十文 めし

一、五文 もち (大木)

一、七十九文 をうき

一、七十九文 とまり

一、五文 わらじ

一、廿九文 むまちゃん (馬賃)

一、五文 ゆとうふ

一、六文 そば

一、八文 めし

一、八十二文 ちりう

一、八十二文 とまり

一、七十二文 ミヤ (宮)

一、七十二文 ひるはたご

一、五十四文 ふね

一、十九文 まし

一、廿二文 加し (菓子)

一、百二十四文 まし

一、八文 まし

一、八十五文 四か一

一、八十五文 とまり

一、八十五文 さし

五文 五文
 八文 八文
 五文 五文
 八十二文 八十二文
 廿日 廿日
 三十六文 三十六文
 四文 四文
 六十七文 六十七文
 八十六文 八十六文
 三十六文 三十六文
 廿一日 廿一日
 二十文 二十文
 一、八十四文 一、八十四文
 一、二十四文 一、二十四文
 十文 十文
 廿二日 廿二日
 七十六文 七十六文
 十八文 十八文
 廿六文 廿六文
 十文 十文

もち
 そば
 さけふじ川
 とまり
 ぞうに
 めいぶつもち
 ふね壱り
 はままつ
 とまり
 ほか
 五もち
 (日坂か)
 てんりゆう (天竜か)
 あめてもち
 大井川
 あべ川
 めし
 もち

七文 八十八文 廿三日
 廿六文 四文 廿八文
 五文 八十五文
 六文 十九文
 三十文 五文
 十文 十五文
 六文

七文
 八十八文
 廿三日
 廿六文
 四文
 廿八文
 五文
 八十五文
 六文
 十九文
 三十文
 五文
 十文
 十五文
 六文

わらじ
 えしり(江尻か)
 とまり
 めし
 くりのこもち
 ふじ川
 志ろさけ
 はら (原か)
 とまり
 わらじ
 さけ
 はし 五十せん
 かみ
 しやうり (草履か)
 もち
 そうり

寛政七年四月五日
阿弥陀堂
ふきかへ

長蔵
左兵衛
彦右衛門
善左衛門
彦左衛門
丈右衛門
清右衛門
文左衛門
常右衛門
三郎右衛門
惣左衛門

一、ふき手伝

寛政七年 阿弥陀堂
四月五日
一、足代
長蔵

左兵衛
彦右衛門
善左衛門
彦左衛門
丈右衛門
清右衛門
文左衛門
常右衛門
三郎右衛門
惣左衛門

十一人

四月六日
一、ふき手伝

三
三
三

権左衛門
治右衛門
弥兵衛
丈助
忠兵衛
喜右衛門
平左衛門
平兵衛
仁右衛門
幸右衛門
市右衛門
左兵衛
庄右衛門
繁右衛門
彦四郎

一、三月七日

ふき人足

権左衛門
治右衛門
弥兵衛
丈助
忠兵衛
喜右衛門
平左衛門
平兵衛
仁右衛門
幸右衛門
市右衛門
左兵衛
庄右衛門
繁右衛門
彦四郎

一、八日
半日ふき手伝
足代とり

品右衛門
藤左衛門
利兵衛
文右衛門
孫兵衛
久兵衛
要右衛門

一、四月六日 塚原
 一、ふき人足 竹倉
 一、七日 馬坂
 一、八日半日 喜右衛門
 一、拾人 弥次右衛門

四月六日 塚原

一、ふき人足

竹倉

藤左衛門

一、七日

馬坂

喜右衛門

一、八日半日

弥次右衛門

一、拾人

葉種製法覚

葉種製法覚

人参 ヨクアライキサミアリテ用

木白木 ヨクアライ刻アフリテ用

蒼木 ヨクアライ刻□□□用

白芷 アライ刻用火ヲイム

貝母 アフルコトモアリ

天南星 ヨクアライ刻シヨウカノシルニヒタシトリアケカハカシ

細辛 ヨクアライ刻用火ヲイム

獨活 ヨクアライ刻用火ヲイム

羌活 ヨクアライ刻用火ヲイム

細辛 ヨクアライ刻用火ヲイム

獨活 ヨクアライ刻用火ヲイム

羌活 ヨクアライ刻用火ヲイム

細辛 ヨクアライ刻用火ヲイム

木白木 ヨクアライ刻アフリテ用

蒼木 ヨクアライ刻□□□用

白芷 アライ刻用火ヲイム
アフルコトモアリ

貝母 キサミシヨウカノシルニヒタシトリアケカハカシ
モチフ□トカキマセイリテ用米ノ□ニ□□イル

天南星 ヨクアライ姜ノ汁ニヒタシ額ヲイム紙ニツツ
ミアツバイニウツミ銅カニテ刻ミヤウハンノ汁ニ

細辛 ヨクアライ刻用火ヲイム

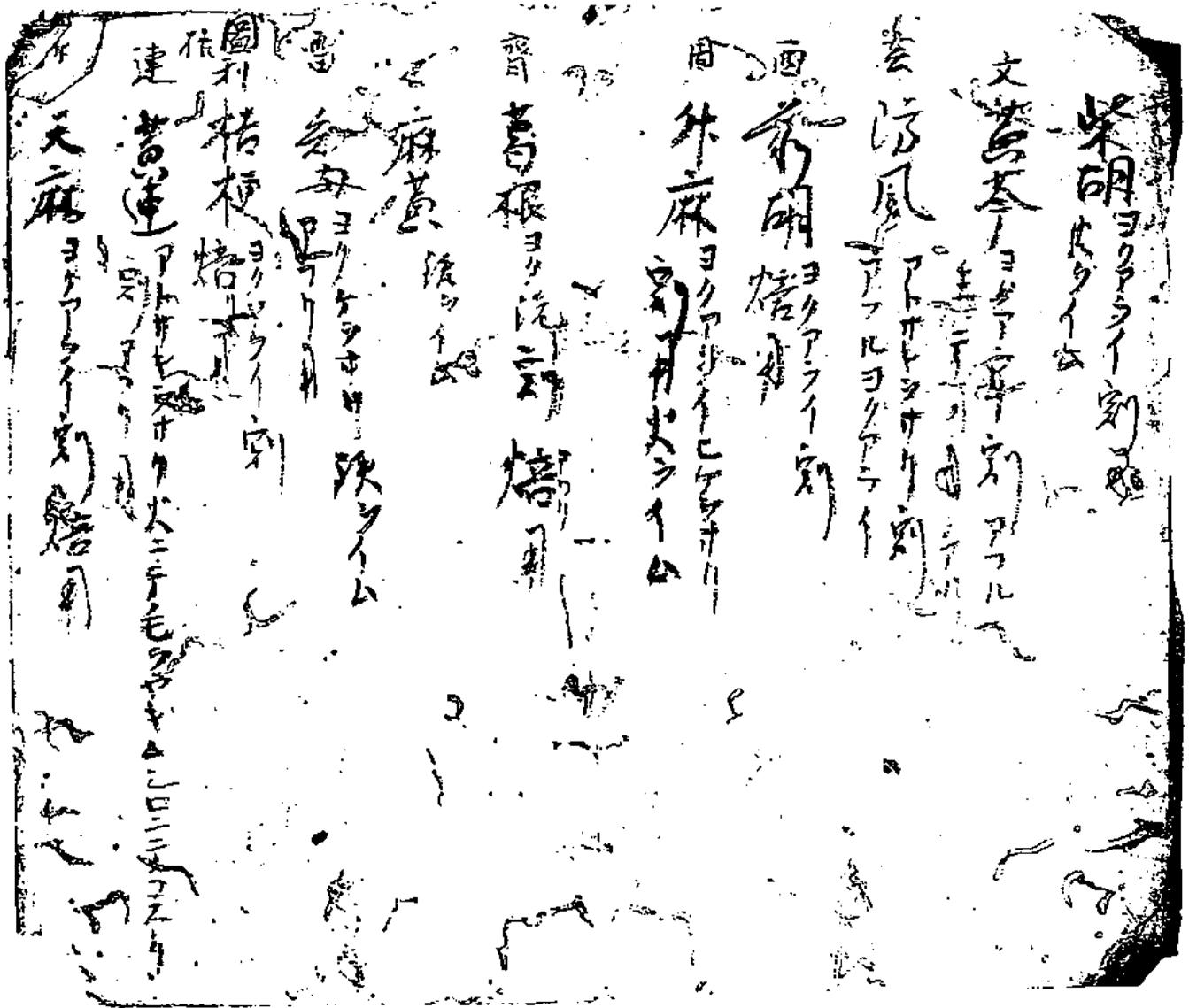
獨活 ヨクアライ刻用火ヲイム

羌活 ヨクアライ刻用火ヲイム

細辛 ヨクアライ刻用火ヲイム

獨活 ヨクアライ刻用火ヲイム

羌活 ヨクアライ刻用火ヲイム



柴胡	ヨクアライ刻用 火ライム
文 黄芩	ヨクアライ刻アフル 生テ用事アリ
玄 防風	アトサキヲサリ刻 アフルヨクアライ ヨクアライ刻 焙用
酉 前胡	ヨクアライヒゲヲサリ 刻用火ライム
周 升麻	ヨク洗刻 焙用 鉄ライム
齊 葛根	ヨク毛ヲサリ 鉄ライム アフリ用
雷 知母	ヨクアライ刻 焙り用
圖利 桔梗	アトサキヲサリ火ニテ毛ヲヤキムシロニテコスリ 刻アフリ用
連 黄連	ヨクアライ刻焙用
天麻	

①麻黄ニ常緑小低木、茎を煎じて鎮咳去痰、主成分はエフェドリン
 ・知母ニハナスゲ、根茎の生薬名 解熱剤
 ・黄連オウレンニキンポウゲ科、黄色染料、健胃
 ・天麻テンマニオニノヤガラ（鬼の矢柄）の根茎で乾燥した生薬、強
 壯剤、神経衰弱に用いる。めまい、頭痛にも。

遠志 鉄下火ノ中ノ少ク焙リ刻イテ用
 黒 玄参 銅鉄下火ノ中ニ焙リ刻イテ用
 紵 秦朮 米ノ水ノ中ニ焙リ刻イテ用
 苦参 米ノ水ノ中ニ焙リ刻イテ用
 延胡索 モミ刻イテ用
 龍膽 鉄下火ノ中ニ焙リ刻イテ用
 蜜 薬本 ヨク洗刻イテ用
 多 良姜 竹ノヘラノサキニカミノアブラツケテ用
 婆 宿砂 皮ヲサリ刻イテ用
 香 白豆 刻イテ用

遠志 黒 紵 胡延索 蜜 多 婆

遠志 鉄下火ノ中ノ少ク焙リ刻イテ用

玄参 銅鉄下火ノ中ニ焙リ刻イテ用

秦朮 米ノ水ノ中ニ焙リ刻イテ用

苦参 米ノ水ノ中ニ焙リ刻イテ用

延胡索 モミ刻イテ用

龍膽 鉄下火ノ中ニ焙リ刻イテ用

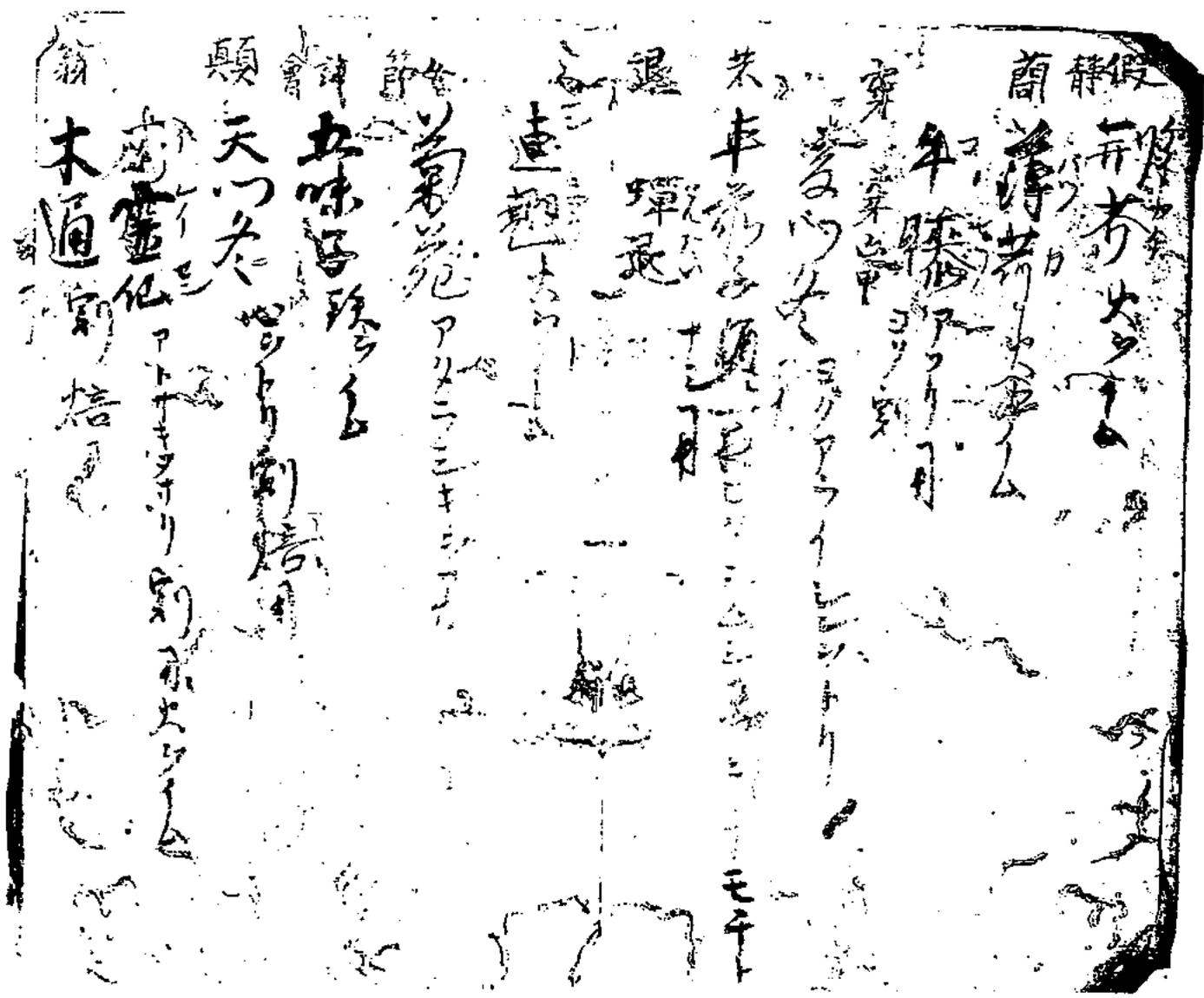
薬本 ヨク洗刻イテ用

良姜 竹ノヘラノサキニカミノアブラツケテ用

白豆 刻イテ用

宿砂 皮ヲサリ刻イテ用

香 白豆 刻イテ用



假

荊芥 火ヲイム

静

薄荷 火ヲイム

午膝 アプリ用

穿

穿山甲 ヨク刻

麥門冬 ヨクアライシシヲトリ

芥

車前子 酒ニ一夜ヒタシムシ□□モチト

鮮退 ナシ用

退

連翹 火ヲイム

菊花 アタラシキヲ用

女

五味子 鉄ヲイム

節

天門冬 心ヲトリ刻焙用

會

威靈仙 アトサキヲサリ刻用火ヲイム

顛

木通 刻焙用

翁

木通 刻焙用

新

木通 刻焙用

新

木通 刻焙用

① 荊芥 シソ科の一年草。中国北部原産の薬用香料植物。高さ50、70cm葉は対生羽状に裂け花穂にまばらに唇形花をつける。乾花は生薬の荊芥で風邪、発汗などの薬。

・車前子 オオバコの成熟種子。生薬として利尿、消炎、止瀉鎮咳に用いる。
 ・五味子 リチウセンゴミシの成熟した果実を乾燥した生薬。果実の皮肉は甘酸、中核は辛苦、全体に塩味があるのでこの名がある。強壯、鎮咳、収斂劑。

發

神麴

ヨクキザミイリ用

皂

皂角

一丹

スジヲサリキザミイリ用

肉豆

麦ノ粉ヲ餅ニシテクルミアツハイニテ

アタタメ中アタタマルトキスグニ粉ニスル

心ヲ取ヌノニツツミコニスル鉄ライム

若澤瀉

セウリクハキザミ火ニテアフリ

板 龜板

枯良子 キザミノママ吉

桑木セい キザミノママツコウ

寄

附子 ヨクアライカワヲサリ・ワギリ・附子

膏知分ニカンソウ式知分足しソノセンジシルニヒタシ

麴 一稜 二稜

一 神麴 ヨクキザミイリ用

皂角 サウカク

一 丹 スジヲサリキザミイリ用

一 肉豆 麦ノ粉ヲ餅ニシテクルミアツハイニテ

アタタメ中アタタマルトキスグニ粉ニスル

心ヲ取ヌノニツツミコニスル鉄ライム

一 辛 澤瀉

セウリクハキザミ火ニテアフリ

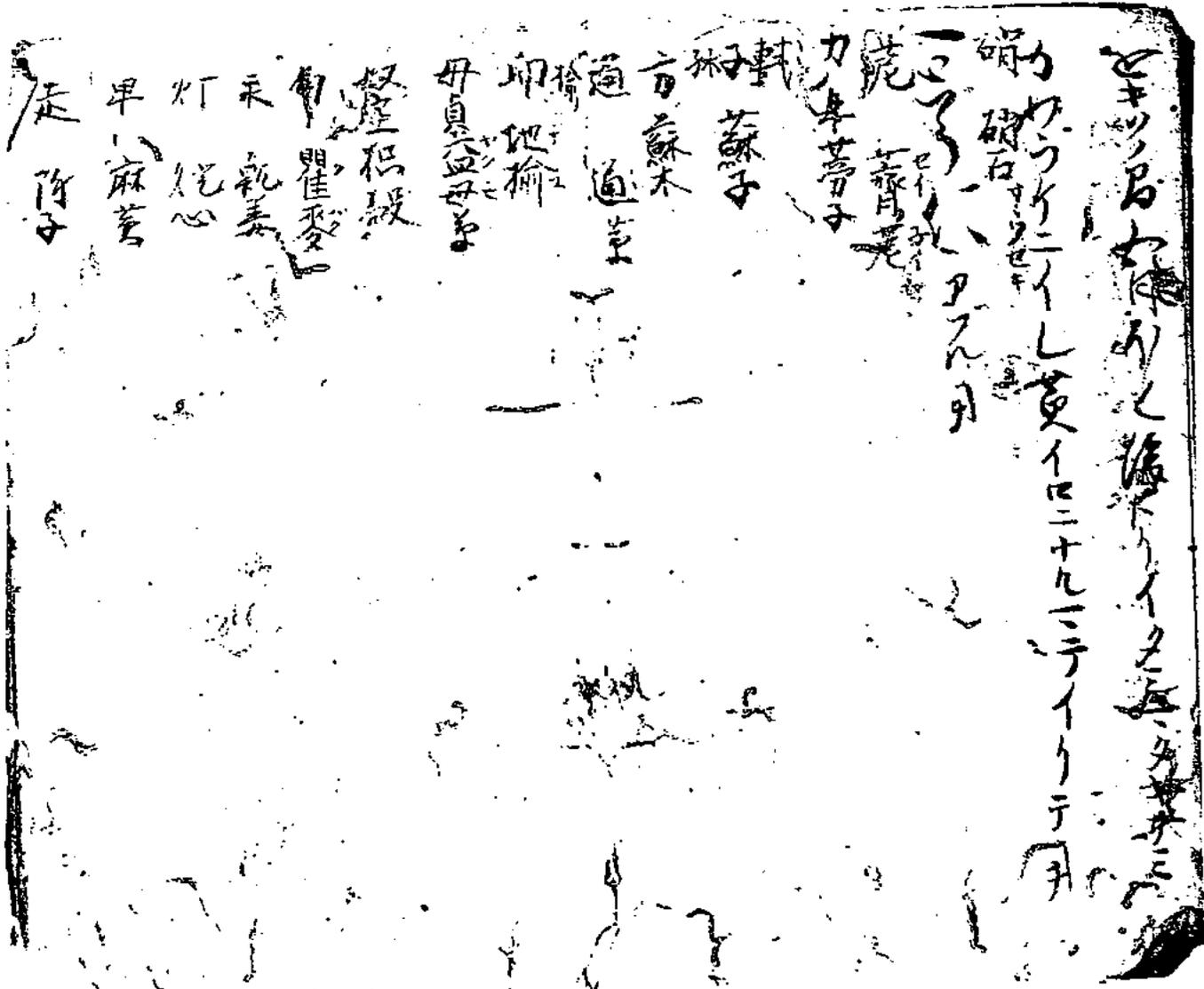
板 龜板

一 枯良子 キザミノママ吉

一 桑木セい キザミノママツコウ

一 附子 ヨクアライカワヲサリ・ワギリ・附子

膏知分ニカンソウ式知分足しソノセンジシルニヒタシ



をキノノ間五月ふせ塩下リイタミヤタキザミ
 カワラケニイレ黄イロニナルマデイリテ用
 硝 硝石 サウセキ
 一とう仁 アブル用

カワラケニイレ黄イロニナルマデイリテ用

硝石

アブル用

カノ草子

子 蘇子

方 蘇木

通 通草

卯 地榆

母貞益母草

奴空積殼

永 乾姜

灯 燒心

早 麻黄

走 附子

をキノノ間五月ふせ塩下リイタミヤタキザミ
 カワラケニイレ黄イロニナルマデイリテ用
 硝 硝石 サウセキ
 一とう仁 アブル用

カ 牛蒡子

子 蘇子

方 蘇木

通 通草

卯 地榆

母貞益母草

奴空積殼

永 乾姜

灯 燒心

早 麻黄

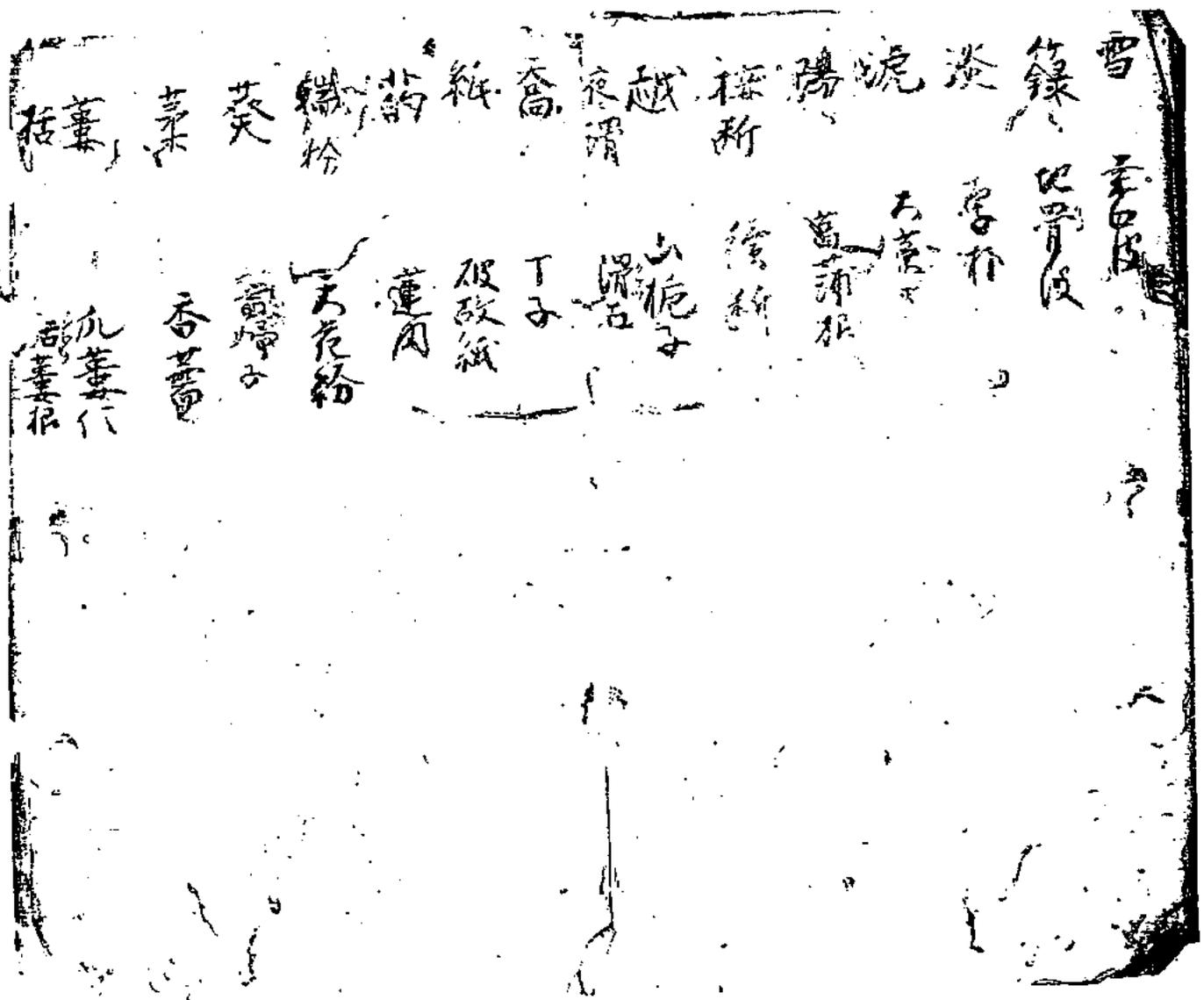
走 附子

④ 地榆 二 ワレモコウの漢名。

益母草 二 (産前産後の薬としたところから) ネハジキの別称

定 天麻
 魁 紫蘇
 佳 五加皮
 官 肉桂
 芒 芒硝
 亮 當歸尾
 神 伏神
 良 良香
 衍 肉桂
 珍 藜蘆
 恒 常山
 匪 白強蛋
 蛋 白強蛋
 倍 牛膝
 蒸膏 石膏
 茵陳

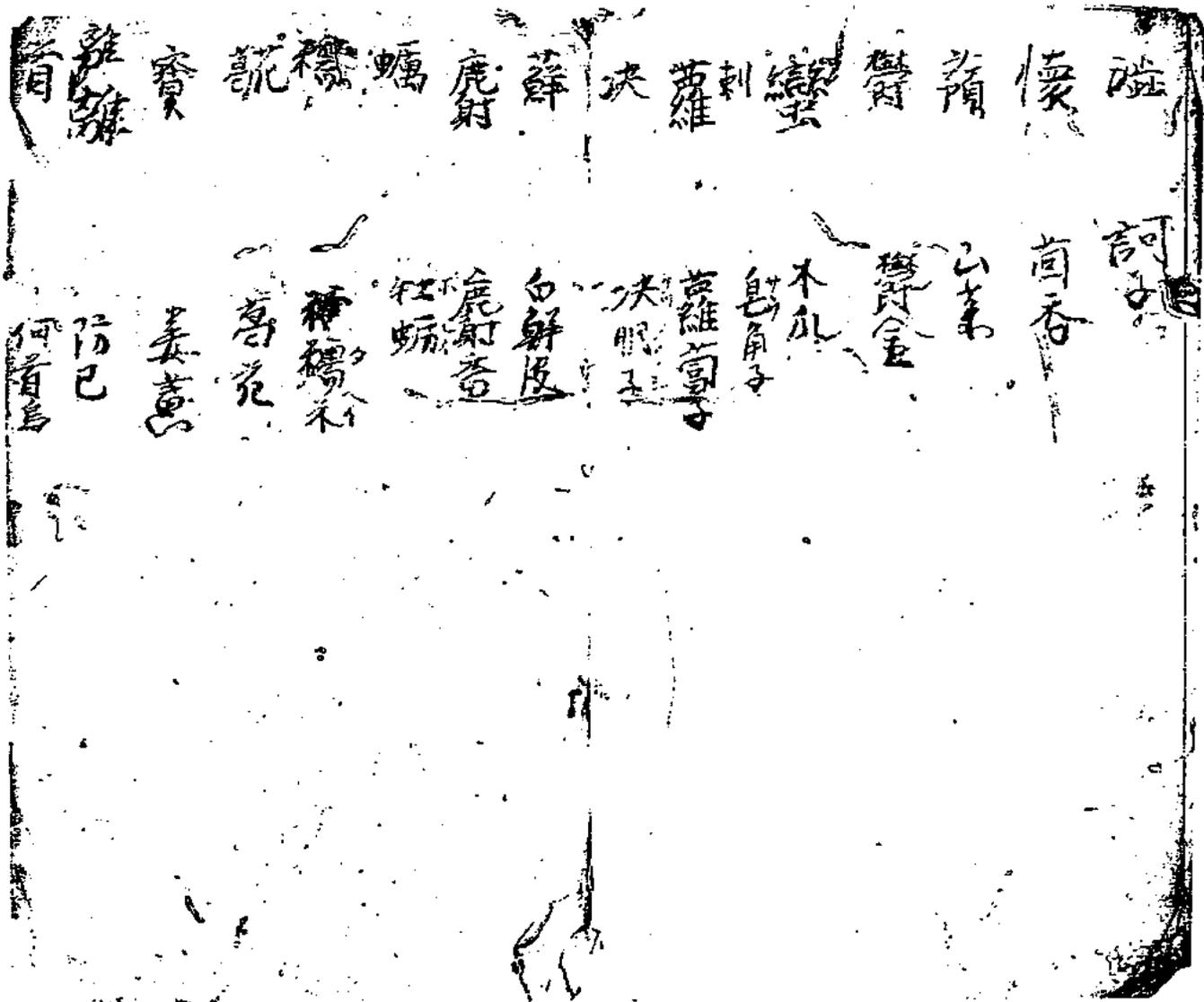
茵 蒸膏 倍 蛋 匪 恒 珍 衍 良 神 □ □ 芒 官 佳 魁 定
 茵陳 石膏 牛膝 白強蛋 □ □ 常山 藜蘆 肉桂 芒硝 當歸尾 伏神 良香 肉桂 五加皮 紫蘇 天麻
 石膏



雪	録	淡	流	湯	接所	越	夜滑	番	紙	葯	瑞粉	葵	茅	葵	紙	番	越	夜滑	山梔子	接所	湯	流	淡	録	雪	
桑白皮	地骨波	厚朴	大口	葛蒲根	續斷	山梔子	滑石 <small>ワタシ</small>	丁子	破故紙	蓮肉	天花粉	當歸子	香薷	瓜蒌仁	括蕒根											

① 葵 II ロウ、よもぎ

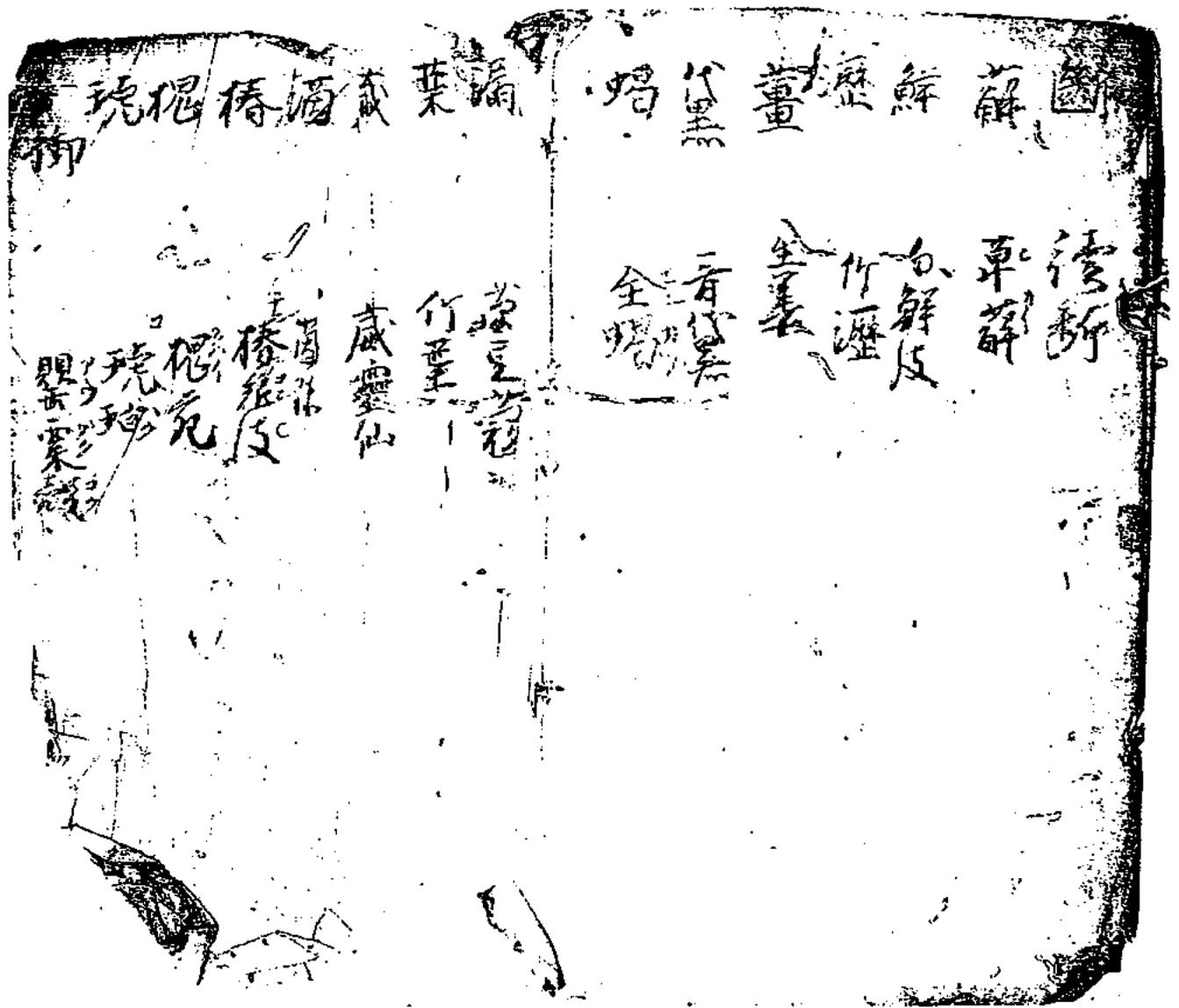
・括 II テン、ためぎ、やはす、じやくしん。



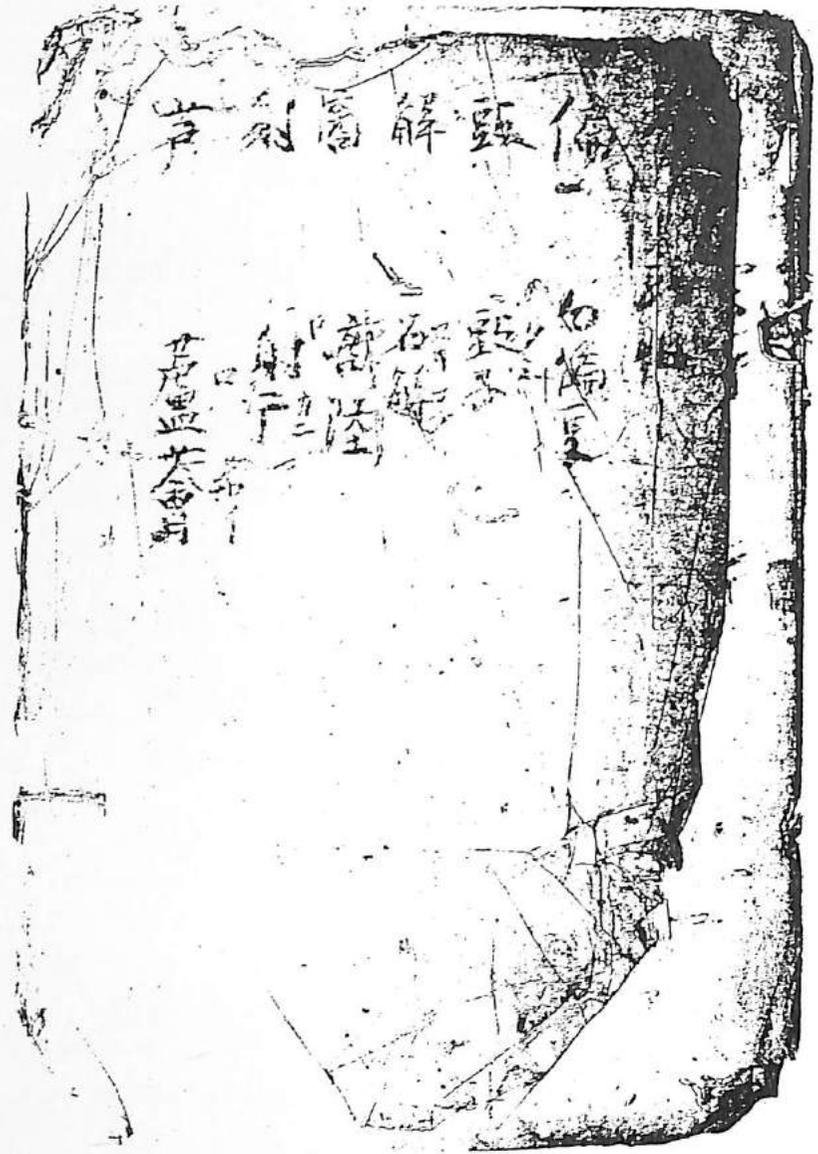
首 離 寶 耽 標 蝠 鹿 薛 决 蘿 刺 蠻 鬱 菴 懷 澁
 何首烏 防己 姜黃 葛花 糯米 牡蠣 牡蠣 鹿射香 白鮮皮 决明子 蘿藦子 皂角子 木瓜 鬱金 山菜 茴香 訶子

② 首 離 寶 耽 標 蝠 鹿 薛 决 蘿 刺 蠻 鬱 菴 懷 澁
 何首烏 防己 姜黃 葛花 糯米 牡蠣 牡蠣 鹿射香 白鮮皮 决明子 蘿藦子 皂角子 木瓜 鬱金 山菜 茴香 訶子

・ 茴香フネカラ Ⅱ セリ科多年草、欧米では重要な薬用香辛料、植物全体に芳香、葉は糸状に裂け、夏黄白色の小花からなる花序、果実は円柱状生薬として香味料、健胃薬、
 ・ 蘿藦 Ⅱ ラフク Ⅱ 大根
 ・ 皂 Ⅱ 阜 Ⅱ どんぐり
 ・ 積 Ⅱ よ Ⅱ やまいも
 ・ 蘿 Ⅱ ひあざみ



御	琥	槐	椿	酒	葭	葉	漏	蝸	代	薑	瀝	鮮	蕪	斷
墨栗殼	琥珀	槐苑	椿根皮	茵陳	葭蘆仙	竹葉	草豆蔻	全蝸	口代黑	生姜	竹瀝	白鮮皮	蕪薺	續斷



④ 偏 鼓 解 商 射 芦

白偏豆

鼓子

石解

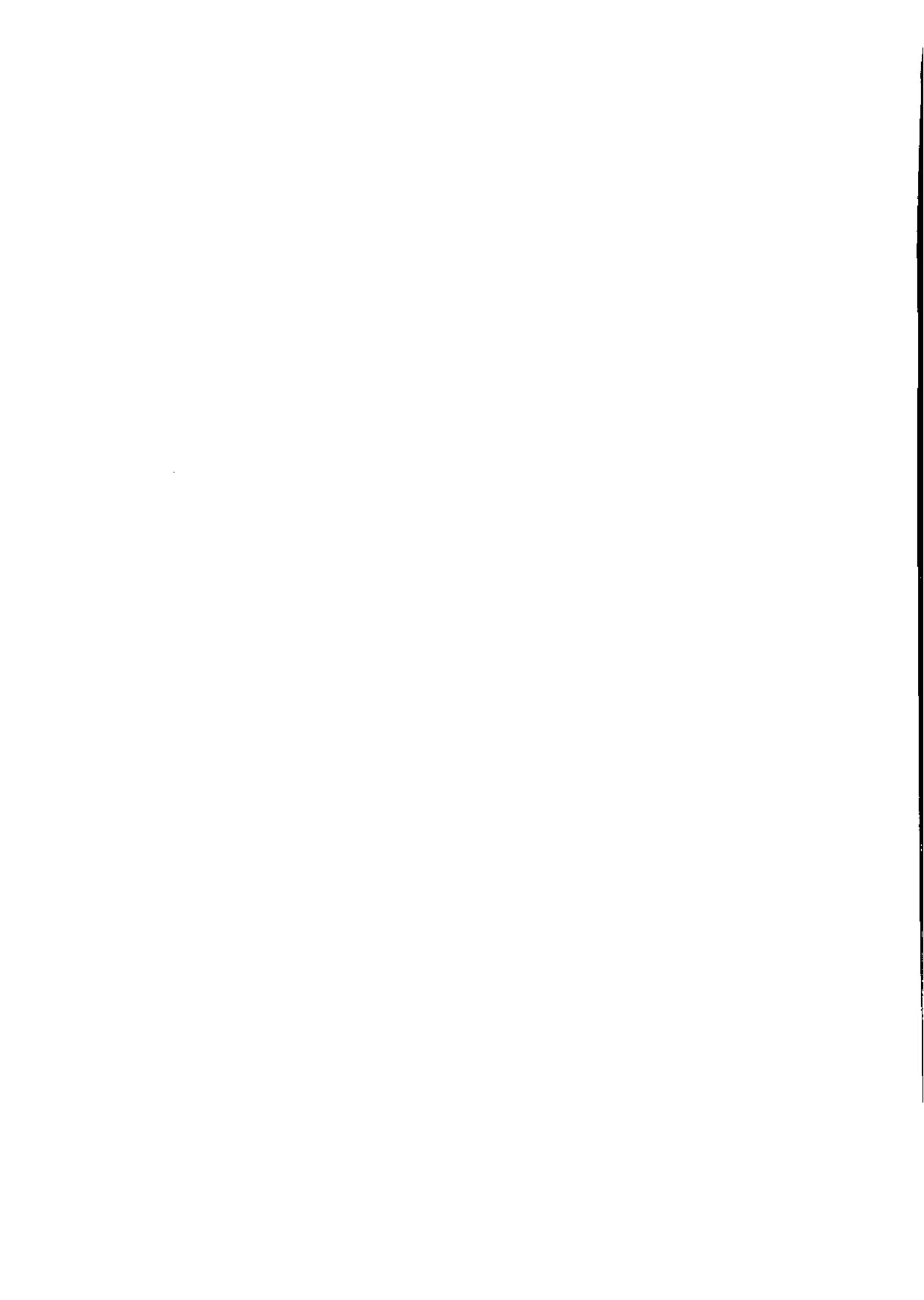
商陸

射□

蘆薈

・蘆薈 || ロカイ || アロエのこと。

・商陸 || やまごぼう。



函南町古文書資料集（五）

—桑原 中村家古文書—

発行 函南町教育委員会

刊行 平成17年3月

印刷 アサダ印刷株式会社

田方郡菫山町寺家140

函南町立図書館



111537601